

井筒俊彦『アラビア語入門』のための付録

西村 正身

井筒俊彦『アラビア語入門』は名著である、ということは聞いていたが、長いこと入手困難な稀覯本であった。それが、『井筒俊彦著作集』第2巻(中央公論社刊、1993年)に収められていることを最近知った。本稿は、この井筒の書によって2003年6月からアラビア語を学んだ際の副産物である。全体は、①正誤表(アラビア文字による訳読を含む)、②転写・例訳のない訳読の答、③転写による訳読のアラビア文字化、④語彙集、⑤動詞変化の雛型表の5部から成る。最善は尽くしたがもちろん完璧とは言えないものなので、誤っているところは訂正し、足りないところは補いながら批判的に利用して下さるようお願いするが、アラビア語をやってみようかなと思っている篤学の氏には、必ずお役に立つことと思う。なお、お気づきの訂正・補足箇所は御教示下されば幸甚である。

アラビア語をやってみようと思ったのは今回が初めてではないが、これまでの挑戦はことごとく挫折に終わっていた。それが、今研究している『シンドバード物語』のアラビア語版(At)を、B. E. ベリーが教えてくれるよりももう少し詳しく知りたいという目標が出来たおかげで、なんとか最後までたどりつくことができた。マイナーな言語の参考書には語彙集が必要で、ページを遡って単語の意味を探す手間は挫折へとつながる。ちゃんとやるにはどうしても単語集が必要と思い、単語帳を作りながら進んだ。ローマ字転写にミスが散見することにも気づいた。第15講以降には訳読の例解もないので、自分なりに作ってみた。それらをまとめたのが本稿である。井筒氏の序文によれば、本書は「学問的にも正確ではあるが然し特別に言語学の素養がなくとも充分に分るような書物の必要を痛感し」て、「普通ただ徒らにむずかしいむずかしいと言われ敬遠されているアラビア語を、少しでもむずかしくなく、而も正確に、学習できるよう、私が自分で考案した方法によって分解し、建てなおしたものである」という。しかも、「例えばその人の目的が、単に『千夜一夜物語』のような通俗文学の鑑賞や、現代アラビア諸国の新聞・雑誌・小説・評論類の閲読にあるならば、本書以上の文法的知識は全然必要としないであろう」ともいう。実に心強い限りだ。本書の訳読に見られる懇切丁寧な注・解説は何よりもありがたく、類書には見られない特長である。もっと利用されていい参考書だと思う。不規則動詞の展望がしにくいこと、アラビア文字に慣れるには他の教材も必要かと思われること、口語に関する記述がないことなど不満もあるが、それは各自が必要に応じて補えばいいことである。

①正誤表 (ページ / 行)

「第〇講」の行、空き行、訳読の枠は行には数えない。全体を< >でくくったものは補足的なもの。アラビア文字を使用した部分については、説明中のものはこの正誤表に入れたが、訳読中のものは、不鮮明な部分を補い、余分な点・線等の汚れを除いた全文をこの正誤表の末尾に掲げる。





18/24	'arḍ ^{un} → arḍ ^{un}		こと」
<21/11	a を失って		→ ta'auwuh ^{un} 「自分の～悔ゆる
	→ 発音上 a を失って>		こと」(aw は au と転写。82
<23/8	後述		ページ参照)
	→ 後述 [第十二講§3A(39)] >	36/21	iṣām ^{un} → 'iṣām ^{un}
23/13	min kaffi sā'il ⁱⁿ	/26	ta'awwuh ^{un} → ta'auwuh ^{un}
	→ min kaffi sā'il ⁱⁿ faqīr ⁱⁿ		ww → uw <←ww>
27/12	'ādil → 'ādil ^{un}	39/5	は となる。
	na'am → na'am		→ は となる。
/18	aīdan → aīdan ^{an}		
/26	hāḍa → hāḍā	42/5	ḥikmat ^u -kumā
/27	naḥn ^u → naḥnu		→ ḥikmat ^u -kumā (汝等二人
28/22	ibn ^{un} (息子) [ibnat ^{un} 息女]		の知恵)
	→ ibnat ^{un} (息女) [ibn ^{un} 息子]		(汝等二人の善行)
29/12	naẓif ^{un} → naẓīf ^{un}		→ (汝等女たちの善行)
30/6	l-kabirat ^u → l-kabīrat ^u	/21	bustānī → bustānī
/9	timīdat ^{un} → tilmīdat ^{un}	43/20	al-yauma → al-yaum ^a
/10	šātir ^{un} → šāṭir ^{un}	/21	aḥḍtu → aḥḍtu
/14	r-rīḥu → r-rīḥ ^u	/22	wa-waḍ'tu-hu
33/8	l-maḥlūq ^a → l-maḥlūq ^a		→ wa-waḍa'tu-hu
/10	al-yauma → al-yaum ^a	/25	見付けて → 取って
/11	r-raḡali → r-raḡulī		(「見付けて」なら aḥḍtu を waḡadtu に
/12	l-yauma → l-yaum ^a		する)
35/12	wa-ra'su → wa-ra's ^u	44/8	fī-kī → fī-ki
/14	wa-ta'awwuh ^{un}	< /12	形 → 形 (読み方) >
	→ wa-ta'auwuh ^{un}	/22	sai'an → šai'an
36/16	ta'awwuh ^{un} 「自分の～悔ゆる	45/10	ḥadimataini → ḥādimateini

46/12	I-madīnt ⁱ → I-madīnat ⁱ	69/18	yabdū ṣaġīran → yabda'u ṣaġīran
</14	(既述) → (i 音の直後について は 既述) >	/19	tabdū → tabda'u
47/6	muṭī ^{un} → muṭī ^{un}	/20	šai ^{'in} → šai ^{'in}
/24	wald ^{an} → walad ^{an} walada-humā → walad ^a -humā	70/13	yabdu 「それは始まる」 badā(元 は badawa) → yabda'u 「それは始まる」 bada'a
49/6	halaqa → ḥalaqa	/14	tabdū → tabda'u
/7	I-ġasada → I-ġasad ^a li-r-rūḥi → li-r-rūḥ ⁱ	/14-15	この動詞はやや不規則なので 次講で改めて説明する。 → この文を 22 行目の「となる る。」の所に移して、「となる。 この動詞はやや不規則なので次 講で改めて説明する。」とする。
/18	すなわち → [すなわち]	73/23	naṭaha → naṭaha
/22	mušlim ^{un} → muslim ^{un}	<76/4	説明がある。 →説明がある(第八講 3C) >
54/23	mašġūl ^{un} → mašġūl ^{un}	77/7	nakutubu → naktubu
55/6	mašūġlūna → mašġūlūna	/16	yanṭahūna → yanṭahūna
/6-7	maš-ġul ^{un} → maš-ġūl ^{un}	/20	namn'u → namna'u
/26	ḥādimīhā → ḥādimī-hā	<78/6	前出] → 前出。第五講§5 練習] >
56/2	ḥādimīnā → ḥādimī-nā	78/17	taqtulūna → taqtulūna
/15	wa-ġamī ^u → wa-ġamī ⁱ	/22	'alā → 'ala (2 か所)
/17	li-baqā'i-hi → li-baqā' ⁱ -hi	/23	I-quali → I-qauli
/19	iḥtiyāġ ^{un} → iḥtiyāġ ^{un}	81/2	badā (未完了 yabdū) 及び → 削除する
58/18	gamī ^{un} → ġamī ^{un}	/3	二つの同型の → 削除する
59/3	šai ^{'in} → šai ^{'in}	/6	badā → badā (未完了 yabdū) 「現われる」
63/17	ﻻ → ﻻ	/13	(最後の) badauna → badaunā
68/8-9	zalaqa (知らせる) → 「zalaqa(知らせる ; zaliqa, yazlaqu とも)」 と修正して 67/17 の 「za'ama (主張する)」 のあとに移動	82/4	تَدْتُ → تَدْتُ
/12	atraḥu → aṭraḥu	84/4	§3 → §4
69/14	taġrisu I-mar' ^{tu} → taġrisu I-mar' ^{at} (その女 は庭に何を植えるのか ?)	/6	§1 → §2
/18	zarīfi → zarīf ⁱ		

84/9	rūh ^{un} → rūḥ ^{un}	101/22	yanhzimāni → yanzimāni
85/16	yakutubna → yaktubna	102/23	§4 の注意 → §5 の注意 (4)
86/6	naqtulu → naqtula	< /25	waǧzā-hu 「その意味」 → waǧzā-hu 「その意味」 (142-143 ページ参照) >
87/19	第一項 → § 2	103/8	yaw- → yau-
88/2	ramitumā → ramaitumā	/9	yaw ^{idu} → yau ^{idu}
/20	hadā → hadā ^y	/13	ta ^{ikāni} → ta ^{idāni}
/22	hadaituan → hadaitum	/14	ta ^{iduna} → ta ^{idna}
90/6	fa-aṣaitu → fa- ^a ṣaitu	/17	(yawlidu) → (yaulidu)
/7	^a alaiya → ^a alai-ya	104/14	yawǧalu → yauǧalu
91/21	taqaṣṣiru → tuqaṣṣiru	/15	yawǧa ^u → yauǧa ^u
92/3	§3 → §4	yawbaqu → yaubaqu	
/4	yanhā ^u → yanhā ^y	/16	yawbulu → yaubulu
/4-5	次講 → 第十講§4	105/20	ṭ-ṭariq ^u → ṭ-ṭarīq ^u (tariq ^{un}) → (tarīq ^{un})
/5	§3 → §4	109/19	bī-ma → bī-mā
/8	§3 → §4	/23	qálbun → qálb ^{un}
/9	ālāy → ^a alāy	111/14	qaṣaṣnāhā → qaṣaṣnā-hā
93/18	^a alabā → ^a aqabā	112/7	labuti → labubti
/19	^a alabna → ^a aqabna	114/9	hasan ^u → ḥasan ^u
/22	nu ^a gibu → nu ^a qibu	115/3	qadimat ⁱ → qadīmat ⁱ
95/1	^a adiyā ^u → ^a adiyā ^u (しかし 145 ページ参照)	/5	ilāy → ila
/9	^a aṣṣā ^u → ^a aṣṣā ^y	< /9	同じである。]) →同じである。第六講§4C])>
97/14	ṭarṣā ^u → ṭarṣā ^u	/10	qalilat ^a → qalīlat ^a
/17	al-ḥamrā ^u → al-ḥamrā ^u	/14	wa-ḥafif ^u → wa-ḥaff ^u
/20	nisā ^{un} → nisā ^{un}	/25	l-liḥyat → l-liḥyat ⁱ
98/15	sadīq ⁱ -hi → ṣadīq ⁱ -hi	116/9	^a alāy → ^a ala
99/11	suǧrā ^y → suǧrā ^y	119/2	^a alāy → ^a ala
/21	anbiyā ^u → anbiyā ^u	120/18	manṣā ^{un} → manṣā ^{un}
101/5	ṣ-ṣaiyyādīna → ṣ-ṣaiyyādīna	125/7	qāla ilāy → qāla: ila
/7	l-wail ^u → al-wail ^u (116/11 を参照)	/8	balāḡanī → balāḡa-nī
/15	ṣaiyyād ^{un} 「獵師」ṣaiyyādūna → ṣaiyyād ^{un} 「獵師」ṣaiyyādūna		
/18	inhazamt → inhazamat		

126/9-12	(6)の全4行分を125/19と20の間 = (3)と(4)の間に移す。	150/26	sārat → šārat
127/3	i → ī	151/4	tašīrīna → tašīrīna
129/9	tuṣliḥāni → tuṣliḥāni	/5	tašīrani → tašīrāni
129/10	tuṣliḥūna → tuṣliḥūna	/24	「滅びる」 → (削除する)
131/14	zurta-na → zurta-nā	/25	変化されて → 変化させて
/25	食べた]かくて → 食べた]そこで彼(隠者)は行って、それ(=食べられてしまったパン)とは別のもの(パン)を持って来たが、今度は(fa)彼(客人)がもうすでに扁豆を食べてしまっていたのを見出した。かくて	152/22	ṭamāniya ‘ašrat ^a → ṭamāniy ^a ‘ašrat ^a
132/21	他ならぬ → 「他ならぬ	153/4	ṭamāni → ṭamān ⁱ
133/12	siwar ⁱⁿ → siwār ⁱⁿ	/9	3-10 → 3-9
134/2	(最後の)baqīna → baqīnā	/10	13から19 → 一位の3から9
/19	tabqā → tabqā ^y	/12	‘ašart ^a → ‘ašrat ^a
/23	接続法 → 接続形	154/3	wa-‘iṣruna → wa-‘iṣrūna
137/1	wa-l-āḥirt ^u → wa-l-āḥirat ^u	/16	ṭamāni → ṭamān ⁱ
141/17	fu‘lā ^u → fu‘lā ^y	155/10	ṭalāt ⁱ → ṭalāt ⁱ ṭalāt ^a → ṭalāt ^a
/18	al-kubrā ^u → al-kubrā ^y	< /25	と26の間に10,000 ‘ašrat ^u ālāf ⁱⁿ を追加>
	aṣ-ṣuḡrā ^u → aṣ-ṣuḡrā ^y	156/2	ašar ^a → ‘ašar ^a
/20	al-awwal → al-auwal	/27	wa-ḥansat ^{un} → wa-ḥamsat ^{un}
142/1	fa‘lat → fa‘lat ^{un}	157/5	aiyyām ⁱⁿ → aiyām ⁱⁿ [aiyyām → [aiyām
/2	fi‘lat → fi‘lat ^{un}	/13	[šū‘arā ^u → [šū‘arā ^u
143/1	al-muṣṭafayaini → al-muṣṭafayāni	158/10	第二語根がなるもの → 第二語根がwなるもの
144/24	ṣaḥrā → ṣaḥrā ^ṣ	/14	fu‘ul型 → fu‘ul ^{un} 型
/26	رعي → ربا	/19	fa‘il ^{un} → fa‘īl ^{un}
145/17	l-āqil ^u → l-āqil ^u	/20	kaṭub → kaṭīb
/19	aīyuhā → aiyuhā		suru → surur
149/10	al-laḍīna → al-laḍīna	/23	fa‘ūl → fa‘ūl ^{un}
150/4	a-laḍīna → l-laḍīna	159/21	ḍuributi → ḍuribti
		/25	yadṛabu → yuḍrabu tuḍrabina → tuḍrabīna
		160/3	(最後の)tuḍraba → uḍraba
		162/5	nudītmā → nudītumā

162/20	يُنْتَوْنَ → يَنْتَوْنَ	174/24	(هَذِهِ) → (هَذِهِ)
/22	يُنْتَوْنَ → يَنْتَوْنَ	175/21	dāli-kum → dāli-kum
/26	第二語根 → 第三語根	176/1	n-nisā ^u → n-nisā ^u
163/1	第二語根 → 第三語根	177/1	al-awwal ^u → al-auwal ^u
/15	bn manṣūr ⁱ → bn ^a adham ^a bn ⁱ manṣūr ⁱ	/3	ṭaliṭat ^{un} → ṭāliṭat ^{un}
/18	‘alā → ‘alā ^y	/11	前講 → 前々講§2 (3)
/19	ilā ^y → ila	/14	ṭāni → ṭānī
164/2	bi → bi-	/25	al-ḥādī → al-ḥādī
/4	l-faras-wa-mā → l-faras ^a wa-mā	178/7	wa-‘iṣrina → wa-‘iṣrīna
/7	taṣawwuf ^u → taṣauwuf ^u	/9	al-awwal ^u → al-auwal ^u
166/10, 15	waw → wāw	/22	bi-aiyy ⁱ → bi-aiy ⁱ
/21	ta‘lifūna, ‘alafa, ya‘lifu → ta‘rifūna, ‘arafa, ya‘rifu	/23	fa-qāla → fa-qāla:
167/2	waw → wāw		ila-ihi → ilai-hi
168/8	hatif ^{un} → hātif ^{un}	<179/4	前出。→前出 (139 ページ) >
170/11	訳読解説中 → §2 (3)	179/8	aiyy ^{un} → aiyy ^{un}
< /15	最初の部分 → 最初の部分(第二講§3)>	/10	aiyy ^u → aiyy ^u
/21	kitabu-hu → kitāb ^u -hu	/11	aiyy ⁱ → aiyy ⁱ
171/11	「の受ける、 → 「受ける、		aiyy ^a kitāb ^{an} → aiyy ^a kitāb ⁱⁿ
173/13	zibā’ → zibā’	/12	aiyyat ^{un} → aiyyat ^{un}
/15	fa‘lat, fi‘lat, fu‘lat → fa‘lat ^{un} , fi‘lat ^{un} , fu‘lat ^{un}	/14	bi-aiyy ⁱ → bi-aiyy ⁱ
/18	fa‘al → fa‘al ^{un}	< /22	第十一講に→第十一講§3C に>
/23	fu‘lat → fu‘lat ^{un}	<180/1	前講 → 前講§3A(16)>
174/9	rayyān → raiyān	180/1	waw → wāw
/10	rayyā → raiyā riwā’ → riwā’	185/6	sāhir, sahrat → sāhir, sahrat
/15	fā’il → fā’il ^{un}	/19	qubila → qabila
/16	ṣāhib → ṣāhib	/22	yalzamunī → yalzamu-nī
		187/11	接続法 → 接続形
		/17	yaqūma → yaqūmā
		188/6	tasir → taṣīr
		/8	yaṣīrūna → yaṣīrū taṣīrūna → taṣīrū
		/12	yabīt → yabītu
		/19	次に → (6)に

188/19	短形未来 → 短形未完了	202/6	si'ta → ši'ta
189/9	tardai → turđai	/8	mufariq ^u -hu → mufāriq ^u -hu
190/1	をとるものは → aをとるものは	/15	'amala → 'amila
190/1	(二つ目の) ya'dađ → ta'dađ	/18	bihi → bi-hi
/15	la ba's ^a → lā ba's ^a	203/9	複数 → 双数
191/10	waw → wāw	< /13	1/100 の読みのあとに [1/10× 1/10] を補足
<192/15	変るのである。→ 変るのであ る。[第十三講§4(6)] >	/14	8/15 の読みのあとに [1/2 + 1/3×1/10] を補足
194/20	abwā'b → abwāb		53/60 の読みのあとに [1/2 + 1/3 + 1/2×1/10] を補足>
	ar'ā → ārā'	204/10	ḥawāid → ḥawā'id
/21	ārā' → ar'ā'	/17	第三字名 → 第三字目
195/1	aiyyām → aiyām	207/20	(yatadđalu) → (yatabadđalu)
< /2	二段変化。 → 二段変化「物, 事; 何か」.>	209/13	マームヌ → マームーン
/3	fā'il ^{un} → fā'il ^{un}	210/5	第十三形 if'awwala → 第十三形 if'auwala
/14	waw → wāw	212/18	qawwama, yuqawwimu → qauwama, yuqauwimu
196/25	yafṭaḥ → yafṭaḥu	/19	ṣayyara, yuṣayyiru → ṣaiyara, yuṣaiyiru
<197/5	通りである → 通り [第八講§6(18)] である>	/21	はこの如き → の如き
197/18	ī'as → ī'as	214/7	wa-sallam ^a → wa-sallama
/23	qūmi → qūmī	216/2	fa'ilā ^u 
/25	(最初の) ḥāfū → ḥāfi		→ af'ilā ^u 
198/18	rā'ā → ra'ā'y	217/4	šakwā → šakwā'y
199/6	dull → dullī	/15	ḥađārā → ḥađārā'y
<200/15	wa-i'mal → wa-(i)'mal>	< /27	「隅」。 → 「隅」.[アリフで書く]>
< /21	学んだが、 → 学んだ [第十講§3A(9)] が、>	219/7	'abid → 'abīd
201/13	ši'tuma → ši'tumā	<220/20	示す。→ 示す。第十講§3C.>
/14	(最後の) ši'na → ši'nā	221/16	istawğabtu → istauğabtu
/15	tašāu → tašā'u		
/19	 → 		
/22	si'ta → ši'ta		

221/21 nāla-ni → nāla-nī
 224/3 qāḍāy → qāḍāy
 225/3 fa'ālil → fa'ālil^u
 /8 mafā'il → mafā'il^u
 /19 tarāḡim → tarāḡim^u
 226/11 awānin^u → awānin
 227/6 subḥ^{un} → ṣubḥ^{un}
 /7 masā → masā'^{un}

228/19 (مؤنر) → (مؤنر)
 /20 mu'tir (مؤنر)
 → mu'tir^{un} (مؤنر)

(19 と 20 の () 内のアラビア語を
 入れ替える)

/21 iṭār^{un} → iṭār^{un}
 232/2 ḥaraga → ḥaraḡa
 /8 tatafarrāq → tatafarrāqu
 /21 tahawwada → tahauwada
 233/4 tamaddud → tamaddud^{un}
 /5 taqawwala → taqauwala
 /7 taqawwala, taqawwalat
 → taqauwala, taqauwalat
 yataqawwlu → yataqauwalu
 /8 qawwalu → qauwalu
 taqawwal → taqauwal
 /9 taṣayyada → taṣaiyada
 /11 taṣayyada, taṣayyadat
 → taṣaiyada, taṣaiyadat
 yataṣayyadu → yataṣaiyadu
 /12 ṣayyadu → ṣaiyadu
 taṣayyad → taṣaiyad

233/20 (مُنْتَقِي) → (مُنْتَقِي)
 (最終行のカッコ内のものを移す)
 /23 (مُنْتَقِي) → (مُنْتَقِي)
 234/22 「無智である」→「無智である」]
 235/11 tamādud → tamādud^{un}
 /19 (二つ目の) tasāyara
 → tasāyarat
 /24 tatalāqā → tatalāqāy
 239/18 insal → inšal
 240/7 iḡtami'ā → iḡtami'ī
 241/21 itdalla → idtalla
 243/16 l-ayyāmī → l-aiyāmī
 aiyyām → aiyām
 < /18 動名。→ 動名。li と定冠詞の
 綴りについては第二十二講§
 1(15)を参照。>
 245/1 「穢らしい」→「穢わしい」
 /3 sawwad (yusawwidu)
 → sawwada (yusawwidu)
 246/11 iḥmarartunnā
 → iḥmarartunna
 247/1 iḥmarrī と iḥmarrū の間に
 iḥmarrā を追加
 /20 waw → wāw
 < /20 書かれるのである。
 → 書かれるのである。[第十
 五講§1XV(1)]>
 248/6 だろう。→ だろう。
 /15 istahsinī と istahsinū の間に
 istahsinā を追加
 /16 (能) (مُسْتَفِي)

		→	مُتَّحِنٌ	254/9	i'lawwata → i'lauwata
				/10	(ya'lawwiṭu) → (ya'lauwiṭu)
				/13	iğhanašaša → iğhanšaša
248/16	(受)		مُتَّغِيٌّ	258/3	(yabrašiqu) → (yabranšiqu)
				259/1	と彼の顔は
					→ と「彼の顔は
	(ここにあるアラビア語は両方とも 249/26 に移す)			/14	「止む」→「やめる」
249/7	istadlata → istadlalta			260/11	kitdu → kidtu
/26	(能) mustaqdin			262/7	waw → wāw
				/20	lāzīm → lāzim
				263/13	r-rāğih ^u → r-rāğih ^a
				/21	waw → wāw
				<264/16	伸びたのである。
					→伸びたのである。256 ページ (13) 参照。>
				264/22	接続詞 → 接続形
				266/8	taqūlanni (二つとも)
					→ taqūlānni
				/10	naqūlann → naqūlanna
				/13	(tanduwann) → (tanduwan)
				/24	narmiyanna.
					→ narmiyanna (narmiyān).
				268/3	(yarmi) → (yarmī)
				269/5	l-'abbāss ⁱ → l-'abbās ⁱ
				/20	A のことを B に
					→ A に B のことを
				270/12	li-l-'aṭīyat ⁱ → li-l-'aṭīyat ^t
				/26	maqbarat → maqbarat ^{un}
				271/14	fu'aillil → fu'aillil ^{un}
				272/19	al-ğazzālīy ^y → al-ğazzālīy ^u
				/20	al-ğazzālīy ^y → al-ğazzālīy ^u
				273/26	(最初の) auğ'a-at-nī
					→ auğ'a-a-nī
254/9	iḥrawwata → iḥrauwata			275/18	ilā → ilāy
	(yaḥrawwiṭu) → (yaḥrauwiṭu)				

276/6	動詞の語尾を → 動詞の語尾に	ilā → ilāʾ 43/9 (x2), 10 (x2), 11, 19, 20; 44/11; 46/6, 7, 17; 47/5; 48/2, 3, 7, 18; 54/1; 56/4, 12, 19; 59/4, 5, 9; 69/12 (x2); 71/22 (x3); 77/21, 22; 79/4; 86/15, 19; 87/14
/9	(أَعْطَاكَ) → (أَعْطَاكَ)	
/13	iyā-hu → īyā-hu	
/15	īya-hu → īyā-hu	ʿalā → ʿalāʾ 44/11; 46/18, 19; 72/12, 21; 78/24; 79/1, 8, 19; 83/8, 10, 16, 17; 86/15; 87/14
/18	iyā-hu → īyā-hu	
/24	iyā-hum → īyā-hum	ramā → ramāʾ 83/7, 23; 84/1 (x2), 2; 87/10, 11, 16, 17
		ḥattā → ḥattāʾ 86/15, 17, 19; 87/1, 6 (x2), 14

* 以下のものは 87 ページまでは誤植扱いにはならないが、本書を二度目に読むときに参考にしてほしい。

Mūsā → Mūsāʾ 27/14, 22

matā → matāʾ 33/10, 20; 43/7, 9, 19;
48/1; 69/13; 83/3, 4

* 疑問箇所

133/15 「この la は」→「この fa は」か？
(182 ページの例文参照)

以上

アラビア文字による全訳読

第6講 §5 訳読 II 61p.

إِظْمَ أَنْ النَّصْرَ مَعَ الصَّبْرِ . وَأَتْرَجَ مَعَ الْكَرْبِ . وَالْيَسْرَ مَعَ النَّصْرِ .

第7講 §8 訳読 III 78p.

قَالَ بَعْضُ السُّلْبِ : أَلْتَمَّ عَلَى الْعَمْتِ خَيْرٌ مِنَ أَلْتَمِّ عَلَى الْقَوْلِ .

第8講 §5 訳読 II 90p.

لَمَّا حَضَرَتْ عُمَرَ بْنَ عَبْدِ الْعَزِيزِ الْوَقَاةُ قَالَ : اللَّهُمَّ إِنَّكَ أَمَرْتَنِي
فَقَصَّرْتُ . وَخَيَّبْتَنِي فَمَصَيْتُ . وَأَنْعَمْتَ عَلَيَّ فَأَفْضَلْتُ . فَإِنْ عَفَوْتَ فَقَدْ
مَنْتَ . وَإِنْ عَاقَبْتَ . فَمَا ظَلَمْتُ

第9講 §5 訳読 116p.

قِيلَ لِرَجُلٍ : كَيْفَ وَجَدْتَ فَلَانًا . قَالَ : طَوِيلَ اللِّسَانِ فِي
الْيَوْمِ . وَالزَّحِيفِ بَصِيرِ الْبَاعِ فِي الْكُرْمِ . وَتَابًا عَلَى الشَّرِّ مَنَاعًا
لِلتَّغْيِيرِ . وَكَانَ فُتْرُ حَاتِمِ رَسْمٍ وَهُوَ أَحَدُ مُلُوكِ الْفُرْسِ : الْمَزَلُ
بِنَفْثَةِ وَالْكَذِبُ مَنَقَصَةٌ وَالْجُورُ مَنَسَدَةٌ

第10講 §3 訳読 I 124-125p.

رَجُلٌ رَجُلٌ بِصَوْمَةٍ نَاسِكٍ قَدَّمَ إِلَيْهِ النَّاسِكُ أَرْبَعَةَ
أَرْحِفَةٍ وَذَهَبَ يُحْيِضِرُ إِلَيْهِ عَدَسًا . فَحَمَلَهُ وَجَاءَ فَوَجَدَهُ قَدْ
أَكَلَ الْخُبْزَ فَذَهَبَ فَأَتَى بَيْتَهُ فَوَجَدَهُ قَدْ أَكَلَ الْعَدَسَ . فَفَعَلَ
مَعَهُ ذَلِكَ عَشْرَ مَرَّاتٍ . فَسَأَلَهُ النَّاسِكُ أَيْنَ مَقْصِدُهُ . قَالَ : إِلَى
الْأُرْدُنِّ . قَالَ : لِمَاذَا . قَالَ : بَلَّغَنِي أَنْ يَهِيَ طَيْبًا حَازِقًا أَسْأَلُهُ
عَمَّا يُصْلِحُ مَعِدَتِي . فَأِنِّي قَلِيلُ الشَّهْوَةِ لِلطَّعَامِ . فَقَالَ لَهُ النَّاسِكُ :
إِنْ لِي إِلَيْكَ حَاجَةٌ . قَالَ : وَمَا هِيَ . قَالَ : إِذَا ذَهَبْتَ وَأَصْلَحَتْ
مَعِدَتُكَ فَلَا تَجْمَلُ رُجُوعَكَ عَلَيَّ وَقَالَ :
يَا ضَيْفَانَا لَوْ زُرْتَنَا لَوَجَدْتَنَا نَحْنُ الضُّيُوفُ وَأَنْتَ رَبُّ الْمَنْزِلِ

قَالَ أَبُو عَبْدِ الرَّحْمَنِ الْحَلِيلُ : الدُّنْيَا أَمَدٌ وَالْآخِرَةُ أَبَدٌ .
 وَقَالَ أَيْضًا : الدُّنْيَا أَضْدَادٌ مُتَجَاوِرَةٌ وَأَشْبَاهُ مُتَبَايِنَةٌ . وَأَقَارِبُ
 مُتَبَاعِدَةٌ وَأَبْعَدُ مُتَقَارِبَةٌ .

قَالَ بَعْضُهُمْ : إِنَّمَا الدُّنْيَا قَنَاقَةٌ لَيْسَ لِلدُّنْيَا ثُبُوتٌ
 إِنَّمَا الدُّنْيَا كَيْتٌ نَجْعَةُ النُّكْبُوتِ
 كُلُّ مَا فِيهَا لَعْرِي عَنْ قَلِيلٍ سَبْقُوتٌ
 وَلَقَدْ يَكْفِيكَ مِنْهَا أَيُّهَا الْعَاقِلُ قُوْتٌ

حَدَّثَ إِبرَاهِيمُ بْنُ بَشَّارٍ قَالَ : سَمِعْتُ إِبرَاهِيمَ بْنَ أَقْهَمَ بْنَ مَنْصُورٍ
 ابْنَ إِسْحَاقَ الْبَلْخِيِّ بِالشَّامِ . قُلْتُ لَهُ : يَا أَبَا إِسْحَاقَ خَبِّرْنِي عَنْ بَدَأِ
 أَمْرِكَ كَيْفَ كَانَ ؟ قَالَ : كَانَ أَبِي مِنْ مُلُوكِ خُرَّاسَانَ وَكَانَتْ شَابَا .
 فَرَكِبْتُ يَوْمًا عَلَى دَابَّةٍ وَمَعِيَ كَلْبٌ . وَخَرَجْتُ إِلَى الصَّيْدِ فَأَثَرْتُ مُلْكًا .
 فَبَيْنَمَا أَنَا فِي طَلَبِهِ إِذْ هَتَفَ بِي هَاتِفٌ : أَلَمْ يَدْخُلْتَ أُمَّ هَذَا أَمْرًا .
 فَزَعْتُ وَوَقَفْتُ . ثُمَّ عُدْتُ فَرَكِبْتُ التَّائِيَةَ فَقَعَلْتُ مِثْلَ ذَلِكَ ثَلَاثَ
 مَرَّاتٍ . فَفَكَّرْتُ بِنَفْسِي : لَا وَاللَّهِ مَا لَمْ يَدْخُلْتَ وَلَا يَدْخُلُ هَذَا أَمْرًا . ثُمَّ
 نَزَلْتُ وَصَادَقْتُ رَاعِيًا لِأَبِي فَأَخَذْتُ مِنْهُ جَبَّةً مِنْ صُوفٍ . فَلَبِسْتُهَا
 وَأَعْطَيْتُهُ الْفَرَسَ وَمَا كَانَ مَعِيَ ثُمَّ دَخَلْتُ الْبَادِيَةَ

第13講 §4 訳読 178p.

دَخَلَ ذُو ذَنْبٍ عَلَى سُلْطَانٍ فَقَالَ لَهُ : يَا أَيُّ وَجْهِ تَلْقَانِي
فَقَالَ : يَا لَوَجْهِ الَّذِي آتَى بِهِ اللَّهُ وَذُنُوبِي إِلَيْهِ أَعْظَمُ وَعِقَابُهُ
أَكْبَرُ فَتَمَاقَا عَنْهُ

第14講 §2 訳読 I 186p.

قِيلَ لِحَكِيمٍ : إِنَّ الَّذِي قُتِلَ لِأَهْلِ مَدِينَةٍ كَذًا لَمْ يَقْبَلُوهُ .
فَقَالَ : لَا يَلْزِمُنِي أَنْ يَقْبَلَ بَلْ يَلْزِمُنِي أَنْ يَكُونَ صَوَابًا

第14講 §4 訳読 II 190p.

مَا يَدُّ وَعُضْفُورٌ
كَانَ مَا يَدُّ يَبِيدُ الْمَصَافِيرَ فِي يَوْمٍ بَارِدٍ . فَكَانَ يَذْبَحُهَا
وَالدَّمْعُ نَسِيلٌ . فَقَالَ عُضْفُورٌ لِصَاحِبِهِ : لَا بَأْسَ عَلَيْكَ مِنْ
الرَّجُلِ . أَمَا تَرَاهُ يَبْكِي . فَقَالَ لَهُ الْآخَرُ : لَا تَنْظُرْ إِلَى دُمُوعِهِ
بَلْ إِلَى مَا تَصْنَعُ يَدَاهُ

第15講 §3 訳読 200p.

عِشْ مَا شِئْتَ فَإِنَّكَ مَيِّتٌ . وَأَحِبِّ مَا شِئْتَ فَإِنَّكَ مُنَارِقَةٌ .
وَأَعْمَلْ مَا شِئْتَ فَإِنَّكَ تَحْجِزِي بِهِ

وَقِيلَ: دَعِ الْكِبَرَ . مَتَى كُنْتَ مِنْ أَهْلِ النَّبْلِ لَمْ يَضُرْكْ
 التَّبْدُلُ وَمَتَى لَمْ تَكُنْ مِنْ أَهْلِهِ لَمْ يَفْعَلْ التَّبْدُلُ . قَالَ الْمَأْمُونُ : مَا
 تَكْبَّرَ أَحَدٌ إِلَّا لِنَفْسٍ وَجَدَهُ فِي قَبْرِهِ . وَلَا تَطَاوَلْ إِلَّا لِيَوْهَنَ لَحْسٌ
 مِنْ نَفْسِهِ .

عَنِّي يَوْمًا إِذْ هَمَّ بِرَيْبِ الْمُنْبِيِّ الرَّشِيدِ بَيْنَ يَدَيْهِ فَقَالَ لَهُ : أَحْسَنْتَ
 أَحْسَنَ اللَّهِ إِلَيْكَ . فَقَالَ لَهُ : يَا أَمِيرَ الْمُؤْمِنِينَ إِنَّمَا يُحْسِنُ اللَّهُ إِلَيَّ
 بِكَ . فَأَمَرَ لَهُ بِبَايَةِ أَلْفِ دِرْهَمٍ .

خُمْسَةٌ وَنَحْلَةٌ
 خُمْسَةٌ قَالَتْ مَرَّةً لِنَحْلَةٍ : لَوْ أَخَذْتَنِي مَعَكَ لَمَلْتُ مِنْكَ
 وَأَكْتَرُ . فَأَجَابَهَا النَّحْلَةُ إِلَى ذَلِكَ . فَلَمَّا لَمْ تُفْذِرْ عَلَيَّ وَقَاءَ مَا قَالَتْ
 ضَرَبْنَا النَّحْلَةَ بِجُمَّتَيْهَا . وَفِيهَا هِيَ تَمُوتُ قَالَتْ فِي قَبْرِهَا : لَقَدْ
 اسْتَوْجِبْتُ مَا نَالَنِي مِنَ السُّودِ . فَإِنِّي لَا أَحْسِنُ الزِّفْتُ فَكَيْفَ
 الْعَمَلُ

قَدْ قِيلَ : إِنَّ الْكِتَابَ هُوَ الْجَلِيسُ الَّذِي لَا يُنَافِقُ
 وَهُدًى . وَلَا يُبَايِعُكَ إِذَا جَمَعْتَهُ وَلَا يُفِيضُ سِرَّكَ

第 18 講 § 4 訳読 II 230p.

قَالَ سُقْرَاطُ وَهُوَ يَلِيذُ فَيَاغُورُسَ الْحَكِيمِ : إِذَا أَقْبَلَتْ
الْحِكْمَةُ خَدَمَتْ الشَّهَوَاتِ الْمُعْوَلِ . وَإِذَا أَدْبَرَتْ خَدَمَتْ الْمُعْوَلِ
الشَّهَوَاتِ

第 19 講 § 2 訳読 I 236p.

كُلُّ فِعْلٍ يَقْرَبُ صَاحِبَهُ مِنَ اللَّهِ تَعَالَى فَهُوَ بِرٌّ . وَلَا يَحْصُلُ التَّقَرُّبُ
إِلَيْهِ إِلَّا بِالتَّوْبَةِ مِنْ سِوَاهُ . فَمَنْ أَحَبَّ شَيْئًا قَدَّ حُجِبَ عَنِ اللَّهِ
تَعَالَى وَأَشْرَكَ شِرْكًَا خَفِيًّا لَتَمْلِكَنَّ حُبَّيْتَهُ بِتَبِيرِ اللَّهِ سُجَّانَهُ

第 19 講 § 5 訳読 II 243p.

حُكِي أَنَّ الْحَجَّاجَ خَرَجَ فِي بَعْضِ الْأَيَّامِ لِتَنْزِهِ فَصَرَفَ
عَنْهُ أَصْحَابَهُ وَأَثَرَدَ بِنَفْسِهِ فَلَاقَى شَيْخًا مِنْ بَنِي عَجَلٍ فَقَالَ لَهُ : مِنْ
أَيْنَ أَنْتَ يَا شَيْخُ . قَالَ : مِنْ هَذِهِ الْقَرْيَةِ . قَالَ : مَا رَأَيْتُمْ بِحُكْمِ
الْبِلَادِ . قَالَ : كُلُّهُمْ أَشْرَارٌ يَظْلِمُونَ النَّاسَ وَيَخْتَلِسُونَ أَمْوَالَهُمْ . قَالَ :
وَمَا قَوْلِكَ فِي الْحَجَّاجِ . قَالَ : هَذَا أَنْجَسُ الْكُلِّ سِوَدَ اللَّهِ وَجْهَهُ
وَوَجْهَهُ مَنْ اسْتَعْمَلَهُ عَلَى هَذِهِ الْبِلَادِ . فَقَالَ الْحَجَّاجُ : تَعْرِفُ مَنْ أَنَا
قَالَ : لَا وَاللَّهِ . قَالَ : أَنَا الْحَجَّاجُ . قَالَ : أَنَا فِدَاكَ وَأَنْتَ تَعْرِفُ مَنْ
أَنَا . قَالَ : لَا . قَالَ : أَنَا زَيْدُ بْنُ عَامِرٍ مَجْنُونٌ بَنِي عَجَلٍ أَصْرَعُ كُلَّ
يَوْمٍ مَرَّةً فِي مِثْلِ هَذِهِ السَّاعَةِ . فَضَحِكَ الْحَجَّاجُ وَأَجَازَهُ

نَظَرَ رَجُلٌ إِلَى فَيْلَسُوفٍ يُدَبِّبُ شَيْخًا فَقَالَ لَهُ : مَا
تَضَعُ . قَالَ : أَغِيْلُ حَبِيْبًا لَعَلَّهُ يَبِيْضُ

لَمَّا أَتَى عُمَرُ بِالْمِزَانِ أَرَادَ قَتْلَهُ فَاسْتَسْقَى مَاءً فَأَتَاهُ
بِقَدْحٍ فَأَمْسَكَهُ بِيَدَيْهِ فَأَضْطَرَبَ وَقَالَ : لَا تَقْتُلْنِي حَتَّى أَشْرَبَ
هَذَا الْمَاءَ . فَقَالَ : نَعَمْ . فَأَلْقَى الْقَدْحَ مِنْ يَدَيْهِ . فَأَمَرَ عُمَرُ بِأَنْ
يُقْتَلَ فَقَالَ : أَوْلَمْ تُؤْمِنِي وَقُلْتَ : لَا أَقْتُلُكَ حَتَّى تَشْرَبَ هَذَا الْمَاءَ .
فَقَالَ عُمَرُ : قَاتَلَهُ اللَّهُ أَخَذَ أَمَانًا وَلَمْ نَشْرَبْ بِهِ

رُوِيَ أَنَّ أَبَا الْعَتَاهِيَةَ مَرَّ بِدُكَّانٍ وَرَاقٍ فَإِذَا كِتَابٌ فِيهِ
بَيْتٌ مِنَ الشُّعْرِ :
لَنْ تَرَجِعَ الْأَنْسُ عَنْ نَعِيْمِهَا مَا لَمْ يَكُنْ مِنْهَا لَهَا زَاجِرٌ
فَقَالَ : لَنْ هَذَا . قِيلَ : لِأَبِي نُؤَاسٍ . فَقَالَ : وَدِدْتُ أَنَّ لِي
بِنْتٌ شِعْرِي

第21講 §3 訳読 260-261p.

قَطَّانٍ وَفَرْدٍ
 قَطَّانٍ اخْتَطَّتَا جِنَّةً وَذَهَبًا بِهَا إِلَى الْفَرْدِ لِكَيْ يَسِمَهَا بَيْنَهُمَا
 فَسَبَّهَا إِلَى قِسَيْنِ أَحَدُهَا أَكْبَرُ مِنَ الْآخَرِ وَوَضَعَهَا فِي مِيزَانِهِ
 فَرَجَحَ الْأَكْبَرُ. فَأَخَذَ مِنْهُ شَيْئًا بِأَسْنَانِهِ وَهُوَ يُظْهِرُ أَنَّهُ يُرِيدُ
 مُسَاوَاتَهُ بِالْأَصْفَرِ. وَلَكِنْ إِذَا كَانَ مَا أَخَذَهُ مِنْهُ هُوَ أَكْبَرُ مِنَ الْإِلَازِمِ
 رَجَحَ الْأَصْفَرُ. فَعَمِلَ بِهَذَا مَا فَعَلَهُ بِذَلِكَ ثُمَّ قَمَلَ بِذَلِكَ مَا فَعَلَهُ بِهَذَا
 حَتَّى كَادَ يَذْهَبُ بِالْجِنَّةِ. فَقَالَتْ لَهُ الْقَطَّانُ: تَمَحْنُ رَضِيئًا بِهَذَا
 الْفِئْسَةِ فَأَعْطِنَا الْجِنَّةَ. قَالَ: إِذَا كُنْتُمَا أَنْتُمَا رَضِيئًا فَإِنَّ الْعَدْلَ
 لَا يَرْضَى. وَمَا زَالَ يَضْمُ الْفِئْسَةَ الرَّاجِحَ مِنْهُمَا كَذَلِكَ حَتَّى آتَى
 عَلَيْهِمَا جِيمًا. فَرَجَحَتْ الْقَطَّانُ بِحِزْنٍ وَخِيَّةٍ وَهِيَ تَقُولَانِ:
 وَمَا مِنْ يَدٍ إِلَّا يَدُ اللَّهِ قَوْمًا وَلَا ظَلِيمٌ إِلَّا سَيِّئٌ بِأَعْيُنِهِمْ

第22講 §1 訳読 I 269p.

قَالَ أَبُو الْعَبَّاسِ السَّعَّاحُ: لَا تَعْمَلَنَّ الَّذِينَ حَتَّى لَا يَنْفَعُوا إِلَّا الشَّيْءَ.
 وَلَا تَكْرَمَنَّ الْخَاصَّةَ مَا أَمْتَهُمْ عَلَى الْعَامَّةِ. وَلَا تَعْمَلَنَّ سِنِّي حَتَّى
 يَسْلَهُ الْحَقُّ. وَلَا تُعْطِينَ حَتَّى لَا أَرَى لِلْمُعْطِيَةِ مَوْضِعًا

第22講 §3 訳読 II 272p.

قَالَ رَجُلٌ لِأَقْلِيدُسَ الْحَكِيمِ: لَا أَسْتَرِيحُ أَوْ أَتَلِفُ رُوحَكَ.
 قَالَ: وَأَنَا لَا أَسْتَرِيحُ حَتَّى أَخْرَجَ الْجِدَّ مِنْ قَلْبِكَ (للنزالي)

以上

②練習と訳読の例解

第7講 練習 66 ページ

すべてを神にお委せした男と女、信仰ぶかい男と女、言いつけ守る男と女、誠実な男に誠実な女、辛抱強い男に辛抱強い女、慎みぶかい男に慎みぶかい女、施しを好む男と女、断食の務めを守る男と女、……こういう人たちにはアッラーは罪の赦しと大きな御褒美を用意してお置きになった。

(『コーラン』33・35、井筒俊彦訳)

第10講 練習 124 ページ

三つの礼拝堂は

talātat^u masāğid^a = masāğid^u talātat^{un}

四つの礼拝堂の中で

fī arba'atī masāğid^a
= fī masāğid^a arba'atīⁿ

八つの礼拝堂を私は見た

ra'aitu ṭamāniyat^a masāğid^a
= ra'aitu masāğid^a ṭamāniyat^{an}

九つの学校は

tis^u madāris^a = madāris^u tis^{un}

九つの学校へ彼女らは行った

ḡahabna ilā^y tisⁱ madāris^a
= ḡahabna ilā^y madāris^a tisⁱⁿ

八つの学校を彼らは建てた

banau ṭamāniy^a madāris^a
= banau madāris^a ṭamāniy^{an}

第13講 §4 訳読 178 ページ

罪人がスルターンのところへ入って来た。すると彼 [スルターン] が彼に言っ

た、「どの面さげてお前はわしに会おうというのか」。すると彼 [罪人] が言った、「神に会う顔で、彼 [神] に対する私の数々の罪は [あなたに対するそれよりも] なお大きく、彼 [神] の罰は [あなたが私に下す罰よりも] なお大きいのですが (=大きいにもかかわらず、しかも神に会う顔です)」。それを聞いてスルターンは彼を赦した。

第15講 §3 訳読 200 ページ

お前が好きなだけ生きたところで、要するにお前は死者 [とならなければならぬ] だ。また、お前が愛したいと思うものを何でも勝手に愛するがいい。結局お前はそれと別れてしまうのだから。また、お前がしたいことを何でも勝手にするがいい。結局お前は自分がやったことによって報いを受けるのだ。

第16講 §2 訳読 I 207 ページ

wa-qīla: da'i l-kibr^a. matā^y kunta min ahlī n-nublī lam yaḡurra-ka t-tabaddul^u wa-matā^y lam takun min ahlī-hi lam yanfa'-ka t-tanabbul^u. qāla l-ma'mūn^u: mā takabbara aḡad^{un} illā li-naqṣⁱⁿ waḡada-hu fī nafsⁱ-hi. wa-lā taṭāwala illā li-wahnⁱⁿ aḡassa min nafsⁱ-hi.

第16講 §5 訳読 II 213 ページ

ḡannā^y yaum^{an} ibrahīm^u muḡanni^t r-rašīdī baina yadai-hi fa-qāla la-hu: aḡsanta aḡsana l-lāh^u ilai-ka. fa-qāla la-hu: yā amīr^a l-mu'minīna innamā

yuḥsinu l-lāh^u ilai-ya bi-ka. fa-amara
la-hu bi-mi'ati alfi dirhamⁿ.

(*短く読む?)

ある日、アッ・ラシードのお抱え歌手のイブラーヒームが、彼 [ラシード] の両手の間で (=彼の御前で) 歌った。すると彼 [ラシード] が彼に言った、「よくやった。神がお前にお恵み (=ご褒美) を与え給わんことを」。それを聞いて彼 [イブラーヒーム] が彼に言った、「おお、信徒たちの指導者よ、神はただただあなたによってのみ私にお恵みを与え給うのであります」。すると彼 [ラシード] は、彼 [イブラーヒーム] に十万ディルハムを与えよ、と [近侍の者に] 命じた。

第 17 講 §2 訳読 219-220 ページ

() 内の発音は省略される

ḥunfusat^{un} wa-naḥlat^{un}

ḥunfusat^{un} qālat marrat^{an} li-naḥlatⁱⁿ:
lau aḥadti-nī ma'a-ki la-'assaltu miṭla-ka
wa-aktar^a. fa-aḡābat-hā* n-naḥlat^u ilāy
dālika. fa-lammā lam taqdir 'alāy wafā'i
mā qālat ḡarabat-hā* n-naḥlat^u
bi-ḥumatⁱ-hā: wa-fī-mā hiya tamūtu qālat
fī nafsⁱ-hā: la-qadi-(i)stauḡabtu mā
nāla-nī mina s-sū'ⁱ. fa-innī lā uḥsinu
z-ziff^a fa-kaifa l-'asal^a. (*短く読む?)

甲虫と蜜蜂

一匹の甲虫があるとき一匹の蜜蜂に言った、「もしお前といっしょに私を連れて行ってくれるなら、そのときは [la] お前のように蜜を作ってみせるぞ、いや、[お前より] もっと多く」。そこで蜜蜂は彼女

[甲虫] にそのことを承諾した。ところが、彼女 [甲虫] が言った (=約束した) ことを果たせなかったとき、蜜蜂は彼女 [甲虫] をその針で刺した。すると彼女 [甲虫] は死んでいく間に (=瀕死の状態) で心の中で [次のように] 言った (=思った)、「ほんとうに私は禍に属するもので私を捉えたもの (=私を襲った不幸) にふさわしい者となったのだ (=私に振りかかった不幸は私が我と我が身に招いたものなのだ)。なぜなら私は、松脂すら上手にできもしないのに、どうして蜜など [作れる道理があるというのか]」。

第 18 講 §3 訳読 I 229 ページ

qad qīla: inna l-kitāb^a huwa l-ḡalīs^u
l-laḡī lā yunāfiq^u wa-yumillu-hu. wa-lā
yu'ātibu-ka idā ḡafauta-hu wa-lā yufšī
sirr^a-ka.

確かに [次のように] 言われている、「まことに書物というものは、うわべを偽って飾ったりせず、彼を退屈させたりしない親しい友である。もし彼を虐げたとしてもあなたを咎めたりしないし、あなたの秘密を漏らしたりすることもない [、そういう親しい友である]」。

第 18 講 §4 訳読 II 230 ページ

qāla suqrāt^u wa-huwa tilmīd^u fītāḡūrusa^a
l-ḥakīmⁱ: idā aqbalati l-ḥikmat^u ḥadamati
š-šahawāt^u l-'uqūl^a. wa-idā adbarat
ḥadamati l-'uqūl^u š-šahawāt^a.

哲学者ピタゴラスの弟子であるソクラテスは言った、「智が前進すれば (=栄え

れば) 諸々の欲情は理性に仕える。また、
[智が] 後退すれば、理性が諸々の欲情に
仕える」。

第 19 講 §2 訳読 I 236 ページ

kull^u fi 'lⁱⁿ yuqarribu ṣāhib^a-hu mina
l-lāhⁱ ta'ālāy fa-huwa birr^{un}. wa-lā yaḥṣulu
t-taqarrub^u ilai-hi illā bi-t-tabarri'ⁱ
mimman siwā-hu. fa-man aḥabba ṣai'^{an}
fa-qad ḥuḡiba 'ani l-lāhⁱ ta'ālāy
wa-aṣraka širk^{an} ḥafiy^{an} li-ta'alluqⁱ
maḥabbatⁱ-hi bi-ḡairⁱ l-lāhⁱ subḥān^a-hu.

それを為す人をいと高き神に近づける
すべての行為は、すなわちそれは正しき
行ないである。そして、神以外のものか
らまったく離脱することによってでなけ
れば、神への接近は生じない。なぜなら、
誰かが何かを愛するならば (=何かを愛
する人は)、そのときは確かに、いと高き
神から隠されて、神以外のものに対する
彼の愛の執着のゆえに、あからさまにで
はない密かな偶像崇拜を行なっているか
らだ。神に栄光あれ！ (al-qāṣānīy^u
アル・カーシャーニー、1107)

第 19 講 §5 訳読 II 243 ページ

() 内の発音は省略される

ḥukiya anna l-ḥaḡḡāḡ^a ḥaraḡa fī ba'ḍⁱ
l-aiyāmⁱ li-t-tanazzuhⁱ fa-ṣarafa 'an-hu
aṣḥāb^a-hu wa-(i)nfarada bi-nafsⁱ-hi wa-
lāqāy ṣaiḥ^{an} min banī 'iḡlⁱⁿ fa-qāla la-hu:
min aina anta yā ṣaiḥ^u. qāla : min ḥāḍihi
l-qaryatⁱ. qāla: mā ra'y^u-kum bi-ḥukkāmⁱ
l-bilādⁱ. qāla: kull^u-hum aṣrār^{un} yazlimūna

n-nās^a wa-yaḥṭalisūna amwāl^a-hum.
qāla: wa-mā qaul^u-ka fi l-ḥaḡḡāḡⁱ. qāla:
ḥāḡā anḡas^u l-kullⁱ sauwada l-lāh^u waḡh^a
-hu wa-waḡh^a mani (i)sta'mala-hu 'alāy
ḥāḍihi l-bilādⁱ. fa-qāla l-ḥaḡḡāḡ^u: ta'rifu
man anā. qāla: lā wa-l-lāhⁱ. qāla: anā*
l-ḥaḡḡāḡ^u. qāla: anā fidā-ka wa-anta
ta'rifu man anā. qāla: lā. qāla: anā
zaid^u bn^u 'āmirⁱⁿ maḡnūn^u banī 'iḡlⁱⁿ
uṣra'u kull^a yaumⁱⁿ marrat^{an} fī miṭlⁱ ḥāḍihi
s-sā'atⁱ. fa-ḡahika l-ḥaḡḡāḡ^u wa-aḡāza
-hu. (*短く読む)

以下のような話がある。アル・ハッジ
ヤージュが、[日々のうちの] ある日のこ
と、散歩に出かけて、彼のところから彼
のお伴の者たちを立ち去らせた。そして
彼自身と独りになると (=独りきりにな
ると)、イジュル族に属する一老人と出会
い、彼に言った、「お前はどこから来たの
かね、おい、爺さん」。彼 [老人] は言っ
た、「この村からさ」。彼 [アル・ハッジ
ヤージュ] は言った、「この国の統治者た
ちに関するお前の意見は何か」。彼は言っ
た、「やつらはみんな悪いやつらで、人々
を虐げ、彼らの財産を取り上げている」。
彼は言った、「では、アル・ハッジヤージュ
についてのお前の言い分は何か」。彼は
言った、「そいつはすべての中でいちばん
汚らわしいやつだ。アッラーが彼の顔と、
彼をこの国の支配者に任命した人の顔を
真っ黒になし給わんことを」。すると、ア
ル・ハッジヤージュが言った、「おれが誰
なのか、お前知っているか」。彼が言っ
た、「神かけて知るもんか」。彼が言っ
た、「お

れがアル・ハッジャージュだ」。彼が言った、「おれはあんたに請け出された (= おれはあんたのあがない / 身代わりだ < 相手の親切な言葉や行為に感激したときなどに使う一種の感嘆文 >)。ところで、あんたはおれが誰か知ってるか」。彼が言った、「いや」。彼が言った、「わしはアーミルの息子ザイドで、イジュル族にその人ありと知られた瘋癲だ。毎日、この時間のごときものにおいて (= ちょうど今時分になると)、一度、発作に襲われるのさ」。それを聞いてアル・ハッジャージュは笑って、彼を許した。

第20講 §2 訳読 I 247 ページ

nazara rağul^{un} ilāy failasūfⁱⁿ yu'addibu šaiḥ^{an} fa-qāla la-hu: mā tašna'u. qāla: aḡsilu ḥabašiy^{an} la'alla-hu yabyaḍḍu.

ある人が、老人を懲らしめている哲学者を見て、彼に言った、「何をしていますか」。彼が言った、「エチオピア人を洗っているんですよ。たぶん彼は白くなるだろう (= ひょっとしたら白くなるかも知れぬ) と思ってね」。

(『イソップ寓話集』中務哲郎訳、岩波文庫の№393「エチオピア人」を参照)

第20講 §4 訳読 II 250 ページ

() 内の発音は省略される

lammā utiya 'umar^u bi-l-hurmuzānⁱ arāda qatl^a-hu fa-(i)stasqāy mā'^{an} fa-atā-hu bi-qadaḥⁱⁿ fa-amsaka-hu bi-yadⁱ-hi fa-(i)ḍtaraba wa-qāla: lā taqtul-nī ḥattāy ašraba hādā l-mā'^a. fa-qāla: na'am. fa-

alqāy* l-qadaḥ^a min yadⁱ-hi. fa-amara 'umar^u bi-an yuqtala fa-qāla: a-wa-lam tu'ammin-nī wa-qulta: lā aqtulu-ka ḥattāy tašraba hādā* l-mā'^a. fa-qāla 'umar^u: qātala-hu l-lāh^u aḥḍa amān^{an} wa-lam naš'ur bi-hi. (*短く読む?)

人々がホルムザーンを伴ってウマルのところに来たとき (= ホルムザーンがウマルのところに連れて来られたとき)、彼 [ウマル] は彼 [ホルムザーン] の殺害を欲した (= 彼を殺そうと思った)。そのとき彼が、水を飲ませてくれと頼んだ。そこで彼のところへ一盃 [の水] を持ってきてやった。彼はそれを手でつかんだが、不安になって言った、「この水を飲むまでは私を殺さないでくれ」。すると彼が言った、「分かった」。そこで彼 [ホルムザーン] は盃を彼の手から投げた。そこでウマルは彼が殺されることを (= 彼を殺すよう) 命じた。すると彼が言った、「あなたは私に安全を保証しなかったか (= 保証したではないか)、そしてこう言ったのだ、この水を飲むまではお前を殺さない、と」。それを聞いてウマルが言った、「神が、我々がそれに気づかぬ状態において (= 気づかぬうちに) 安全を取りつけてしまった彼を殺そうとし給わんことを (= ちえっ、うまいことを言う奴だ、我々が気づかぬうちに安全の保証を取りつけてしまいやがった)」。

第20講 §7 訳読 III 254 ページ

ruwiya anna abā* l-'atāhiyatⁱ marra bi-dukkānⁱ warrāqⁱⁿ fa-īdā kitāb^{un} fī-hi

bait^{un} mina š-šī'ri:

lan tarǧī'a l-anfus^u 'an ǧaiyⁱ-hā mā lam
yakun min-hā la-hā zāǧir^{u**}

fa-qāla: li-man hādā. fa-qīla: li-abī
nuwāsⁱⁿ. fa-qāla: wadidtu anna-hu lī
bi-niṣfⁱ šī'rī.

(*短く読む？)

**本来 zāǧir^{un}とあるべきだが詩の行末
で語尾 un を ū, an を ā, in を ī と読
むことがある)

以下のことが語り伝えられている。ア
ブ・ル・アターヒヤが本屋の店先に立ち
寄った。するとはからずも、詩の一行が
書かれている一冊の本が[目に入った]。

[人々の]心はその迷いから決して遷
らない (=人々は決してその迷夢から醒
めない)であろう、彼女 (=心自身) か
ら彼女のために (=心自身に対して) 咎
める者がいない限りは (=心が我と我が
身を咎めない限り)。

[それを読んで]彼は言った、「これは
誰のものですか」。すると、こう言われた、
「アブー・ヌワースのものです」。それを
聞いて彼は言った、「それが私の [作っ
た] ものであってほしいものだ、私の詩
の半分と取り替えても」。

第21講 §3 訳読 260-261 ページ

() 内の発音は省略される

qittātāni wa-qird^{un}

qittātāni (i)ḥtaṭafatā ǧubnat^{an}
wa-ǧahabatā bi-hā ilāy* l-qirdi likai
yaqsima- hā baina-humā fa-qasama-hā
ilāy qismaini aḥad^u-humā akbar^u mina

l-āḥari wa-waḍa' a-humā fī mīzānⁱ-hi
fa-raǧaḥa l-akbar^u. fa-aḥaḍa min-hu
šai'^{an} bi- asnānⁱ-hi wa-huwa yuḥziru
anna-hu yurīdu musāwāt^a-hu bi-l-aṣḡari.
walākin id kāna mā aḥaḍa-hu
min-hu huwa akbar^u mina l-lāzimi
raǧaḥa l-aṣḡar^u. fa-fa'ala bi-hādā mā
fa'ala-hu bi-dāka ṭumma fa'ala
bi-dāka mā fa'ala-hu bi- hādā ḥattāy
kāda yaḍhabu bi-l-ǧubnatⁱ. fa-qālat la-hu
l-qittātāni: naḥnu raḍīnā bi-hāǧihi
l-qismatⁱ fa-a'ṭi-nā* l-ǧubnat^a. fa-qāla: idā
kuntumā antumā raḍītumā fa-inna l-'adl^a
lā yarḍāy. wa-mā zāla yaqḍamu l-qism^a
r-rāǧiḥ^a min-humā kaḍālika ḥattāy
atāy 'alai-himā ǧamī'^{an}. fa-raǧa'ati
l-qittātāni bi-ḥuznⁱⁿ wa-ḥaibatⁱⁿ wa-humā
taqūlāni:

wa-mā min yadⁱⁿ illā yad^u l-lāhⁱ fauqa-
hā wa-lā zālim^{un} illā sa-yublāy^y bi-aḏlamī.

(*短く読む)

二匹の猫と [一匹の] 猿

二匹の猫がチーズを掠め取り、それを
持って猿のところへ行った、それを彼ら
二匹の間で分けるために。そこで彼 [猿]
はそれを二つの部分に分けた。その二つ
のうちの一つは、もう一つよりも大きか
った。そこで彼 [猿] がその二つを自分
の秤に置くと、大きいほうが下にさがっ
た。すると彼はそれ [大きいほう] から
いくらかを自分の歯で取った、それをよ
り小さいほうと等しくすることを欲する
かのごとくに見せかけて。しかしながら、
彼がそれから取ったもの、それが [huwa]

必要以上に大きかったので、小さいほうが下にさがってしまった。かくして、あっちにしたことをこっちにし、それから、こっちにしたことをあっちにして、その結果、もうちょっとでチーズを奪い取って (= 平らげて) しまいそうになった。そこで彼に二匹の猫が言った、「私たちはこの分け方で満足する、だからそのチーズを私たちに下さい」。すると彼が言った、「君たち二人がいくら満足しても、それでは公正というものが満足しないんだ」。そしてその二つから、下にさがるほうの部分をかじり続けて、そのようにしてついにその二つを全部ぺろりと平らげてしまった。二匹の猫は悲しみ落胆し、こう言いながら帰って行った、

「その上に神の手が [あること] なしにはいかなる手も存在しない (= いかなる手でも、必ずその上には神の手があるものだ) し、また、より横暴なる人をもっていずれは苦しめられるであろうことなしには、いかなる暴政者もない (= どんなに暴力を振るう強い奴でも、きっとそれ以上の腕力を持つ者がいつかは現われて、反対に彼を苦しめるであろう)」。

第22講 §1 訳読 I 269 ページ

qāla abū* l-'abbāsī s-saffāhū:
la-u'milanna l-līnā ḥattāy lā yanfa'a illā*
š-šiddatū. wa-la-ukrimanna l-ḥāṣṣatā mā
ammantu-hum 'alāy* l-'āmmatī. wa-la-
uḡmidanna saifī ḥattāy yasulla-hu
l-ḥaqqū. wa-la-u'ṭiyanna ḥattāy lā arāy
li-l-'aṭīyatī maudī^{an}. (*短く読む?)

アブ・ル・アッバース・アッ・サッフ
アーフが言った、「おれは誓って優しさを行
行使するぞ (= 他人に対してみだりに暴
力を振るわず、穏やかに取り扱うぞ)、腕
力でなければ役に立たない [よくなる
] までは。また、有力者を丁重に扱う
ぞ、有力者に一般人民の統治を任せた限
りは。また、おれの剣を鞘に収めておく
ぞ、真理が剣を抜くまでは (= 剣を抜く
べき時が来るまでは)。また、施し物をし
てやるぞ、施し物のために置き場所をお
れが見なくなるまでは (= いくら施して
やりたくても、もう全然その置き場所が
なくなるようになるまでは)」。

第22講 §3 訳読 II 272 ページ

qāla raḡul^{un} li-uqlīdus^a l-ḥakīmī: lā
astariḥu au utlifa rūḥ^a-ka. fa-qāla: wa-
anā lā astariḥu ḥattāy uḥriḡa l-ḥiqd^a min
qalbi-ka.

ある男が、思慮深きユークリッドに言
った、「おれは休息しないぞ、お前の命を
破滅させない限り (= 破滅させるまで
は)」。すると彼 [ユークリッド] が言った、
「私も休息しないぞ、君の心から怨恨を
追い出してしまおうまでは」。

(li-l-gazzāliyyī アル・ガッザーリーの
書いたもの)

以上

◎ローマ字転写による訳読のアラビア文字化 (母音は表示していない)

第二講 §5 訳読 24 ページ

خرج رجل من المسجد ووجد في الطريق
سائلا فقيرا، طلب الفقير صدقة من الرجل
فوضع الرجل في كفه السائل قرشا.

第四講 §5 訳読 35 ページ

إنَّ الصَّلَاةَ عماد الدين وعصام اليقين ورأس
القربات وغزاة الطاعات. قال بعضهم إنَّ الصَّلَاةَ
تمسك وتواضع وتضرع وتأوّه وتنادم.

第五講 §6 訳読 49 ページ

إنَّ الله خلق الانسان من نوعين من شخص
وروح وجعل الجسد منزلا للروح.

第六講 §4 訳読 1 56 ページ

إعلم ايها الانسان أنك مخلوق ولك خالق وهو
خالق العالم وجميع ما في العالم وأنه واحد. كان
في الأزل وليس لكونه زوال ويكون مع
الأبد وليس لبقاءه فناء. وجوده في الأزل والأبد
واجب وما للعدم اليه سبيل وهو موجود بذاته
وكل أحد اليه محتاج وليس له إلى أحد إحتياج.
وجوده به ووجود كل شيء به.

第七講 §2 練習 66 ページ

إنَّ المسلمين والمسلمات، والمؤمنين
والمؤمنات، والقانتين والقانتات، والصادقين
والصادقات، والصابرين والصابرات، والفاشعين
والفاشعات، والمتصدقين والمتصدقات،
والصائمين والصائمات... أعد الله لهم مغفرة
وأجرا عظيما.

第七講 §4 訳読 1 69 ページ

من ظريف كلام نصر بن سيار: كل شيء
يبدأ صغيرا ثم يكبر إلا المصيبة فإنها تبدأ
كبيرة ثم تصغر. وكل شيء يرخص إذا كثرت
إلا الأدب فإذا كثرت غلا.

第七講 §6 訳読 2 72 ページ

أسد مرّة خرج على ثورين فاجتمعا جميعا.
وكان ينطحانه بقرونهما ولا يمكنانه من
الدخول بينهما، فانفرد بأحدهما وخذعه ووعده
ألا يعارضه إن انفرد عن صاحبه. فلما افترقا
افترسهما جميعا.

第八講 §3 訳読 1 83 ページ

رجل مرّة كان يحمل جرزة حطب فتقلت عليه.
فلما تعب وضجر من حملها رمى بها عن كتفه
ودعا على روحه بالموتة فشخص له الموتة قائلا:
هوذا أنا، لماذا دعوتني. فقال له الرجل: دعوتك
لترفع جرزة الحطب هذه على كتفي.

第八講 §6 訳読 3 101 ページ

غزال وأسد

غزال من خوفه من الشّيبانين انهزم إلى
مغارة، فدخل إليه الأسد فافترسه فيها. فقال
في نفسه: الويل لي أنا الشقي لأنني هربت من
الناس فوقعت في يد من هو أشدّ منهم بأسا.

مغزاه

أن كثيرا يفرّون من بلائهم فيعصون في بلائهم أعظم.

以上

④ 語彙集

凡例 (あまり厳密ではないがおおよそ以下のように配列した)

- * 配列は一部を除いてアルファベット順。転写文字は井筒に従った。
- * 〇は 〇の項に配列した。特に $-at^n$ のもの。
- * 同じつづりは動詞を先に配列した。
- * ハムザは台になっている文字のところに配列した。台がないときは始めに置いた。
- * f. は女性形、pl. は複数形、pl. のあとの数字は複数形の型 (アラビア数字は不規則複数
の作り方の番号、18-I~IVは第18講のI~IVの型を示す)。
- * () は動詞のあとでは未完了形、原形などを、名詞のあとでは複数形などを、単語
や文中においては省略可能なことを、その他では文法的な説明を表わす。
- * [] は名詞のあとで格変化形、単数形、語源などを表わす。
- * < > 内の数字は『アラビア語入門』本分の参照ページを表わす。男・女は名詞の性
別を表わすが、すべての名詞に記しているわけではない。井筒と本田 / 石黒によった
が、両方で異なる場合は井筒に従った。
- * 『アラビア語入門』本文中に使われている「の」格、「を」格はそれぞれ属格、対格と
した。
- * bi- などハイフンを付した語は次の語に接頭することを表わす。

参考文献

- F. Steingass, *Arabic English Dictionary*, Cosmo Publications, New Delhi, 1978
- E.W. Lane, *Arabic English Lexicon*, The Islamic Texts Society, Cambridge, England,
1863/1984
- H. Anthony Salmoné, *An Advanced Learner's Arabic-English Dictionary*, Librairie du Liban,
Beirut, 1978
- H. Wehr, *Arabisches Wörterbuch für die Schriftsprache der Gegenwart*, 5. Auflage,
Harrassowitz Verlag, Wiesbaden, 1998
- H. Wehr / J.M. Cowan, *Arabic-English Dictionary*, Fourth Edition, Spoken Language
Services, 1994
- L. Kropfitsch, *Handwörterbuch Arabisch-Deutsch*, Langenscheidt, Berlin / München, 2003
- 本田孝一 / 石黒忠昭『パスポート初級アラビア語辞典』、白水社、1997/2001

a, i, u l

a- [冒頭で hal と同じ意味の疑問詞] ~
ですか？

ab^{un} <男>(pl. ābā^{un}; 属格や人称代名詞
連結形が続くと abū, abī, abā; 双数
abawāni) 父 <138>

abū bakrⁱⁿ アブー・バクル (初代カリ
フ) <137>

abū ishāq^a ibrahīm^u bn^u adham^a bnⁱ
manṣūrⁱⁿ イスハークの父(であり)、
マンスールの子(の)、アドハムの子
(である)、イブラーヒーム <164>

abū ‘abdⁱ r-rahmānⁱ l-ḥalīl^u アブー・ア
ブドッ・ラフマーン・アル・ハリ
ール (伝説的なアラビア詩学の創始者)
<137>

abū l-‘abbāsⁱ s-saffāḥ^u アブ・ル・アッ
バース・アッ・サッフアーフ (アッ
バース朝を建てた勇将) <269>

abū l-‘atāhiyatⁱ アブ・ル・アターヒヤ
(アッバース朝の詩人) <255>

abū mūsā^y アブー・ムーサー <250>

abū nuwās アブー・ヌワース (アッバ
ース朝の大詩人) <256>

ābā^{un} [ab^{un} の pl. 14] 父、父祖

abā‘id^u [属・对格 abā‘d^a; ba‘īd^{un} の比較
級・最上級の pl.] もっとも遠い(もの)
<137>

ibtihāl^{un} (pl. ibtihālāt^{un}) 辞を低くし礼を
尽くして憐れみを乞うこと

abḥur^{un} [baḥr^{un} の pl. 13] 海

abḥal^u [属・对格 abḥal^a; bāḥil^{un}, baḥīl^{un}

の比較級] より欲深い ; (限定され
ると) 最も欲深い <98>

abḥala (yubḥilu; baḥila <yabḥalu>,
baḥula <yabḥulu> IV) けちんぼにする
mā abḥala r-raḡul^a この男はなんとい
うけちんぼうなんだろう <259>

abad^{un} <男>(pl. ābād^{un}) 無限時、永遠、
限りなき時間、永久、永劫の未来
abad^{an} [副詞的対格] 決して

ibrāhīm^u (属・对格 ibrahīm^a)(男名) イブ
ラーヒーム、アブラハム <94, 96,
164>

ibrāhīm^u bn^u baššārⁱⁿ バッシャールの
子イブラーヒーム (神秘主義者)
<164>

aḥmad^u bn^u muḥammadⁱ bnⁱ ismā‘īl^a
bnⁱ ibrahīm^a l-mausilīy^u イブラーヒ
ーム (アッバース朝時代の大歌手)
<213>

abriḡat^{un} [burḡ^{un} の pl. 15] 塔

ibransāqa (yabransīqu; 4 語根 III) (花が)
開く、咲く <258>

ab‘ad^u (属・对格 ab‘ad^a; pl. ab‘adūna;
ba‘īd^{un} の比較級) より遠い ; (限定され
ると) いちばん遠い <98>

ibqa, ibqai, ibqayā, ibqau, ibqaina =
baqiya 「残る」の命令形 <198>

ibn^{un} <男>(pl. abnā^{un}, banūna) 息子
<244>

ibn^u ḥaldūn イブン・ハルドゥーン
<70>

abnā^{un} [ibn^{un} の pl.] 息子

ibnat^{un} <女>(pl. banāt^{un}) 娘、息女

abū → ab^{un}

- abwāb^{un} [bāb^{un} の pl. 14] 扉
- abī → ab^{un}
- abyāt^{un} [bait^{un} の pl.] 詩の行
- abyaḍ^u (属・対格 abyad^a; pl. bīd^{un}, bīdān^{un}; f. baidā^u) 白い <96>
- ibyaḍḍa (yabyaḍḍu; <abyaḍ^u; IX) 白くなる
- āt^{un} -at^{un} でおわる女性名詞の正則複数語尾。属・対格 -ātⁿ <64, 274>
- itāwat^{un} (pl. atāwāy, itāwāt^{un}) 貢ぎ物、税
- atāwāy [itāwat^{un} の pl. 24] 貢ぎ物、税
- atsā^{un} [tus^{un}, tusu^{un} 「九分の一」の pl.] <203>
- ittasara (yattasiru; yasara VIII) 賭けに参加する <242>
- itta'ada (yatta'idu; wa'ada VIII) 約束を受ける <242>
- ittagāra (yattaḡiru; taḡara VIII) = ittagāra 前歯(乳歯)が生える <240>
- atqiyā^u [属・対格 atqiyā^a; taqīy^{un} の pl. 21] 敬虔な
- atlaḥa (yutlifū; talifa IV) 滅亡させる、破滅させる
- atāy (ya'tī)[人称代名詞連結形と] ~のところへ来る [atā-hu 彼 / それのところへ来る。سはアリフに変わる]; (ilāy のところに)来る、持って来てやる;(bi を)持って来る、連れて来る;('alāy を)すっかり使い尽くしてしまう、べろりと平らげてしまう <127, 198, 263>
- utiya [atāy 「来る」の受動] ~が来られる = 人々が (bi を伴って主格のところへ)来る = (bi が主格のところへ)連れて来られる <250>
- aṭara (ya'turu) (対格の跡を)追う
- āṭara (yu'āṭiru; aṭara III) (~の方を)選ぶ、好む <228>
- āṭara (yu'tīru; aṭara IV) (~の方を, 'alāy を)選ぶ、好む <228>
- ittagāra (yattaḡiru; taḡara VIII) 前歯(乳歯)が生える <240>
- atlat^{un} [tul^{un}, tulu^{un} 「三分の一」の pl.] <203>
- atmān^{un} [tumn^{un}, tumun^{un} 「八分の一」の pl.] <203>
- itnāni (属・対格 itnaini)[男性形] 2 <123>
- itnatāni (属・対格 itnataini)[女性形] 2 <123>
- itnā 'ašara (属・対格 itnai 'ašara)[男性形] 12 <153>
- itnatā 'ašratā (属・対格 itnatai 'ašratā)[女性形] 12 <153>
- itnā 'ašara alfⁿ 12000 <155>
- al-itnaini 月曜日
- aḡāba (yuḡību; ḡāba IV) 返事をする;(対格に ilāy を)承知する、承諾する <221>
- aḡāza (yuḡīzu; ḡāza <ḡawaza> IV) 許す
- aḡbul^{un} [ḡabal^{un} の pl. 13] 山
- iḡtimā^{un} <男>(pl. iḡtimā'āt^{un}) 会合、集まり、会議、社会
- iḡtama'a (yaḡtami'u; ḡama'a VIII) 集まる、集合する;(bi と)会見する<73, 240>
- iḡhanšaša (yaḡhanšišu; ḡ, ḥ, š XIV) 大きくある、大きい <254>
- aḡr^{un} <男>(pl. uḡūr^{un}) 報酬、褒美
- aḡlasa (yuḡlisu; ḡalasa IV) 坐らせる
- aḡamat^{un} (pl. uḡum^{un}, aḡām^{un}) 藪、茂み

uğum^{un} [ağamat^{un} の pl. 3] 藪
 ağnihat^{un} [ğanāh^{un} の pl. 15] 翼
 aḥabba (yuḥibbu; ḥabba IV) 愛する、好む
 aḥbib = aḥabba の命令形
 aḥibbā^u [属・対格 aḥibbā^a; ḥabīb^{un} の pl. 21] 愛人、友
 aḥibbat^{un} [ḥabīb^{un} の pl. 15] 愛する(人)
 iḥbantāy (yaḥbantī; ḥ, b, t XV) 脹れる、腫れる <254>
 iḥtiyāğ^{un} <男>(pl. iḥtiyāğāt^{un}) (ilāy への、に対する) 必要 <59>
 aḥad^{un} (f. iḥdāy) 1; ひとつのもの、いかなるもの、~の中の一つ / 一人、ある~、誰か; (否定とともに) 一人たりとも~ない、何びとも~ない <122>
 kull^u aḥadⁱⁿ 誰でも、あらゆるもの
 al-aḥad^u 日曜日
 aḥad^a ‘ašar^a [男性形。3格同形。男性名詞単数対格と] 11 <152>
 iḥdāy ‘ašrat^a [女性形。3格同形。女性名詞単数対格と] 11 <152>
 aḥad^{un} wa-‘iṣrūna (属格 aḥadⁱⁿ wa-‘iṣrīna, 対格 aḥad^{an} wa-‘iṣrīna) 21 <154>
 aḥad^a ‘ašar^a alf^{an} 11000 <155>
 aḥdab^u (属・対格 aḥdab^a; pl. ḥudb^{un}; f. ḥadbā^u) せむしの <96>
 iḥdaudaba (yaḥdaudibu; ḥadaba XII) 弓形に曲がる、せむしである <254>
 aḥrār^{un} [ḥurr^{un} の pl. 14] 自由な
 aḥassa (yuḥissu; ḥassa IV) 感づく、気づく
 aḥsana (yuḥsinu; ḥasuna IV) 美しくす

る、きれいにする; よくやる、うまくやる、上手にできる;(ilāy に) 善行(特に物を恵むこと) をする、褒美を与える、親切にする <213, 214, 222, 226>
 aḥsan^u (属・対格 aḥsan^a; pl. aḥāsīn^u; f. ḥusnāy; ḥasan^{un} の比較級) より美しい / よい; (限定されると) もっともよい <98, 100>
 mā aḥsana wağh^a-hu 彼の顔はなんて美しいのだろう <258>
 aḥsin bi-zaidⁱⁿ ザイドはなんと美しいのだろう <259>
 aḥḍara (yuḥdiru; ḥaḍara IV) (対格を ilāy のために) 持って来る、連れて来る <126>
 iḥlanlaka (yaḥlanliku; ḥalaka XIV) 漆黒色である <254>
 iḥlaulaka (yaḥlauliku; ḥalaka XII) 漆黒色である <254>
 aḥmad^u [属・対格 aḥmad^a] (男名) アハマッド、アフマド <95, 96>
 iḥmārra (yaḥmārru; ḥamara XI) 紅い、赤い、紅くなる <247>
 aḥmar^u (属・対格 aḥmar^a; pl. ḥumr^{un}, ḥumrān^{un}; f. ḥamrā^u) 赤い <96>
 iḥmarra (yaḥmarru; IX <aḥmar^u>) 赤い、紅い、赤くなる <246>
 aḥmaq^u (属・対格 aḥmaq^a; pl. ḥamqāy, ḥumq^{un}; f. ḥamqā^u) 馬鹿な
 iḥyā^{un} <男> 再生、復興
 iḥyā^u ‘ulūmī d-dīnī 宗教諸学の復興 (アル・ガザーリーの名著)
 aḥ^{un} <男>(pl. iḥwat^{un}, iḥwān^{un}; 属格や代名詞連結形が続くと aḥū, aḥī, aḥā) 兄

- 弟 <138>
 aḥbara (yuḥbiru; ḥabara IV) 報告する、知らせる
 uḥt^{un} <女>(pl. aḥawāt^{un}) 姉妹
 iḥtaṣama (yaḥtaṣimu; ḥaṣama VIII) 互いに争う
 iḥtaṭafa (yaḥtaṭifu; ḥaṭafa VIII) 掠め取る、誘拐する
 iḥtalasa (yaḥtalisu; ḥalasa VIII) 奪い取る、取り上げる
 aḥaḍa (yaḥḍu; 命令形 ḥuḍ) (min から対格を) 取る、貰う、連れて行く、取りつける; [未完了形 / fi + 動名詞と] ~し始める <199, 220>
 āḥar^u (属・対格 āḥar^a; pl. āḥarūna, uḥar^u; f. uḥrāy) 他の(者、物)、別の、もうひとつの
 uḥar^u [属・対格 uḥar^a; āḥar^u, uḥrāy の pl. 1] 別の、もうひとつの
 aḥraḡa (yuḥriḡu; ḥaraḡa IV) 外に出す、追い出す; 演出する <226>
 aḥras^u (属・対格 aḥras^a; pl. ḥurs^{un}; f. ḥarsā^u) おしの、唾の <96>
 al-āḥirat^u <女> 来世、あの世
 iḥrauwaṭa (yaḥrauwiṭu; ḥ, r, ṭ XIII) 長くなる <254>
 uḥrāy (pl. uḥrayāt^{un}, uḥar^u; m. āḥar^u) [女性形] 別の、もうひとつの
 aḥdar^u (属・対格 aḥdar^a; pl. ḥuḍr^{un}; f. ḥaḍrā^u) 緑の <96>
 aḥmās^{un} [ḥums^{un}, ḥumus^{un} 「五分之一」の pl.] <203>
 aḥū → aḥ^{un}
 iḥwān^{un} [aḥ^{un} の pl. 18] 兄弟
 aḥawāt^{un} [uḥt^{un} の pl.] 姉妹
 iḥwat^{un} [aḥ^{un} の pl. 12] 兄弟
 aḥwilat^{un} [ḥāl^{un} の pl. 15] (母方の) 叔父
 aḥī → aḥ^{un}
 adab^{un} <男>(pl. ādāb^{un}) 教養、文学、しつけ
 addaba (yuʿaddibu; adaba II) しつける、叱って悪いところを矯正する、懲らす <247>
 adbara (yudbiru; dabara IV) 後退する、退却する
 iddaḥara (yaddaḥiru; ḡaḥara VIII; =iddaḥara) 貯める、蓄える、取って置く <240>
 adḥala (yudḥilu; daḥala IV) 入らせる、入れる
 iddaraka (yaddariku; daraka VIII) 手を伸ばしてつかむ; 届く、達する、追いつく <240>
 adlin [dalw^{un} の pl. 13. 定冠詞や属格名詞で限定されると adlī] バケツ、桶 <144>
 iddalla (yaddallu; dalla VIII) (ʿalāyへ) 案内する;(ʿalāyを)示す、教える <241>
 udlul, udlulī, udlulā, udlulū, udlulna = dalla 「指示する」の命令形 <199>
 uḍnu, uḍnī, uḍnuwā, uḍnū, uḍnūna = danā 「近寄る」の命令形 <198>
 adwiyat^{un} [dawā^{un} の pl. 15] 薬品
 adīb^{un} (pl. udabā^u) 教養のある
 id [接続詞] ~なので、~したとき; というのは、すなわち; (bainamā/baināとともに) 突然、不意に、思いがけなく、そのとき <168>

idā [接続詞][意味が現在のことでも未来のことでもこのあとでは完了形を用いる。現実に行き起こることが予想されるとき、結論部には未完了形が使われることもある。結論部が名詞文や命令文のとき、fa をその前に置く] もし~なら / になると、~しても、~したとき、~であっても <132, 230, 263>

[副詞] 突然、不意に、思いがけなく、すると (はからずも) [cf. in, lau]

fa-idā というのはもし~だと...だからだ <69, 71>; するとどうだろう ~ではないか、するとはからずも <168, 255>

ādān^{un} [uḡn^{un} の pl. 14] 耳

iddahāra (yaddahīru; ḡahāra VIII; =iddahāra) 貯める、蓄える、取って置く <240>

aḡru^{un} [dirā^{un} の pl. 13] 腕

aḡina (ya'ḡanu) 許す、許可する

uḡn^{un}, uḡun^{un} <女>(pl. āḡān^{un}) 耳

ārā^{un} [ra'y^{un} の pl. 14] 見解

arāda (yurīdu; rāda IV) 欲する、望む、(~しようとして) 思う

arbā^{un} [rub^{un}, rubu^{un} 「四分の一」の pl.]

al-arba'ā'u, al-arbi'ā'u 水曜日

arba^{un} [男性形。女性名詞と] 4 <123>

arba'at^{un} [女性形。男性名詞と] 4 <123>

arba'atā 'ašarā [男性形。3格同形] 14 <153>

arba'ā 'ašratā [女性形。3格同形] 14 <153>

arba'ūna (男女共通。属・対格 arba'īna)

40; 第40の <153, 178>

arba'u mi'atīn 400; 第400の <154>

arba'atū ālāfīn 4000; 第4000の <155>

arba'atā 'ašarā alfān 14000; 第14000の <156>

arba'u mi'atī alfīn 40万; 第40万の <156>

arba'at^{un} wa-ḡamsat^u asdāsīn 四と六分の五 (4⁵%)

urabāy [3格同形] 不幸 <145>

arḡul^{un} [riḡl^{un} の pl. 13] 足

urdunn^{un} <女> ヨルダン河 [周辺地域]

arḡ^{un} <女>(pl. arāḡāt^{un}, arāḡīn, arāḡūn^{un}) 地、大地、土地、床 <275>

al-arḡ^u 地球 <274, 275>

arāḡāt^{un} [arḡ^{un} の pl.] 地

arḡīy^{un} (f. arḡīyat^{un}) 地の、大地の、地球の <165>

arḡāb^{un} [ruḡāb^{un} の pl. 14] 熟した新鮮なナツメヤシの実

arḡifat^{un} [raḡīf^{un} の pl.] パン、丸いパン、パン塊

arḡub^{un} [raqābat^{un} の pl. 13] 首、頸

arāy = ra'āy 「見る」の未完了形一人称単数

azāhīr^u [属・対格 azāhīrā; zahr^{un} の pl. の azhār^{un} の pl. 18-II, IV] 花 <226>

izdaḡama (yazdaḡimu; zaḡama VIII)[この語は参照したどの辞書にも出ていないので意味不明。zaḡama (別出) は Steingass と Salmoné にあるが VIII 形は出ていない。本文の例としては、アラビア文字で点のない izdahama (次

- 項)を揚げるほうがいいかも知れない
<240>
- izdahama (yazdahimu; dahama VIII) (bi
で)いっぱいである、いっぱいになる、
込んでいる;(人が)込み合う、押し合
う
- azraq^u (属・対格 azraq^a; pl. zurq^{un}; f.
zarqā^u) 青い、紺碧の <96>
- azirrat^{un} [zirr^{un} の pl. 15] ボタン
- aziqqat^{un} [zuqāq^{un} の pl. 15] 小路
- al-azal^u 永劫の過去、劫初
- azmun^{un} [zaman^{un} の pl. 13] 時
- azhār^{un} [zahr^{un} の pl.] 花
- azwidat^{un} [zād^{un} の pl. 15] (旅の)糧食
- asābī^u [属・対格 asābī^a; usbū^{un} の pl.] 週
- asātid^u [属・対格 asātid^a; ustād^{un} の pl.
18-III] 先生、教授
- asātidat^{un} [ustād^{un} の pl. 18-III] 先生、教
授
- is'al, is'alī, is'alā, is'alū, is'alna = sa'ala
「質問する」の規則的な命令形 <200>
- as'alu = sa'ala 「質問する」の未完了形 1
人称単数
- asāwir^u [属・対格 asāwir^a; siwār^{un} の pl.
の aswirat^{un} の pl. 18-I, IV] 腕輪
<226>
- asbā^{un} [sub^{un}, subū^{un} 「七分の一」の pl.]
<203>
- usbū^{un} <男>(pl. asābī^u) 週、一週間
- ustād^{un} <男>(pl. asātidat^{un}, asātid^u) 先生、
教授
- ista'dana (yasta'dinu; ađina X) 許可を求
める
- istaḥğara (yastaḥğiru; ḥağara X) 石のよ
うになる
- istaḥsana (yastaḥsinu; ḥasuna X) 称賛
する、可とする、良いと思う <248>
- istadalla (yastadillu; dalla X) 指示を求め
る、論証する <249>
- istarāḥa (yastariḥu; rāḥa X) 休息する
- istasqā^y (yastasqī; saqā^y X) (水を)飲ま
せてくれと頼む
- istaslama (yastaslimu; salima X) 自分を
引き渡す、降服する
- ista'mala (yasta'milu; 'amila X) (対格を
'alā^y の) アミール / 知事に任命する、
統治者にする; 使う
- istağfara (yastağfiru; ġafara X) 赦しを請
う
- istaqāma (yastaqīmu; qāma X) 直立する
<249>
- istaqtala (yastaqtilu; qatala X) 自らを死
にさらす
- istaqdā^y (yastaqdī; qađā^y X) 裁判官
(qāđin) に任命する <249>
- istauğaba (yastauğibu; wağaba X) 必要
だと考える、(対格に)値する、相応し
いものになる
- iṣḥāq^u [属・対格 iṣḥāq^a] イスハーク
<164>
- iṣḥankaka (yashankiku; s, ḥ, k XIV) 暗い、
暗くなる <254>
- asad^{un} <男>(pl. usūd^{un}, āsād^{un}, usd^{un})
獅子、ライオン
- usd^{un} [asad^{un} の pl. 3] 獅子、ライオン
- asdās^{un} [suds^{un}, sudus^{un} 「六分の一」の
pl.] <203>
- asara (ya'siru) 繋ぐ <199>

islām^{un} <男> イスラーム
 aslama (yuslimu; salima IV) イスラーム
 教徒になる;(対格を ilāy に)引き渡す、
 任せる
 islanṭaḥa (yaslanṭiḥu; 4 語根 III) うつぶ
 せに寝る <258>
 asanna (yusinnu; sanna IV) [一人称単数
 asnantu] 老年に入る、年を取る
 asnān^{un} [sinn^{un} の pl.] 歯
 usūd^{un} [asad^{un} の pl. 6] 獅子、ライオン
 aswad^u (属・対格 aswad^a; pl. sūd^{un},
 sūdān^{un}; f. saudā^u) 黒い <96>
 iswadda (yaswaddu; <aswad^u; IX) 黒く
 なる
 aswirat^{un} [siwār^{un} の pl.] 腕輪
 iswat^{un}, uswat^{un} (pl. isan) 典型、例
 isan [iswat^{un}, uswat^{un} の pl. 4。سを書く。
 定冠詞と isāy] 典型、例 <142>
 ašbāḥ^{un} [šibḥ^{un} の pl.] 類似(しているも
 の)
 ašbul^{un} [šibl^{un} の pl. 13] 仔獅子、子供の
 ライオン
 ašadd^u [属・対格 ašadd^a; šadīd^{un} の比較
 級] より激しい、より強い;(限定され
 ると)最も激しい/強い <98>
 ašiddā^u [属・対格 ašiddā^a; šadīd^{un} の pl.
 21] 激しい
 ašrār^{un} [šarr^{un} の pl.] 悪い
 ašrāf^{un} [šarīf^{un} の pl. 14] 高貴な
 ašraka (yušriku; šarika IV) (誰かを誰か
 の)仲間にする、参加させる、関与さ
 せる(対格に);アッラー以外の神の存
 在を認める <237>
 ašraka širk^{an} 偶像崇拜をする

išmaḥarra (yašmaḥirru; 4 語根 IV) 威張
 る、傲慢不遜な態度を示す <258>
 ašmul^{un} [šimāl^{un} の pl. 13] 左手
 ašhād^{un} [šāhid^{un} の pl. 14] 証人
 ašhur^{un} [šahr^{un} の pl.] (曆の)月
 ašyā^u [属・対格 ašyā^a; šai^{un} の pl. 14] 物、
 事;何か
 ašābi^u [属・対格 ašābi^a; iṣba^{un} の pl.] 指
 ašbāḥ^{un} [šubḥ^{un} の pl.] 朝
 ašbaḥa (yušbiḥu; šabuḥa IV) 朝に入
 る;(対格)になる、(なかったものが)
 あるようになる;(未完了形と)~し始
 める、~するようになる <227>
 ašbaḥnā fī tilka l-madīnatī = その都に
 おいて私たちは朝に入った = 私たち
 がその都にいるうちに夜が明けて朝
 になった
 ašbaḥat ḡāriyat^{an} ḡamīlat^{an} = 彼女は美
 しい女になった
 ašbaḥtu ta'bān^a = 私はくたびれた
 iṣba^{un} <男女>(pl. ašābi^u) 指
 ašbiyat^{un} [šabīy^{un} の pl. 15] 男の子
 ašḥāb^{un} [šāhib^{un} の pl. 14] 友だち、朋友、
 伴;持ち主、主人;手下
 ašdiqā^u [属・対格 ašdiqā^a; šadīq^{un} の pl.
 21] 友、親友
 iṣṭilāḥ^{un} (pl. iṣṭilāḥāt^{un}) 術語 <274>
 iṣṭilāḥāt^{un} [iṣṭilāḥ^{un} の pl.] 術語
 iṣṭana'a (yaṣṭani'u; ṣana'a VIII) 作る;手
 に入れる <240>
 aš'ab^u [属・対格 aš'aba; ṣa'b^{un} の比較級]
 より難しい/困難な;(限定されると)
 最も難しい/困難な <98>
 ašḡar^u (属・対格 ašḡara; pl. ašāḡir^u; f.

- ṣuġrāʾ; pl.f. ṣuġrayāt^{un}; ṣaġīr^{un} の比較級) より小さい ; (限定されると) 最も小さい <98>
- aṣfar^u (属・対格 aṣfarā; pl.ṣufr^{un}; f.ṣafra^{ʾu}) 黄色い <96>
- iṣfarra (yaṣfarru; ṣafara IX; <aṣfar^u) 黄色くなる、青ざめる
- aṣlaḥa (yuṣliḥu; ṣaluḥa, ṣalaḥa IV) 調整する、矯正する、(調子を) 治す ; 栄えさせる <129>
- aṣla^{ʾu} (属・対格 aṣla^{ʾa}; pl. ṣulʿān^{un}, ṣulʿ^{un}; f. ṣalʿā^{ʾu}) 禿げ頭の
- aḍubb^{un} [ḍabb^{un} の pl. 13] 蜥蜴
- idṭaraba (yaḍṭaribu; ḍaraba VIII) 困惑する、不安になる、おどおどする ; 混乱する、荒れる、乱れる <240>
- aḍḍād^{un} [ḍidd^{un} の pl.] 矛盾 (するもの)
- idmaḥalla (yaḍmaḥillu; 4 語根 IV) 跡形もなく消滅する <258>
- aṭbiqat^{un} [ṭabaq^{un} の pl. 15] 蓋
- aṭraṣ^u (属・対格 aṭraṣā; pl.ṭurṣ^{un}; f.ṭarṣā^{ʾu}) 聾の <96>
- aṭʿimat^{un} [ṭaʿām^{un} の pl. 15] 食べ物
- aṭlāl^{un} [ṭalal^{un} の pl. 14] (家等の) 残骸、廢墟
- iṭṭalaba (yaṭṭalibu; ṭalaba VIII) 要求する、求める、切望する ; 得ようとする <240>
- iṭṭalama (yaṭṭalimu; ṭalama VIII; = izzalama) 不当な扱いを受ける、圧迫を受ける <240>
- iṭmaʿanna (yaṭmaʿinnu; 4 語根 IV) 安心する <258>
- aṭwal^u [属・対格 aṭwalā; ṭawīl^{un} の比較級]
- より長い ; (限定されると) 最も長い <98>
- aḍʿāf^{un} [ḍiʿf^{un} の pl.] 何倍
- aḏbin [ḏaby^{un} の pl. 13。定冠詞や属格名詞で限定されると aḏbī] 羚羊、カモシカ <144>
- aḏlam^u [属・対格 aḏlamā; ḏālim^{un} の比較級] より横暴な (者); (限定されると) 最も横暴な <98, 264>
- izzalama (yazzalimu; ḏalama VIII; = iṭṭalama) 不当な扱いを受ける、圧迫を受ける <240>
- aḏhara (yuḏhiru; ḏahara IV) 表面に示す、見せかける、~のように見せる、發揮する
- aʿġaba (yuʿġibu; ʿaġaba IV) 感心させる、感動させる
- aʿadda (yuʿiddu; ʿadda IV) 準備する、用意する
- aʿraġ^u (属・対格 aʿraġā; pl.ʿurġ^{un}; f.ʿarġā^{ʾu}) 跛の、足の不自由な <96>
- aʿraḍ^u [属・対格 aʿraḍā; ʿarīḍ^{un} の比較級] より広い ; (限定されると) 最も広い <98>
- iʿraurāʾ (yaʿraurī; ʿariya XII) 裸馬に乗る <254>
- aʿizzat^{un} [ʿazīz^{un} の pl. 15] 壮大な
- aʿšār^{un} [ʿušr^{un}, ʿušur^{un} 「十分の一」の pl.]
- aʿṭāʾ (yuʿṭī; ʿaṭā IV) (対格に対格を) 惜しまずに与える <171, 276>
- [命令形] aʿṭī
- aʿzam^u [属・対格 aʿzamā; ʿazīm^{un} の比較級] より偉大な、より大きい ; (限定されると) 最も偉大な / 大きい <98>

a'qub^{un} [ʔuqāb^{un} の pl. 13] 驚
 i'lam [ʔalima の命令形] 知れ！；[文章を
 起こすときの常套語。「そもそも」と等
 価] i'lam anna ~ = ~であることを知
 れ、そもそも~である <62>
 a'lama (yu'limu; ʔalima IV) 知らせる
 a'lam^u [属・対格 a'lama^a; ʔalim^{un} の比較級]
 より知っている、より学識のある；(限
 定されると)最も知っている / 学識の
 ある <98>
 i'landāy (ya'landī; ʔ, l, d XV) 頑丈である
 <254>
 i'lauwaṭa (ya'lauwiṭu; ʔ, l, ṭ XIII) 密着す
 る <254>
 al-a'lāy [男性形] 最高の
 a'mala (yu'milu; ʔamila IV) 働かせる、行
 使する
 i'mal = ʔamila 「する」の命令形 <202>
 a'māy (pl. ʔumyān^{un}, ʔumy^{un}; f. ʔamyā^u)
 盲目の <96>
 a'nāb^{un} [ʔinab^{un} の pl. 14] 葡萄
 a'nuq^{un} [ʔanāq^{un} の pl. 13] 仔山羊
 a'war^u (属・対格 a'wara^a; pl. ʔūrān^{un}, ʔūr^{un};
 f. ʔaurā^u) 片目の
 a'yād^{un} [ʔīd^{un} の pl. 14] 祝祭
 a'yān^{un} [ʔain^{un} の pl.] 目；特質、本質；傑
 出した人
 a'yan^{un} [ʔain^{un} の pl.] 目、眼
 a'yun^{un} [ʔain^{un} の pl.] 泉
 aḡribat^{un} [ḡurāb^{un} の pl. 15] 鴉、鳥
 aḡmada (yuḡmidu; ḡamada IV) 鞞に収
 める
 aḡniyā^u [属・対格 aḡniyā^a; ḡaniy^{un} の pl.
 21] 金持ち (の)

afā'in^u [属・対格 afā'in^a; af'an^{un} の pl. 18-I]
 蝮
 iftarasa (yaftarisu; farasa VIII) (猛獣が)
 食らう、食い裂く
 iftaraqa (yaftariqu; faraqa VIII) 分かれる、
 別々になる
 afhāq^{un} [faḡiq^{un} の pl. 14] 腿
 afrāḡ^{un} [farḡ^{un} の pl. 14] 雛鳥
 afriḡat^{un} [farḡ^{un} の pl. 15] 雛鳥
 afšāy (yufšī; fašā IV) (秘密を) 洩らす
 aḡdala (yufḡilu; faḡala IV) (ʔalāy に) 親切
 を尽くす、特別の厚情(好意)を示す；
 優れた者にする
 mā aḡdala abā-ka 君のお父さんはな
 んと優れた人なのだろう <259>
 aḡdal^u [属・対格 aḡdal^a; faḡīl^{un} の比較級]
 より優れた；(限定されると)最も優れ
 た <98>
 af'an [af'āy と読み] <女> (pl. afā'in) 蝮
 <142, 275>
 af'idat^{un} [fu'ād^{un} の pl. 15] 心
 aqārib^u [属・対格 aqārib^a; qarīb^{un} の比較
 級・最上級の pl.] もっとも近い(も
 の)；親類 <137>
 aqāma (yuqīmu; qāma IV) 立てる；(fi
 に)住む <227>
 aqbala (yuqbilu; qabila IV) 前進する、栄
 える；来る、(未完了形と)~しながら
 来る
 iqtāla (yaqtālu; qāla VIII) 選ぶ <241>
 iqtatala (yaqtatilu; qatala VIII) 殺し合う、
 合戦する
 iqtadāy (yaqtaḡī; qaḡāy VIII) 要請する
 <242>

aqṭala (yuqṭilu; qatala IV) (誰かを) 死に
曝す

iqṭinā^{un} 入手、取得、習得、購入、獲得
(物) <109>

aqrab^u [属・対格 aqrab^a; qarīb^{un} の比較級;
pl. aqārib^u] より近い;(限定されると)
いちばん近い <98>; (pl. で) 親類
<137>

aqful^{un} [qufl^{un} の pl. 13] 錠

aqall^u [属・対格 aqall^a; qalīl^{un} の比較級]
より少ない;(限定されると)最も少な
い <98>

uqlīdus^u [属・対格 uqlīdus^a] ユークリッ
ド <272>

akālib^u [属・対格 akālib^a; kalb^{un} の pl.
aklub^{un} の pl. 18-I, IV] 犬 <226>

akbar^u (属・対格 akbar^a; pl. akābir^u; f.
kubrā^y, pl. kubrayāt^{un}; kabīr^{un} の比較
級) より大きい;(限定されると)最も
大きい <98>

uktub = kataba 「書く」の命令形・男性・
単数

iktasaba (yaktasibu; kasaba VIII)(自分の
ために、自分で使うために)手に入れ
る <241>

aktar^u [属・対格 aktar^a; kaṭīr^{un} の比較級]
より多い、もっと多い;(限定されると)
最も多い <98>

akrama (yukrimu; karuma IV) 親切に取
り扱う、丁寧にもてなす、丁寧に扱う
akala (ya'kulu; 命令形 kul) 食べる
<199>

aklub^{un} [kalb^{un} の pl.] 犬

ākum^{un} [akamat^{un} の pl. 13] 丘

akamat^{un} (pl. ākum^{un}, ākām^{un}, ikām^{un})
丘

al [定冠詞。l は次に t, ṭ, d, ḍ, r, z, s, š, ṣ,
ḍ, ṭ, z, n が続くところと同化する。ま
た a は一時性ハムザなので、他の語に
続くとき a の発音は省かれる。性・数・
格による変化はない] <18, 19, 20, 21,
25, 114, 229>

ala = alā^y は定冠詞の前で短く読む。綴
りは同じ

ila = ilā^y は定冠詞の前で短く読む。綴り
は同じ

allā [接続詞][未完了接続形と] ~しない
ように、~しないこと <76, 84, 86>

allā = li'allā 「~しないように、しないた
めに」

illā A [接続詞][肯定文が先行するとき A
は対格。否定文が先行するとき A は、
それが関係する語の格と一致(ただし
絶対的ではない)。否定文が先行しても
A の関係する語が A とは種類が別であ
るとき A は対格。A がその関係する名
詞に先行するとき、否定文のあとでも
A は対格。詳細は 208 ページ](A を)
除いては、~でなければ、~なしでは、
~なしに、~以外に、~だけは別 <70,
208, 264, 269>

lā ilāh^a illā l-ilāh^u = アッラーを除いて
神はなし

wa-illā さもないと、そうしなければ
<182>

mā ~ illā ... = ...だけが~する、...しか
~しない

ulāt^u (ulū, ulī の女性形; 属・対格 ulātī) ~

の持ち主 <140>
 ulālika [pl. 男女、3格同形] その、あの ;
 それ、あれ <175>
 al-lati [関係代名詞、単数女性形。3格同
 形] <149>
 al-ḥağğāğū アル・ハツジャージュ(ウマ
 イヤ朝初期の勇将) <243>
 al-ladī [関係代名詞、単数男性形。3格同
 形] <149>
 al-ladīna [関係代名詞、複数男性形。3格
 同形] <149>
 ar-rašīdū アツ・ラシード <213>
 alsun^{un} [lisān^{un} の pl. 13] 舌
 alsinat^{un} [lisān^{un} の pl. 15] 言語
 al-ğaz(z)ālīyū アル・ガ(ツ)ザーリー
 <37, 272>
 alf^{un} <男>(pl. ālāf^{un}, ulūf^{un}) 1000; 第 1000
 の。alf^u rağulīn 千人の男。alf^u lailatⁱⁿ
 千夜 <155>
 alfāni 2000; 第 2000 の
 alfā baitⁱⁿ 二千軒の家 <155>
 alf^u alfiⁿ 100 万; 第 100 万の <156>
 alfā alfiⁿ 200 万; 第 200 万の <156>
 alifa (ya'lafu) 慣れる <199>
 alif^{un} <女>(pl. alifāt^{un}) (文字名) アリフ
 al-qāšānīyū アル・カーシャーニー(イス
 ラーム法学者。†1107) <238>
 alqāy (yulqī; laqiya IV) 投げる <228>
 alqāy = laqiya 「会う」の未完了形 1 人称
 単数
 al-lāti [関係代名詞、複数女性形。3格同
 形] <149>
 al-latāni [関係代名詞、双数女性形。属・
 対格 al-latāni] <149>

al-ladāni [関係代名詞、双数男性形。属・
 対格 al-ladāni] <149>
 al-lāh^u <男> アッラー、神
 allāhumma [al-lāh^u アッラーに呼びかけ
 るときのみに使われる特殊形] おお神
 よ
 a-lam [<a+lām, 短形未完了と] ~しなか
 ったか、~したではないか <251>
 al-ma'mūn^u アル・マームーン(アッバ
 ース朝カリフ) <209>
 al-maqqarī アル・マッカリー(作家名)
 <132>
 ilāh^{un} <男>(pl. ālihat^{un}) (一般的に) 神
 ālihat^{un} [ilāh^{un} の pl. 15] (一般的に) 神
 ulū, ulī → ulūma
 ulūf^{un} 数千の、何千という、多くの
 ulūma [属格を伴ない、主格は ulū, 属・
 対格は ulī; f. ulāt^u] 持ち主 <139>
 ilāy [前置詞。定冠詞の前で ila と短く読む]
 ~へ、~に <48>
 ilāy bait-hi 彼の家へ
 ilāy aina どこへ
 ilai = ilāy が人称代名詞と結びつく
 ときの形、読み <44>
 alyān^u [属・対格 alyān^a] 大きな扁平の尾
 をした(羊) <95, 96>
 alyān^{un} (f. alyānat^{un}) 大きな扁平の尾を
 した(羊) <95>
 am それともまた~か、あるいは
 <168>
 hal/a A am B = A かそれとも B か
 umm^{un} <女>(pl. ummahāt^{un}) 母
 āmin [amat^{un} の pl. 13。定冠詞や属格名
 詞で限定されると āmī] 女中 <144>

ammā ... fa ~ = [...は語句、~は文。
ammā an なら文] ...について言えば~
だ、...はどうかというと~だ
amān^{un} <男> 安全の保証、決して危害を
加えないという約束
imtadda (yamtaddu; madda VIII) 伸びる、
広がる <241>
amad^{un} (pl. āmād^{un}) 終限、限りある時、
限られた時間
amadda (yumiddu; madda IV) 救援する、
提供する <227>
amara (ya'muru; 命令形 mur)(対格に bi,
bi-an をしると) 命令する、命じる ; (li
に bi を) 与えよと命じる <168, 199,
215>
umira (yu'maru) = amara の受動形
<168>
amr^{un} <男>(pl. awāmir^u) 事柄、事情、命
令 <165>
imru^{un} [属格 imriⁱⁿ, 対格 imra'an] 男、
夫 ; 人間 <237>
imra'at^{un} <女>(pl. nisā'^{un}, niswat^{un},
niswān^{un}; al-mar'at^u) 女、婦人、妻
amsi きのう
amsaka (yumsiku; masaka IV) ~を (bi
で) 捉える、握る、つかむ ; ('an を)
控える、やめさせる
amsāy (yumsī; <masā'^{un} IV) 夕方に入
る ; (対格に) なる <227>
imši, imšī, imšiyā, imšū, imšīna = mašāy
「歩く」の命令形 <198>
amṭār^{un} [maṭār^{un} の pl. 14] 雨
amala (ya'mulu) (an, fi を) 望む <199>
amalla (yumillu; malla IV) 退屈させる、

倦怠させる

umam^{un} [ummat^{un} の pl. 1] 民族、国民
ammaṇa (yu'amminu; amina II) (対格 A)
に ('alāy B) を一任する、A を信用し
て B の統治 (処理) を任せる ; 安堵さ
せる、(対格に) 安全を保証する
<269>
ummat^{un} <女>(pl. umam^{un}) 民族、国民 ;
国家
amat^{un} (pl. āmin, amawāt^{un}, imā'^{un}) 女中、
女奴隷
ummahāt^{un} [umm^{un} の pl.] 母
amwāt^{un} [maiyyit^{un}, mait^{un} の pl. 14] 死者
amwāl^{un} [māl^{un} の pl.] 財産
amīr^{un} <男>(pl. umarā'^u) 指導者、王子、
首長
an [未完了接続形を伴ない、願望、可能、
義務、許可、意志、予想などを表わす]
~すること、~ということ <86>
an → li-an 「~するために」
in [実現可能な条件を表わすが、起こるか
起こらないかの可能性はあまり問わな
い。次に来る動詞は未来のことを言う
ときにも完了形を使う。短形もよく使
われる。結論が名詞文または命令文の
ときは条件文と結論の間に fa が挿入
される。cf. idā, lau] もしも <76, 133,
182>
in A fa B = (B は名詞文または命令文)
もし A なら、そのときは B だ
anna [接続詞。次に来る名詞は対格、代
名詞は連結形] ~であると、~という
こと <53, 57, 128>
inna [副詞。ふつうは訳さないほうがいい。]

- 次に来る名詞は主語であるにもかかわらず対格] 実に、そもそも、いったい ~ というものは、まことに ; [qāla の目的語を導いて] ~ ということ <35, 48, 129>
- inna → fa-inna 「というのは、なぜなら」
- anā 私は。 kitābī anā = (他の人のではない) 俺の本 <27>
- inā^{un} <男>(pl. āniyat^{un}, awānin) 容器
- ināt^{un} [unṭāy の pl. 5] 雌
- anātāy [unṭāy の pl. 24] 女性
- anbiyā^u [属・対格 anbiyā^a; nabīy^{un} の pl. 21] 預言者 <99>
- anta [男性形] あなたは。
ḍarabtu walad^a-ka anta = 他ならぬ貴様の子供を俺は殴ったんだ
- anti [女性形] あなたは <27>
- antum [男性形] あなた方は <27>
- antumā [双数。男女とも] あなた方二人は <27, 263>
- antunna [女性形] あなた方は <27>
- unṭāy <女>(pl. ināt^{un}) 雌 ; (pl. anātāy) 女性
- anḡidat^{un} [naḡd^{un} の pl. 15] 高地
- anḡas^{un} [naḡas^{un}, naḡis^{un}, naḡs^{un}, naḡus^{un} の比較級] より不潔な、より汚らわしい、より穢らわしい <245>
- andiyat^{un} [nadan の pl. 15] 露
- insān^{un} <男>(pl. anāsīy^u, unās^{un}, nās^{un}) 人間
- inšāla (yanšālu; šāla VII) 揚がる、隆起する <239>
- anšār^{un} [nāšīr^{un} の pl. 14] 救援者
- anšāf^{un} [niṣf^{un} 「二分の一」の pl.]
- an'ama (yun'imu; na'ama IV) ('alāy に) 恩恵を施す <92>
- infarada (yanfaridu; farada VII) ('an から) 離れる、独り (だけ) になる ; (bi と) いっしょになる、 ~ とだけつきあう <75>
- infarada bi-nafs^l-hi = 彼自身と独りになる = 独りきりになる <244>
- anfus^{un} [nafs^{un} の pl. 13] 魂、心
- infalla (yanfallu; falla VII) 潰走する <239>
- inqaḍāy (yanqaḍī; qaḍāy VII) 消耗させる、完了する <239>
- inkasara (yankasiru; kasara VII) 壊れる、毀れる、砕ける <238>
- innamā [副詞。次に定冠詞が来ると innama と短く読む] ただ ~ だけ
innamā A B = A は B にすぎない、ただただ B によってのみ A [innamā の拘束力は B にのみ及ぶ] <145, 214>
- anmār^{un} [namir^{un} の pl. 14] 豹、虎
- inhazama (yanhazimu; hazama VII) 負ける ; (ilāy へ) 退却する、逃げる、遁る <101>
- annī [<anna+i] 私が ~ する / であるということ
- innī = inna-nī <129>
fa-innī ~ = なぜなら私は ~
- āniyat^{un} [inā^{un} の pl.] 容器
- ahl^{un} <男>(pl. ahalāt^{un}, ahlāt^{un}, ahālin, ahlūna) [一つの集団、家庭、社会等に属する全人員の総称] 家族、一族、親類、妻、人々 <274>
- ah(a)lāt^{un} [ahl^{un} の pl.] 家族、一族

ahwinā^u [属・对格 ahwinā^a; haiyin^{un} の pl. 21] 容易な

au または、あるいは、それとも ; (未完了接続形と) ~するまでは、~しない限り、~するのでなければ、~してしまうまでは <272>

awānin [inā^{un} の pl. āniyat^{un} の pl. 18-I, IV] 容器

auḡa'a (yūḡi'u; waḡi'a IV) 痛める

auqāt^{un} [waqt^{un} の pl. 14] 時間

al-uwal^u [al-ūlāy の pl. 1] 第一の

al-auwal^u (pl. auwalūna, awā'il^u, uwal^{un}; f. ūlāy)[男性形] 第一の <177>

al-ūlāy (pl. ūlayāt^{un}, uwal^{un})[女性形] 第一の <175>

auwal^u l-muḥarramⁱ ムハツラム月の第一 (日)

aulād^{un} [walad^{un} の pl.] 子供たち

aulādī 私の子供たちは / の / を

ulāt^u [ulū, ulī の複数女性形。属・对格 ulātⁱ] ~の持ち主 <140>

ulālika [pl. 男女。3格同形] その、あの ; それ、あれ <175>

ulāka [pl. 男女。3格同形] その、あの ; それ、あれ <175>

ulā'ika [pl. 男女。3格同形] これらの ; それらの、あれらの ; それら、あれら <175>

ulū → ulūma

awānin [inā^{un} の pl. āniyat^{un} の pl. 18-IV。定冠詞や属格名詞で限定されると awānī] 容器 <144, 226>

a-wa-lam [a-lam の強め](短形未完了と) ~しなかったか、~したではないか

<251>

ūmul, ūmulī, ūmulā, ūmulū, ūmulna = amala 「望む」の命令形。wa に続くと wa'mal 以下の形になる <199>

aiy^{un} [女性形は aiyat^{un} だが、通常男性形で代用する] どれ、どの <179>

aiy^u kitābⁱⁿ/aiyⁱ kitābⁱⁿ/ aiy^a kitābⁱⁿ = どの本が / の / を

aiy^u-kum = あなた方の中のどなたが

bi-aiyⁱ waḡhⁱⁿ どの面さげて <179>

īas, īasī, īasā, īasū, īasna = ya'isa 「絶望する」の命令形 <197>

aiyām^{un} [yaum^{un} の pl. 14] 日

aidin [yad^{un} の pl. 13。定冠詞や属格名詞で限定されると aidī] 手 <144>

īyā- [人称代名詞連結形を独立して使うときに添える] <276>

īyā-ka [2人称・単数男性の合成形、強調形]

īyā-ki [2人称・単数女性の合成形、強調形]

īyā-kum [2人称・複数男性の合成形、強調形]

īyā-kumā [2人称・双数男女の合成形、強調形]

īyā-kunna [2人称・複数女性の合成形、強調形]

īyā-nā [1人称・複数の合成形、強調形]

īyā-hu [3人称・単数男性の合成形、強調形]

īyā-hā [3人称・単数女性の合成形、強調形]

īyā-hum [3人称・複数男性の合成形、強調形]

īyā-humā [3人称・双数男女の合成形、
強調形]

īyā-hunna [3人称・複数女性の合成形、
強調形]

īyā-ya [1人称・単数の合成形、強調形]

īti/ti, ītī, ītiyā, ītū, ītīna = atāy 「来る」の命
令形 <198>

ītaṭara, ī'taṭara (ya'taṭiru; aṭara VIII) やり
方をまねる ; (入念に、辛抱強く) 行な
う <242>

īḡal, īḡalī, īḡalā, īḡalū, īḡalna = waḡila 「び
くびくする」の命令形 <197>

īdad, īdadī, īdadā, īdadū, īdadna =
wadda 「愛する」の命令形 <197>

īdan, īdanī, īdanā, īdanū, īdanna = aḡina
「許可する」の命令形。wa に続くと
wa'dan 以下の形になる

īsir, īsirī, īsirā, īsirū, īsirna = asara 「繫ぐ」
および yasara 「容易である」の命令形。
wa に続くと wa'sir 以下の形になる
<197, 199>

aiḡan また、~もまた

īlaf, īlafī, īlafā, īlafū, īlafna = alifa 「慣れる」
の命令形 <199>

aimun^{un} [yamīn^{un} の pl. 13] 右手

aina どこ、どこに

ilāy aina どこへ

min aina どこから

aina maḡsid^u-ka あなたの行き先はど
こか

aiyuhā (f. aiyatuhā)[次に来る名詞には必
ず定冠詞がつく。実際の発音は aiyuha]
おお、おい、~よ <57, 145>

b ㇿ

bi- [前置詞] ~によつて、~で、~を使つ
て、~に、~といつしよに、~を伴つ
て、~を連れて、~を持って、~にお
いて、~のところに、~には、~と交
換に、~と取り替えて、~に関する ;
~にかけて、~に誓つて <256, 262>

bi-š-šāmī シリアで

bi-l-lāhi 神かけて。bi-ra'sī 私の頭にか
けて <147>

bi-ḡairī (属格と) ~なしで / なしの /
なしに、~のない、~を欠いた

bi-aiyi waḡhīn どの面さげて <179>

afīl (4形の命令形男性単数) + bi- = [驚
嘆を表わす] 何て~なのだろう
<259>

bāb^{un} <男>(pl. abwāb^{un}) 扉、戸、ドア

bāta (yabītu; <bayata) 泊まる、夜を過ご
す <151>

bāḡil^{un} (=baḡīl^{un}; 比較級 abḡal^u) 欲深い
<98>

bādin [badā の能動分詞。属格 = 主格。対
格 bādiy^{an}。定冠詞や属格名詞で限定さ
れると bādī] 現われる <144>

bādiyāt^{un} <女>(pl. bawādin) 荒地、沙
漠 ; 隠遁の生活

daḡala l-bādiyāt^a 沙漠に入る、隠者の
生活を始める <172>

bārr^{un} (pl. bararāt^{un}) 信仰深く真面目な

bārid^{un} 寒い、冷たい

bāzil^{un} (pl. buzul^{un}) 第一回目の歯が生え
揃った駱駝

ba's^{un} <男> 危害、不幸、禍、心配；腕
力

ba's^{an} [副詞的対格] 腕力において
<101>

bāšā (pl. bāšawāt^{un}) パシヤ <274>

bāšawāt^{un} [bāšā の pl.] パシヤ

bā'a (yabī'u; <baya'a; 受動 bī'a (yubā'u))
売る <161, 190>

bī'tu=私は売った

bā'^{un} (pl. abwā'^{un}, bī'ān^{un}) 一尋 [両腕を
広げた長さ]；鷹揚なこと、腹の大きい
こと、気前よく物惜しみしないこと
<118>

ṭawīl^u l-bā'ⁱ 物惜しみしない

qaṣīr^u l-bā'ⁱ 物惜しみする、けちな

bā'it^{un} (pl. bawā'it^u) 動機

bā'ada (yubā'idu; ba'uda III) (誰かを)遠
ざけておく、自分に近づかせない

bāqin [baqiya の能動分詞。属格 = 主格。
対格 bāqiy^{an}。定冠詞や属格名詞で限定
されると bāqī] 残っている、残り(の)
<144>

bākin (bakā' の能動分詞。属格 = 主格。対
格 bākiy^{an}。定冠詞や属格名詞で限定さ
れると bākī。 pl. bukīy^{un}, bikīy^{un},
bukāt^{un}) 泣いている <144>

biḥār^{un} [baḥr^{un} の pl. 5] 海

baḥr^{un} <男>(pl. buḥūr^{un}, biḥār^{un}, abḥur^{un})
海

baḥriyat^{un} 海軍

buḥūr^{un} [baḥr^{un} の pl. 6] 海

buḥl^{un} 貪欲

buḥalā'^u [属・対格 buḥalā'^a; baḥīl^{un} の pl.]
吝嗇な

baḥīl^{un} (pl. buḥalā'^u; f. baḥīlat^{un}; 比較級
abḥal^u) 吝嗇な、欲深い、貪欲な、け
ちな <98>

budd^{un} <男> 逃げ道

lā budd^a min A = (li にとって) A から
の逃げ道はない、A にちがいない、
必然的に A である、どうしても A に
ならざるをえない / せざるをえない、
A をしなければならない

bad'^{un} 始まり、発端

bada'a (yabda'u; 現在分詞 bādin) 始ま
る、始める [「大きく / 小さく始まる」
のようなとき形容詞は対格]；(未完了
形 / fi と) ~し始める <70>

badā (yabdū; <badawa) 現われる；(対
格または anna) のように見える <81,
121, 161>

badrat^{un} (pl. budūr^{un}) 乳入れの皮袋；財
布

budūr^{un} [badrat^{un} の pl. 6] 乳入れの皮
袋；財布

baḍala (yabḍulu, yabḍilu) 努力する

birr^{un} 義、(宗教的) 善行、正しき行ない

bara'a (yabra'u) 創造する

barāriy^u [属・対格 barāriy^a; barrīyat^{un} の
pl. 18-II] 沙漠

buḡḡ^{un} <男>(pl. abriḡat^{un}, abriḡ^{un},
brūḡ^{un}) 塔

barada (yabrudu) 寒くなる、冷える；鏽
(やすり) をかける

bararat^{un} [bārr^{un} の pl. 9] 信仰深く真面目
な

barrīyat^{un} (pl. barāriy^u) 沙漠

buzul^{un} [bāzil^{un} の pl. 3] 第一回目の歯が

生え揃った駱駝
 bustān^{un} <男>(pl. basātīn^u) 庭園、果樹園、
 庭
 bušrāy (3格同形; pl. bušrayāt^{un}, bušar^{un})
 吉報 <144>
 al-başrat^u バスラ
 başrīy^{un} (f. başrīyat^{un}) バスラ出身の
 <165>
 başal^{un} <男>[類としての] 玉葱
 başalat^{un} [一個の] 玉葱 <220>
 baḍa'a (yabḍa'u) 切り抜く
 biḍ^{un} [3 ~ 10 の間の不定数を表わし、名
 詞複数の属格と] いくつかの <157>
 biḍ'at^{un} [biḍ^{un} の女性形、ただし近世以降。
 3 ~ 10 の間の不定数を表わす] いく
 つかの <157>
 baṭn^{un} <男>(pl. buṭnān^{un}, buṭūn^{un}) 腹
 baṭnān^{un} [baṭn^{un} の pl. 19] 腹
 baṭī^{un} ゆっくりした、遅い <109>
 ba'd^{un} (pl. ab'ād^{un}) [複数属格と] 若干(の
 もの)、一部(のもの)、いくつか、何
 人か; ある者 / もの <148, 157>
 ba'd^u š-šū'arā'i ある詩人、何人かの詩
 人たち
 fī ba'dī l-aiyāmī 日々のうちのあるもの
 において = ある日のこと <243>
 ba'd^u-hum ある学者が、ある論者が、
 ある詩人が <彼らのある者が>
 ba'ī^{un} (pl. bu'ūlat^{un}, bu'ūl^{un}) 夫
 ba'īd^{un} (pl. abā'id^u, ba'īdūna, bu'adā'u;
 比較級 ab'ad^u) 遠い <137>
 baḡādīdat^{un} [baḡādīy^{un} の pl. 18-III] バ
 グダード生まれの(人)
 baḡādīy^{un} (pl. baḡādīdat^{un},

baḡādīyūna) バグダード生まれの
 (人)
 baḡaḍa (yabḡuḍu) 嫌われる、嫌う
 bi-ḡairī ~ なしで / の
 baḡāy (yabḡī) 欲する <88>
 baqā'^{un} <男> 残ること、存続
 biqā'^{un} [buq'at^{un} の pl. 5] 低地
 buq'at^{un} (pl. biqā'^{un}, buqa'^{un}) 低地
 baqiya (yabqāy; 能動分詞 bāqīn) 残る、
 (対格の)ままである、(未完了と) ~
 し続ける <133, 134, 161, 162, 198>
 bakar^{un} [bak(a)rat^{un} の pl. 28] 滑車
 bakarāt^{un}, bakrat^{un} (pl. bakar^{un},
 bakarāt^{un}) 滑車
 bakāy (yabkī) 泣く
 bikīy^{un}, bukīy^{un} [bākin の pl. 6] 泣いてい
 る
 bal [副詞] そうではなくて、(いや)むしろ
 lā / mā ..., bal ~ = ...ではなく ~
 balā (yablū; <balawa; 受動 buliya,
 yublāy) 試練にかける、災難に陥れる、
 苦しめる
 balā'^{un} 試練、艱難、逆境、不幸
 bilād^{un} <女>(pl. buldān^{un}; 元来は
 baldat^{un} あるいは balad^{un} の pl.) 国
 <244>
 balāyā [balīyat^{un} の pl. 24; アリフで書く]
 試練、災難 <217>
 balḡīy^{un} (f. balḡīyat^{un}) バルフ人、バルフ
 の <165>
 baluda (yabludu) 鈍感である
 balad^{un} <男>(pl. buldān^{un}, bilād^{un}) 地方、
 国
 buldān^{un} [balad^{un}, bilād^{un} の pl. 19] 地方、

- 国
 balaġa (yabluġu) (対格に) 達する
 <128>
 balaġa-nī anna ~ = ~ が私 (の耳) に
 達する、私が伝え聞くところでは ~
 である
 buliya (yublāy) = balā の受動
 balīyat^{un} (pl. balāyā) 試練、災難
 bn^u = ibn^{un} 息子 <70>
 binā^{un} <男>[banāy の名詞] 建造、築造、
 普請 <114>
 banāt^{un} [bint^{un}, ibnat^{un} の pl.] 少女、娘
 bint^{un} <女>(pl. banāt^{un}) 少女、娘
 banūna [ibn^{un} の pl.; 属・対格 banīna] 息
 子
 banū = banūna
 banū A / banī A = A の子たち (A 族)
 は / の ・ を
 banū 'iġlīn イジュール族 <244>
 banāy (yabnī) 建てる
 binan [binyat^{un} の pl. 4. 𐤁𐤍𐤏𐤃 を書く。定冠詞
 と bināy] 建築物 <142>
 banī, banīna → banūna
 binyat^{un} (pl. binan) 建築物
 bawā'it^u [属・対格 bawā'it^a; bā'it^{un} の pl.
 16] 動機
 biwān^{un} (pl. būn^{un}) 天幕の柱
 būn^{un} [biwān^{un} の pl. 2] 天幕の柱
 buwaib^{un} 小扉 <271>
 bī <bi+tī 私に、私といっしょに
 bait^{un} <男>(pl. buyūt^{un}) 家 ; (pl. abyāt^{un})
 詩の行、(詩の) 一節 <219>
 baitī 私の家は / の / を
 bīd^{un} [baidā^u の pl. 2] 沙漠
 baidā^u (属・対格 baidā^a; pl. bīd^{un}) 沙漠
 bīr^{un} <女>(pl. bīrāt^{un}, ābār^{un}, bī'ār^{un}) 井
 戸 <275>
 bīrāt^{un} [bīr^{un} の pl.] 井戸
 bī'sa, bī'sat [この 2 形のみ。何かを非難
 するときを使う。限定の主格、非限定
 の対格と] 何ていやな ~ なのだろう
 <258>
 bīd^{un} [abyaḍ^u, baidā^u の pl.] 白い
 baidā^u (属・対格 baidā^a; pl. bīd^{un}; abyaḍ^u
 の女性形; 双数 baidāwāni) 白い <96>
 bīdān^{un} [abyaḍ^u, baidā^u の pl. 19] 白い
 buyuḍ^{un} [bayūḍ^{un} の pl. 3] 卵をたくさん
 産む
 bī'a (yubā'u) = bā'a の受動
 bīmāristān^{un} (pl. bīmāristānāt^{un}) 病院
 <274>
 bīmāristānāt^{un} [bīmāristān^{un} の pl.] 病院
 baina [前置詞] ~ の中間に、~ の間に、~
 の間で
 [接続詞] ~ している間に、一方におい
 ては
 baina yadai-hi 彼の両手の間で / に =
 彼の前で / に
 bainā = bainamā ~ している間に
 baiyin^{un} (pl. buyanā^u) 明白な、雄弁な
 buyanā^u [属・対格 buyanā^a; baiyin^{un} の
 pl. 20] 明白な、雄弁な
 bainamā ~ している間に、~ しているう
 ちに
 buyūt^{un} [bait^{un} の pl.] 家
 bayūḍ^{un} (pl. buyuḍ^{un}) 卵をたくさん産む

-at (おおむね女性名詞、形容詞女性形の語尾。また類あるいは全体に属するものの一つを意味する。pl.は-āt^{un})
<28, 29, 220, 274>

ta- [前置詞] ~にかけて、~に誓って
<147>

ta-l-lāhi 神かけて

ti = atāy の命令形 <198>

tābi^{un} <男>(pl. tubbā^{un}, atbā^{un}, tābi^{un}ūna, taba^{un}, tawābi^{un}) 従者；同格名詞

tāğ^{un} <男>(pl. tīğān^{un}) 冠、王冠

tāğir^{un} <男>(pl. tuğur^{un}, tuğğār^{un}) 商人

tāsi^{un} (f. tāsi^{un}at^{un}) 第9の <177>

tāka [単数女性形、3格同形] その、あの；それ、あれ <175>

tāni = hātāni この；これ <175>

tānika [双数女性形、主格] その、あの；それ、あれ <175>

tānnika [双数女性形、主格] その、あの；それ、あれ <175>

ta'auwuh^{un} 自分の罪を悔いること、前非を悔いること

tabāraka (yatabāraku; baraka VI) 自らを祝福する <234>

tubbā^{un} [tābi^{un} の pl. 8] 従者

tabā'ada (yatabā'adu; ba'ada VI) 遠ざかっている、近づいてこない

tabaddala (yatabaddalu; badala V) 身なりを構わない

tabaddul^{un} (わざと) 己を卑しくすること <207>

tabarra'a (yatabarra'u; bari'a V) (min から) 完全に離脱する、関係を絶つ
<236>

tabarru^{un} [属格 tabarriⁱⁿ, 对格 tabarra^{an}; tabarr'a の動名詞] (min からの) 離脱 (すること) <236>

taba^{un} [tābi^{un} の pl. 28] 従者

tuğğār^{un} [tāğir^{un} の pl. 3] 商人

tağārib^u [属・对格 tağārib^a; tağribat^{un} の pl. 18-I] 経験

tağāhala (yatağāhalu; ġahila VI) 無知を装う、知らない振りをする

tuğur^{un} [tāğir^{un} の pl. 3] 商人

tağribat^{un} <女>(pl. tağārib^u) 経験

tuḥaf^{un} [tuḥfat^{un} の pl. 1] 贈り物

tuḥfat^{un} <女>(pl. tuḥaf^{un}) 贈り物；美術品
tadaḥraġa (yatadaḥraġu; daḥraġa 4 語根 II) 転げて行く <257>

tadmur^u, tudmur^u [属・对格 tadmur^a] タドムル、パルミュラ <95, 96>

tarāġim^u [属・对格 tarāġim^a; tarġumān^{un} の pl. 18-III] 通訳者

tarāġimat^{un} [tarġumān^{un} の pl. 18-III] 通訳者

tarāqin [tarquwat^{un} の pl. 23. 定冠詞や属格名詞で限定されると tarāqī] 鎖骨
<144>

tarġama (yutarġimu, 4 語根 I) 翻訳する
<257>

tarġumān^{un}, turġumān^{un} < 男 >(pl. tarāġimat^{un}, tarāġim^u) 通訳者

tarḥāb^{un}, tarḥīb^{un} [raḥḥaba の動名詞] 歓迎する人；歓迎、歓待

turs^{un} (pl. tisarat^{un}, atrās^{un}, turūs^{un}) 楯

- tarquwat^{un} (pl. tarāqin) 鎖骨
- taraka (yatruku) 捨て去る、残す、～するままにしておく、(対格の)ままにしておく
- tasāyara (yatasāyaru; sāra VI) 一緒に行く、いっしょに旅行する <235>
- tisarat^{un} [turs^{un} の pl. 11] 楯
- tus^{un}, tusu^{un} (pl. atsā^{un}) 九分の一 <203>
- tis^{un} [男性形。女性名詞と] 9 <123>
- tis^{at}^{un} [女性形。男性名詞と] 9 <123>
- tis^a ‘ašrat^a [女性形。3格同形] 19 <153>
- tis^{at}^a ‘ašar^a [男性形。3格同形] 19 <153>
- tis^u mi‘atⁱⁿ 900; 第900の <154>
- tis^{at}^u ālāfⁱⁿ 9000; 第9000の <155>
- tis^{ūna} [男女共通。属・対格 tis^{īna}] 90; 第90の <153, 178>
- tasalṭana (yatasalṭanu; salṭana 4語根 II) スルタンになる、スルタンであるかのごとくに振舞う <257>
- at-taṣauwuf^u イスラーム神秘主義、スーフィズム
- taṣaiyada (yataṣaiyadu; ṣāda V) 獵をする、狩りをする <233>
- taḍarru^{un} 辞を低くし礼を尽くして憐れみを乞うこと
- taṭāwala (yataṭāwalu; ṭāla VI) 自らを長くする、尊大に構える、尊大な態度を取る / 示す
- ta‘ālāy^a (yata‘ālāy^a; ‘alā < ‘alawa 「高まる」 VI) 自らを高める; 高まる、上がる; 高められる; 見くだす; みなす <234>
- qāla l-lāh^u ta‘ālāy^a いと高き神は言い給うた <234>
- qāla l-lāh^u tabāraka wa-ta‘ālāy^a いと高き神は言い給うた <234>
- ta‘iba (yat‘abu) 疲れる
- ta‘bān^u (属・対格 ta‘bān^a; pl. ta‘bānūna) 疲れた
- ta‘rīf^{un} <男>(pl. ta‘rīfāt^{un}, ta‘ārīf^u) 定義、紹介 <274>
- ta‘rīfāt^{un} [ta‘rīf^{un} の pl.] 定義
- ta‘allaqa (yata‘allaqu; ‘aliqa V) (bi に) 懸かる、繋がれる、恋着する、関係がある
- ta‘alluq^{un} [ta‘allaqa の動名詞] (bi への、に対する) 執着 <238>
- ta‘allama (yata‘allamu; ‘alima V) [<自分] に知らせる] 学ぶ
- tafarrāqa (yatafarrāqu; farāqa V) 四散する、離れ去る <232>
- taqātala (yataqātalu; qatala VI) 殺し合う、合戦する、闘い合う <234>
- taqāwama (yataqāwamu; qāma VI) 互いに対立して争う <235>
- taqtul = qatala 「殺す」の未完了短形
- taqattala (yataqattalu; qatala V) 死ぬほど努力して(何かを)する
- taqarrub^{un} [taqarraba の動名詞] (ilāy^a に、への) 近づくこと、接近
- taqarraba (yataqarrabu; qaruba V) 近づく
- taqaḍḍāy^a (yataqaḍḍāy^a; qaḍḍāy^a V) 完了する、尽き果てる <233>
- taqauwala (yataqauwalu; qāla V) 作り話をする <233>

taqīy^{un} (pl. atqiyā^u) 敬虔な
takabbara (yatakabbaru; kabara V)[自分を大なりと考える、主張する] 高ぶる、高慢ちきになる、高慢 / 傲慢な態度を取る、自慢する
talāqāy^u (yatalāqāy^u; laqiya VI) 遭遇する <235>
talāmīd^u [属・対格 talāmīd^a; tilmīd^{un} の pl. 18-III] 生徒
talāmīdat^{un} [tilmīd^{un} の pl. 18-III] 生徒
talifa (yatlafu) 破滅する
tilka [単数女性形、3格同形] その、あの; それ、あれ <175>
tilmīd^{un} <男>(pl. talāmīdat^{un}, talāmīd^u; 双数 tilmīdāni) 生徒、弟子
tilmīdat^{un} <女> 女生徒
tamādda (yatamāddu; madda VI) 取っ組み合う、もみ合う、引っ張り合う <235>
tamādada (yatamādadu; madda VI; =tamādda) 取っ組み合う、もみ合う、引っ張り合う <235>
tumādir^u [属・対格 tumādir^a] (男名) トゥマーディル <95, 96>
tamāwata (yatamāwatu; māta VI) 死んだ振りをする
tamaddada (yatamaddadu; madda V) 伸びる、拡がる、広がる <232>
tamr^{un} <男>(pl. tumūr^{un}) [類として] 棗椰子の実
tamrat^{un} [一個の] 棗椰子の実 <220>
tamaskun^{un} (神に対して) 己を卑しくすること
tamīm^{un} タミーム族

tamīmīy^{un} (f. tamīmīyat^{un}) タミーム族に属する <165>
tanādum^{un} 後悔の情を面に表わすこと
tanabbala (yatanabbalu; nabala V) 偉く見せる、優秀らしく見せる <207>
tanabbul^{un} 偉く見せること、優秀らしく見せること
tanazzuh^{un} (pl. tanazzuhāt^{un})[tanazzaha 「散歩する」の動名詞] 散歩
tanaṣṣara (yatanaṣṣaru; naṣara V) キリスト教徒になる
tawābi^u [属・対格 tawābi^a; tābi^{un} の pl.] 従者 <99>
tawādu^{un} 己を低くすること
tahauwada (yatahauwadu; hāda <hawada> V) ユダヤ教徒になる
tiḡān^{un} [tāḡ^{un} の pl. 18] 冠
taini = hātaini この; これ <175>
tainika [双数女性形、属・対格] その、あの; それ、あれ <175>
tainnika [双数女性形、属・対格] その、あの; それ、あれ <175>

‡

tāliṭ^{un} (f. tāliṭat^{un}) 第3の <177>
tāliṭ^a ‘ašar^a [男性形] 第13の <177>
tāliṭat^a ‘ašrat^a [女性形] 第13の <177>
tāliṭ^{un} wa-‘iṣrūna [属格 tāliṭin wa-‘iṣrīna, 対格 tāliṭan wa-‘iṣrīna][男性形] 第23の <178>
tāliṭat^{un} wa-‘iṣrūna [属格 tāliṭatin wa-‘iṣrīna, 対格 tāliṭat^{an} wa-‘iṣrīna][女

- 性形] 第 23 の <178>
 at-ṭāliṭ^u wa-l-ʾiṣrūna [定冠詞付きの主格] 第 23 の <178>
 ṭāliṭ^u raġabⁱⁿ ラジャブ月の第 3 (日)
 tāmin^{un} (f. tāminat^{un}) 第 8 の <177>
 tānin [定冠詞が付くと at-tānī; 属格や人称代名詞が続くと tānī; 独立した対格は tāniyaⁿ][男性形] 第 2 の <143, 177>
 tāniyat^{un} [女性形] 第 2 の、2 度目の <169, 177>
 tāniya^a ʾašara^a [男性形] 第 12 の <177>
 tāniyat^a ʾašrat^a [女性形] 第 12 の <177>
 tānī ʾašara^a [男性形の別形] 第 12 の <177>
 ṭabata (yaṭbutu) 恒常的である、確かである
 ṭubūt^{un} <男>[ṭabata の動名詞] 確固不動であること、堅実、恒久性、安定
 ṭaʾālib^u [属・対格 ṭaʾālib^a; ṭaʾlab^{un} の pl. 18-1] 狐
 ṭaʾlab^{un} <男>(pl. ṭaʾālib^u) 狐
 ṭaqla (yaṭqulu) 重い、重くなる; (ʾalāy に) 重くかかる、重荷になる <83>
 ṭalāt^{un} [男性形。女性名詞と] 3 <123>
 ṭalātat^{un} [女性形。男性名詞と] 3 <100, 123>
 at-ṭalātā^u, at-ṭulātā^u <男> 火曜日
 ṭalāta^a ʾašrat^a [3 格同形。女性形] 13 <153>
 ṭalātat^a ʾašara^a [3 格同形。男性形] 13 <153>
 ṭalāt^u miʾatⁱⁿ [属格 ṭalātⁱ miʾatⁱⁿ, 対格 ṭalāta^a miʾatⁱⁿ] 300; 第 300 の <154>
 ṭalāt^u miʾatⁱⁿ sanatⁱⁿ 300 年
 ṭalātat^u ālāfⁱⁿ 3000; 第 3000 の <155>
 ṭalātat^u ālāfⁱ kitābⁱⁿ 三千冊の本
 ṭalātat^a ʾašara^a alf^{an} 13000; 第 13000 の <156>
 ṭalātat^u ālāfⁱ alfⁱⁿ 300 万; 第 300 万の <156>
 ṭalāt^u miʾatⁱ alfⁱⁿ 30 万; 第 30 万の <156>
 ṭult^{un}, ṭulut^{un} <男>(pl. atlāt^{un}) 三分の一 <203>
 ṭultāni [ṭult^{un} の双数] 三分の二 <203>
 ṭalātat^u arbā^{ʿin} 四分之三 <203>
 ṭalātūna [男女共通。属・対格 ṭalāfīna] 30; 第 30 の <153, 178>
 ṭumma [接続詞][fa に比べてかなりの時間経過を表わす] それから、そのあと、しばらくして、やがて、~した上で <168>
 ṭamānⁱⁿ [属格は主格と同形。対格 ṭamāniyaⁿ][男性形。女性名詞と] 8 <123>
 ṭamāniyat^{un} [女性形。男性名詞と] 8 <100, 123>
 ṭamānī [属格名詞が続くときの主格・属格] 8
 ṭamāniya^a [属格名詞が続くときの対格] 8
 ṭamāniya^a ʾašrat^a [別形 ṭamānī / ṭamānī ʾašrat^a][女性形。3 格同形] 18 <153>
 ṭamāniyat^a ʾašara^a [男性形。3 格同形] 18 <153>
 ṭamānūna [男女共通。属・対格]

tamānīna] 80; 第 80 の <153, 178>
 tamāni mi'atīn [別形 tamāni mi'atīn]
 800; 第 800 の <154>
 tamāniyat^u ālāfīn 8000; 第 8000 の
 <155>
 tamar^{un} <男>[類として] 果物 (というも
 の)
 tamarat^{un} (pl. timār^{un}, atmār^{un})[一個の]
 果物 <220>
 tumn^{un}, tumun^{un} (pl. atmān^{un}) 八分の一
 tintā 'ašrat^a [属・対格 tintai 'ašrat^a][女性
 形] 12 <153>
 tintāni [属・対格 tintaini][女性形] 2
 <123>
 taub^{un} <男>(pl. tiyāb^{un}, atwāb^{un}) 着物、
 衣服
 taur^{un} <男>(pl. tiwarat^{un}, tīrat^{un}, tīrān^{un},
 tiyārat^{un}) 牡牛
 tiwarat^{un} [taur^{un} の pl. 11] 牡牛
 tiyāb^{un} [taub^{un} の pl. 5] 着物
 tiyārat^{un} [taur^{un} の pl. 27] 牡牛
 tīrat^{un} [taur^{un} の pl. 12] 牡牛
 tīrān^{un} [taur^{un} の pl. 18] 牡牛

ġ

ġā'a (yaġī'u; <ġaya'a; 命令形 ġi') 来る、
 持ってくる、連れて来る <126, 127,
 190, 201>
 mā ġā'a-nī aḥad^{un} 誰ひとり私のとこ
 ろへは来なかった
 ġār^{un} <男>(pl. ġīrān^{un}) 隣人
 ġāra (yaġūru; <ġawara) 暴虐を行なう、

不正義を行なう

ġāriyat^{un} (pl. ġawārin) 女奴隷; 少女、娘、
 女 <144>
 ġānib^{un} <男>(pl. ġawānib^{un}) 側
 ġāhil^{un} (pl. ġuhhāl^{un}, ġahalat^{un}, ġuhalā^u,
 ġuhhal^{un}) 無知な
 ġibāl^{un} [ġabal^{un} の pl. 5] 山
 ġabal^{un} <男>(pl. ġibāl^{un}, aġbul^{un}) 山
 ġubn^{un} <男>(pl. aġbān^{un}) チーズ、乾酪
 ġubnat^{un} [<ġubn^{un}>] (一片の) チーズ、乾
 酪
 ġubbat^{un} (pl. ġubab^{un}, ġibāb^{un}) 外衣、ジ
 ュツパ
 ġubail^{un} (pl. ġubailāt^{un}) 小山 <271, 275>
 ġubailāt^{un} [ġubail^{un} の pl.] 小山
 ġadd^{un} <男>(pl. aġdād^{un}, ġudūd^{un}) 祖父、
 [pl.] 祖先
 ġidd^{an} [形容詞のうしろに置く] 非常に
 ġaddat^{un} <女>(pl. ġaddāt^{un}) 祖母
 ġadīd^{un} (pl. ġudud^{un}; f. ġadīdat^{un}) 新しい
 ġadila (yaġḍalu) 陽気である、陽気にな
 る
 ġudwat^{un}, ġadwat^{un}, ġidwat^{un} (pl. ġudan
 <ġudaw>, ġidan) 松明
 ġudan, ġidan [ġudwat^{un} の pl. 1; 彡を書く。
 定冠詞と ġudāy, ġidāy。3 格同形] 松明
 <141, 142>
 ġarḥāy [ġarīḥ^{un} の pl. 22] 負傷した
 ġuraḍ^{un} (pl. ġirdān^{un}, ġurdān^{un}) 野鼠
 ġirdān^{un}, ġurdān^{un} [ġuraḍ^{un} の pl. 18] 野
 ネズミ
 ġurzat^{un} (pl. ġuraz^{un}) (干草、薪などの) 束
 ġarāy (yaġrī) 流れる、起こる <88>
 ġarīḥ^{un} (pl. ġarḥāy) 負傷した

ğazā'ir^u [属・対格 ğazā'ira; ğazīrat^{un} の pl.

17] 鳥

ğazāy (yağzi) (善悪どちらの意味にも)

報いる、報酬を与える

ğazīrat^{un} <女>(pl. ğazā'ir^u, ğuzur^{un}) 鳥

ğasad^{un} <男>(pl. ağsād^{un}) 肉体

ğaşwān^{un} (f. ğaşwānat^{un}) ほっそりした
<95>

ğā'ala (yağ'alu) 置く ; (対格を対格に)
する、~をする ; (未完了形と) ~し始
める

ğafā (yağfū; <ğafawa) 压制する、虐げる
<229>

ğillat^{un} [ğālī^{un} の pl. 12] 大きい、厚い、
偉大な、重要な

ğild^{un} <男>(pl. ğulūd^{un}, aġlād^{un}) 皮膚、皮
ğalasa (yağlisu) ('alāy に) 坐る、(ilāy,
'alāy のそばに) 坐る <31, 68, 71>

ğulūd^{un} [ğild^{un} の pl. 6] 皮、皮膚

ğālīs^{un} (pl. ğulasā^u; f. ğālīsat^{un}) 親しい
友

ğālī^{un} (pl. ğillat^{un}, aġillā^u, aġillat^{un}) 大き
い、厚い、偉大な、重要な

ğamād^{un} (pl. ğamādāt^{un}) 無機物 <274>

ğamādāt^{un} [ğamād^{un} の pl.] 無機物

ğumādāy l-āḥīrat^u <男> 六月、ジュマー
ダー・ル・アーヒラト月 (29 日)

ğumādāy l-lūlāy <男> 五月、ジュマーダ
ー・ル・ルーラー月 (30 日)

ğamāl^{un} <男> 美しさ

ğimāl^{un} [ğamal^{un} の pl. 5] 雄駱駝

ğammāl^{un} (pl. ğammālat^{un}) 駱駝商
<118>

ğama'a (yağma'u) 集める、加える、結

び合わせる <73>

ğam^{un} <男> 集まり、複数

ğam^u l-ğamⁱ 複数の複数 <226>

al-ğum'at^u <女> 金曜日

ğamal^{un} <男>(pl. ğimāl^{un}, aġmāl^{un}) 雄駱
駝

ğamī^{un} (属格名詞と) ~のすべて、す
べての~ ; 全体、すべて <57>

ğamī^{an} [副詞的対格] いっしょに、完全
に、全部、すっかり <263>

ğamīl^{un} (f. ğamīlat^{un}) 美しい、気高い、友
好的な

ğanādib^u [属・対格 ğanādib^a; ğundab^{un},
ğundub^{un} の pl. 18-I] 蝨、イナゴ、蝗

ğanāḥ^{un} <男>(pl. aġniḥat^{un}, aġnuḥ^{un}) 翼

ğannān^{un} 庭師 <118>

ğund^{un} (pl. ğunūd^{un}, aġnād^{un}) 軍隊 ;
ğundīy^{un} 「兵隊」の pl.

ğundab^{un}, ğundub^{un} (pl. ğanādib^u) 蝨、イ
ナゴ、蝗

ğannat^{un} <女>(pl. ğannāt^{un}, ğinān^{un},
aġinnat^{un}) 庭

ğunūd^{un} [ğund^{un} の pl. 6] 軍隊

ğuhhāl^{un} [ğāhil^{un} の pl. 8] 無知な

ğahila (yağhalu) 知らない、無知である

ğawārin [ğāriyat^{un} の pl. 23。定冠詞や属
格名詞で限定されると ğawārī] 女奴
隷 ; 娘、女 <144>

ğawārib^u [属・対格 ğawārib^a; ğaurab^{un},
ğaurib^{un} の pl. 18-III] 靴下

ğawāribat^{un} [ğaurab^{un}, ğaurib^{un} の pl.
18-III] 靴下

ğawānib^u [属・対格 ğawānib^a; ğānib^{un} の
pl. 16] 側

ğaur^{un} [ğāra の名詞] 暴虐を行なうこと、
不正義を行なうこと、暴政
ğaurab^{un}, ğaurib^{un} <男>(pl. ğawārib^u,
ğawāribat^{un}) 靴下
ġi' = ġā'a 「来る」の命令形 <201>
ġiyād^{un} [ġaiyid^{un}, ġaiyidat^{un} の pl. 5] 良い
ġaiyid^{un} (pl. ġiyād^{un}; f. ġaiyidat^{un}) 良い
ġīrān^{un} [ġār^{un} の pl. 18] 隣人

ħ

ħāğğ^{un} <男>(pl. ħağğ^{un}, ħuğğāğ^{un}) 巡礼者
ħāğat^{un} <女>(pl. ħāğāt^{un}) 必要、折り入ったの頼み <129>
inna lī ilai-ka ħāğat^{an} 実は君に折り入って頼みたいことがあるんだが
ħādin wa-īsrūna [男性形。21, 31, 41.....
のときは ħādin を使う。属格 ħādin wa-īsrīna, 対格 ħādiyān wa-īsrīna, 定冠詞つき主格 al-ħādī wa-l-īsrūna, 対格 al-ħādiyā wa-l-īsrīna] 第 21 の <144, 178>
ħādiyā 'ašarā [男性形] 第 11 の <177>
ħādī 'ašarā [男性形の別形] 第 11 の <177>
ħādiyātā 'ašratā [女性形] 第 11 の <177>
ħādiyāt^{un} wa-īsrūna [女性形] 第 21 の <178>
ħādiq^{un} (pl. ħādiqūna, ħuddāq^{un}) 達者な、熟練した、腕のいい
ħāris^{un} <男>(pl. ħaras^{un}, ħurrās^{un}) 護衛者、見張り

ħādir^{un} (pl. ħādirūna, ħudūr^{un}; ħadara の現在分詞) 出席している (人)
ħākim^{un} <男>(pl. ħukkām^{un}, ħākimūna) 統治者、判定者
ħāl^{un} <男女>(pl. aħwāl^{un}) 状態、状況
ħāmil^{un} (pl. ħawāmil^u) 妊娠した
ħāwiyāt^{un} (pl. ħawāyā, ħawiyāt^{un}) 内臓
ħā'id^{un} (pl. ħawā'id^u) 月経中の
ħā'iṭ^{un} (pl. ħīṭān^{un}, ħawā'iṭ^{un}) 壁
ħubb^{un} <男>[aħabba の動名詞] 愛 (すること)
ħabālāy [ħublāy の pl. 24] 妊娠した
ħabaš^{un} [集合名詞] アビシニア人、エチオピア人、黒人
ħabašat^{un} [一人の] アビシニア人、エチオピア人、黒人
ħabašīy^{un} (pl. aħbāš^{un}) エチオピアの; アビシニア人、エチオピア人、黒人 <248>
ħablān^{un} (f. ħablānat^{un}) 立腹した <95>
ħublāy (pl. ħabālāy, ħublāyāt^{un}) 妊娠した
ħabīb^{un} (pl. aħibbat^{un}, aħibbā^u, aħbāb^{un}) 愛する (人)、愛人、友
ħattāy [接続詞](未完了接続形と) ~するまで、~するように、~になるまで、~するために、~しようとして;(完了形と) ついに、とうとう、やがて、その結果 <86>
[前置詞] ~まで
al-ħağğāğ^u アル・ハッジャージュ (ウマイヤ朝初期の勇将)
ħiğārat^{un} [ħağar^{un} の pl. 27] 石
ħağaba (yağgubu) ('an, min から) 掩蔽する、隠す、隠蔽する

- ḥaġar^{un} <男>(pl. ḥiġarat^{un}, aḥġār^{un}) 石
- ḥaġīġ^{un} [ḥāġġ^{un} の pl. 25] 巡礼者
- ḥudb^{un} [aḥḍab^u, ḥadbā^u の pl. 2] せむしの
- ḥadbā^u [属・対格 ḥadbā^a; aḥḍab^u の女性形; pl. ḥudb^{un}; 双数 ḥadbāwāni] せむしの <96>
- ḥadaṭa (yaḥḍuṭu) (事件・事故などが) 起こる
- ḥaddaṭa (yuḥadditu; ḥadaṭa II) 語る
ḥaddaṭa A qāla = A が語り伝えて言う <164>
- ḥadīṭ^{un} <男>(pl. ḥidāṭ^{un}, ḥadīṭūna) 新しい、最近の; (pl. aḥādīṭ^u) 会話、話
- ḥadārāy [ḥaḍur^{un}, ḥaḍir^{un} の pl. 24] 慎重な
- ḥaḍur^{un}, ḥaḍir^{un} (pl.ḥadārāy, ḥaḍurūna) 慎重な
- ḥidriyat^{un} (pl. ḥadārāy) でこぼこの多い土地
- ḥurr^{un} (pl. aḥrār^{un}, ḥarā'ir^u) 自由な
- ḥarb^{un} <女>(pl. ḥarbāt^{un}, ḥurūb^{un}) 戦争 <275>
- ḥarbāt^{un} [ḥarb^{un} の pl.] 戦争
- ḥarbīyat^{un} 陸軍
- ḥaras^{un} [ḥāris^{un} の pl. 28] 護衛者、見張り
- ḥazina (yaḥzanu) (alāy, li を) 悲しむ
- ḥuzn^{un} <男>(pl. aḥzān^{un}) 悲しみ
- ḥaziya (yaḥzāy) 赤面する <133>
- ḥiss^{un} <男> (bi に対する) 感覚
- ḥisān^{un} [ḥasan^{un}, ḥasanat^{un} の pl. 5] 美しい
- ḥasiba (yaḥsabu, yaḥsibu) 考える、(対格を対格と) みなす、(anna と) 思う
- ḥasan^{un} (pl. ḥisān^{un}; f. ḥasanat^{un}; 比較級 aḥsan^u) 美しい、良い、善い
- ḥusn^{un} <男> 美、善、良さ
- ḥasuna (yaḥsunu) 良い、美しい、良くある、美しくある
- ḥissīy^{un} (f. ḥissīyat^{un}) 感覚的な <165>
- ḥaṣala (yaḥṣulu) 生じる; 得る
- ḥaḍara (yaḥḍuru) (対格 / ilāy に) 出席する、のところにやって来る、出頭する <125>
- ḥittān^u [属・対格 ḥittān^a] (男名) ヒッターン <94, 96>
- ḥaṭab^{un} <男>[集合名詞] 薪
- ḥafīza (yaḥfazū) 暗記する、守る、保つ
- ḥaqq^{un} <男>(pl. ḥuqūq^{un}) 真理、権利; 本当の、正しい
- ḥiqbat^{un} (pl. ḥuqūb^{un}, ḥiqab^{un}, aḥqāb^{un}) 時期
- ḥiqd^{un} <男>(pl. aḥqād^{un}) 怨恨、鬱勃たる怒り、悪意、憎しみ
- ḥuqūb^{un} [ḥiqbat^{un} の pl. 6] 時期
- ḥikam^{un} [ḥikmat^{un} の pl. 4] 知恵、警句
- ḥukkām^{un} [ḥākim^{un} の pl. 9] 統治者、判定者
- ḥukamā^u [属・対格 ḥukamā^a; ḥākīm^{un} の pl. 20] 哲学者、賢人、医者 <99>
- ḥikmat^{un} <女>(pl. ḥikam^{un}) 知恵、智、思慮分別、警句
- ḥakāy (yaḥkī) 物語る
ḥukiya anna ~ = ~ が物語られた、~ という話がある <243>
- ḥākīm^{un} (pl. ḥukamā^u) 賢い、思慮深い; 哲学者、賢人、医者
- ḥalāwāy [ḥalwāy の pl. 24] 甘い菓子

ḥalaq^{un} [ḥal(a)qat^{un} の pl. 28] 輪
 ḥalqat^{un}, ḥalaqat^{un} <女> (pl. ḥalaq^{un},
 ḥalaqāt^{un}) 輪
 ḥalwāy <男>(pl. ḥalāwāy) 甘い菓子
 ḥulan, ḥilan [ḥilyat^{un} の pl. 1; 𐤇を書く。定
 冠詞と ḥulāy, ḥilāy。3 格同形] 小間物、
 装身具 <142>
 ḥilyat^{un} (pl. ḥulan, ḥilan) 小間物、装身具
 ḥam^{un} <男>(pl. aḥmā^{un}; 属格や代名詞
 が続くと ḥamū, ḥamī, ḥamā) 義父
 <138>
 ḥimār^{un} <男>(pl. ḥamīr^{un}, ḥumur^{un}) 驢馬
 ḥammāl^{un} (pl. ḥammālūna, ḥammālat^{un})
 運搬人 <118>
 ḥamām^{un} <男>[集合名詞] 鳩 (というも
 の)
 ḥamāmat^{un} (pl. ḥamāmāt^{un}, ḥamā'im^u)
 (一羽の) 鳩 <220>
 ḥammām^{un} <男>(pl. ḥammāmāt^{un}) 風呂、
 ハンマーム <274>
 ḥammāmāt^{un} [ḥammām^{un} の pl.] 風呂、ハ
 ンマーム
 ḥumr^{un} [aḥmar^u, ḥamrā^u の pl. 2] 赤い
 ḥamrā^u [属・対格 ḥamrā^a; aḥmar^u の女
 性形; pl. ḥumr^{un}; 双数 ḥamrāwāni] 赤
 い <96, 109>
 ḥumrān^{un} [aḥmar^u, ḥamrā^u の pl. 19] 赤
 い
 ḥamqāy [aḥmaq^u の pl. 22] 馬鹿な
 ḥamala (yaḥmilu) 運ぶ、運んでくる
 ḥam^{un} <男>[ḥamala の動名詞] 運搬
 ḥammala (yuḥammilu; ḥamala II) 運ばせ
 る
 ḥumat^{un} (蜂や蠍の) 針、針から出る毒

ḍaraba bi-ḥumatⁱ 針で刺す <221>
 ḥamū, ḥamī → ḥam^{un}
 ḥummāy (3 格同形; pl. ḥummayāt^{un}) 悪
 熱 <145>
 ḥamīr^{un} [ḥimār^{un} の pl. 25] 驢馬
 ḥawāmil^u [属・対格 ḥawāmila^a; ḥāmil^{un} の
 pl. 16] 妊娠した
 ḥawā'id^u [属・対格 ḥawā'id^a; ḥā'id^{un} の pl.
 16] 月経中の
 ḥawāyā [ḥāwiyat^{un} の pl. 24; アリフで書
 く] 内臓 <217>
 ḥaiy^{un} (pl. aḥyā^{un}) 生命のある、生きて
 いる
 ḥayāt^{un} <女>(pl. ḥayawāt^{un}) 命、人生、
 生活
 ḥairān^u (属・対格 ḥairāna^a; pl. ḥayārāy; f.
 ḥairāy) 困憊した
 ḥayārāy [ḥairān^u, ḥairāy の pl. 24] 困憊し
 た
 ḥīṭān^{un} [ḥā'iṭ^{un} の pl. 18] 壁
 ḥayawān^{un} (pl. ḥayawānāt^{un}) 動物 <274>
 ḥayawānāt^{un} [ḥayawān^{un} の pl.] 動物

ㇿ

ḥātam^{un}, ḥātim^{un} <男>(pl. ḥawātim^u) 印
 章、指輪、印章指輪
 ḥādīm^{un} <男>(pl. ḥadam^{un}, ḥuddām^{un};
 ḥadama の能動分詞) 召使、下男、奉
 仕者
 ḥādīmat^{un} <女>(pl. ḥādīmāt^{un}, ḥawādīm^u)
 下女、女中
 ḥāšī^{un} (pl. ḥaša'at^{un}, ḥušša^{un}) 謙譲な

- (男)、慎み深い(男)
 ḥāšī'at^{un} 謙讓な(女)、慎み深い(女)
 ḥāšana (yuḥāšinu; ḥāšuna III) (対格に対して) 荒々しい取り扱いをする、荒々しい態度を取る
 ḥāssat^{un} (pl. ḥawāṣṣ^u) 特殊階級、有力者、貴顕、上流階級(の人々)
 ḥāfa (yaḥāfu; <ḥawifa) (対格または min を) 怖れる、恐れる;('alā' を) 心配する <151, 187, 190, 197>
 ḥāfa, ḥāfū, ḥāfi = ḥāfa の命令形
 ḥāl^{un} <男>(pl. aḥwīlat^{un}, aḥwāl^{un}, ḥu'ūlat^{un}, ḥu'ūlat^{un}) (母方の) 叔父
 ḥāliq^{un} <男>[ḥalaqa の能動分詞] 創造者
 ḥāmis^{un} (f. ḥāmisat^{un}) 第5の <177>
 ḥāmisā 'ašarā (f. ḥāmisatā 'ašratā) 第15の <177>
 ḥabbāz^{un} <男>(pl. ḥabbāzūna) パン屋 <118>
 ḥabbara (yuḥabbiru; ḥabara II) (対格の人に'an について) 話して聞かせる、説き聞かせる、告げる、報告する <165>
 ḥabbir [ḥabbara の命令形] 話して下さい、聞かせて下さい
 ḥubz^{un} <男>(pl. aḥbāz^{un}) パン
 ḥada'a (yaḥda'u) だます
 ḥadama (yaḥdimu, yaḥdumu) (対格に) 仕える、奉仕する
 ḥadam^{un} [集合名詞] 召使
 ḥadam^{un} [ḥādim^{un} の pl. 28] 召使
 ḥud, ḥudā = aḥaḍa 「取る」の命令形 <199>
 ḥadārā' [ḥidriyat^{un} の pl. 24] でこぼこの
- 多い土地
 ḥudna, ḥudū, ḥudī = aḥaḍa 「取る」の命令形 <199>
 ḥurāsān^u [属・対格 ḥurāsān^a] (ペルシアの地名) ホラーサーン
 ḥurbat^{un} (pl. ḥurūb^{un}, ḥurab^{un}) (針などの) 穴
 ḥaraḡa (yaḥruḡu) (ilā' に / へ、li をしに、min から) 出る、出かける、出てくる;('alā' を) 襲う、攻める <72, 243>
 ḥurs^{un} [aḥras^u, ḥarsā'^u の pl.] おしの、唾の
 ḥarsā'^u [aḥras^u の女性形; 属・対格 ḥarsā'^a; pl. ḥurs^{un}; 双数 ḥarsāwāni] おしの、唾の <96>
 ḥirfān^{un} [ḥarūf^{un} の pl. 18] 仔羊
 ḥurūb^{un} [ḥurbat^{un} の pl. 6] (針などの) 穴
 ḥarūf^{un} (pl. ḥirfān^{un}, ḥirāf^{un}, aḥrifat^{un}) 仔羊
 ḥuṣub^{un} [ḥašabat^{un} の pl. 3] 材木
 ḥašabat^{un} (pl. ḥuṣub^{un}, ḥašabāt^{un}) 材木
 ḥašuna (yaḥšunu) 荒くある、荒々しい
 ḥašama (yaḥšimu) 争う
 ḥašīy^{un} (pl. ḥiṣyat^{un}, ḥiṣyān^{un}) 宦官、閹人
 ḥiṣyat^{un} [ḥašīy^{un} の pl. 12] 宦官、閹人
 ḥuḍr^{un} [aḥḍar^u, ḥaḍrā'^u の pl.] 緑の
 ḥaḍrā'^u [aḥḍar^u の女性形; 属・対格 ḥaḍrā'^a; pl. ḥuḍr^{un}; 双数 ḥaḍrāwāni] 緑の <96>
 ḥaf, ḥāfā = ḥāfa 「怖れる」の命令形 <197>
 ḥuff^{un} (pl. ḥifāf^{un}, aḥfāf^{un}) 靴
 ḥifāf^{un} [ḥuff^{un} の pl. 5] 靴
 ḥafna, ḥāfū, ḥāfi = ḥāfa 「怖れる」の命

令形 <197>
 ḥafīy^{un} 隠れた、表面に現われない、胸の
 中の、あからさまにではない密かな
 ḥafīy^{an} ひそかに <238>
 ḥafīf^{un} (pl. ḥifāf^{un}, aḥfāf^{un}, aḥiffā^u) 薄い、
 軽い
 ḥalā'if^u [属・対格 ḥalā'ifa; ḥalīfat^{un} の pl.
 17] 後継者、代理人
 ḥulafā'^u [属・対格 ḥulafā'a; ḥalīfat^{un} の pl.
 20] カリフ
 ḥalaqa (yaḥluqu) 創造する、創る
 ḥuliqa (yuḥlaqu) = ḥalaqa の受動
 ḥalīfat^{un} <男>(pl. ḥalā'if^u) 後継者、代理
 人 ; (pl. ḥulafā'^u) カリフ <206>
 ḥimāṣ^{un} [ḥumsān^{un}, ḥumsānat^{un} の pl. 5]
 すらっとした
 ḥamr^{un} <女>(pl. ḥamrāt^{un}, ḥumūr^{un}) 酒、
 葡萄酒 <275>
 ḥamrāt^{un} [ḥamr^{un} の pl.] 酒、葡萄酒
 ḥums^{un}, ḥumus^{un} (pl. aḥmās^{un}) 五分の一
 <203>
 ḥams^{un} [男性形。女性名詞と] 5 <123>
 ḥamsat^{un} [女性形。男性名詞と] 5
 <100, 123>
 ḥamsat^a 'aṣar^a [男性形。3格同形] 15
 <153>
 ḥams^a 'aṣrat^a [女性形。3格同形] 15
 <153>
 ḥamsat^u asdāsⁱⁿ 六分の五 <203>
 ḥamsūna [属・対格 ḥamsīna; 男女同
 形] 50 ; 第 50 の <153, 178>
 ḥams^u mi'atⁱⁿ 500 ; 第 500 の <154>
 ḥamsat^u ālāfⁱⁿ 5000 ; 第 5000 の <155>
 ḥumsān^{un} (pl. ḥimāṣ^{un}; f. ḥumsānat^{un}) す

らっとした
 al-ḥamīs^u <男> 木曜日
 ḥināt^{un} [ḥuntā' の pl. 5] 雌雄両全の人
 ḥuntā' (pl. ḥināt^{un}, ḥanātā') 雌雄両全の
 人、両性具有者、ふたなり
 ḥunfus^{un} (pl. ḥanāfis^u) [類としての] 甲虫
 (というもの)
 ḥunfusat^{un} [一匹の] 甲虫 <220>
 ḥawātim^u [属・対格 ḥawātimā; ḥātam^{un} の
 pl. 16] 指輪
 ḥawāṣṣ^u [属・対格 ḥawāṣṣā; ḥāṣṣat^{un} の
 pl. 16] 上流階級 (の人々)
 ḥauf^{un} <男> (min への) 恐怖、(min を)
 恐れること、('alāy への) 心配
 ḥiyām^{un} [ḥaimat^{un} の pl. 4] 天幕
 ḥaibat^{un} (pl. ḥaibāt^{un}) 失望、落胆 ; 幻滅
 の悲哀
 ḥair^{un} (pl. aḥyār^{un}, ḥiyār^{un}) (より) 良い、
 (より) ましな ; 善 <79>
 A ḥair^{un} min B = A は B より良い / ま
 しだ
 ḥīfa (yuḥāfu) = ḥāfa の受動
 ḥaimat^{un} <女> (pl. ḥiyām^{un}, ḥiyam^{un},
 ḥaimāt^{un}) 天幕、テント

d

dābbat^{un} (pl. dawābb^u) (馬などの) 乗用
 の動物
 dār^{un} <女>(pl. dūr^{un}, diyār^{un}, dārāt^{un}) 屋
 敷、邸、家 <275>
 dārāt^{un} [dār^{un} の pl.] 屋敷、邸、家
 dāma (yadūmu; <dawama) 続く <260>

- mā dāma + 未完了形または分詞の対格 = ~する間中、~している間は、~している限り [dāma は主語に応じて変化]
- daḥala (yadḥulu; 命令形 udḥul) ('alāy のところに) 入って来る ; (ilāy, fi に、対格に) 入る <172, 179>
- daḥnān^{un} (f. daḥnānat^{un}) 息詰まるように暑い <95>
- duḥū^{un} [daḥala の動名詞] 入ること
- darāhim^u [属・対格 darāhim^a; dirham^{un} の pl.] デイルハム (銀貨)
- darasa (yadrusu) 勉強する
- dir^{'un} <女>(pl. dir'āt^{un}, durū^{'un}, adru^{'un}) 鏡 <275>
- dir'āt^{un} [dir^{'un} の pl.] 鏡
- dirham^{un} <男>(pl. darāhim^u) デイルハム (銀貨)
- da' = wada'a の命令形
- da'ā (yad'ū; <da'awa>) (対格または bi を) 呼ぶ、(来てくれと) 呼びかける <81, 83>
- du'ā^{'un} <男>(pl. ad'iyat^{un}) (個人が随意に行なう) 祈り
- da'āwin [da'wāy の pl. 23。定冠詞や属格名詞で限定されると da'āwī] 主張 <144>
- da'āwāy [da'wāy の pl. 24] 主張
- da'wāy (3 格同形; pl. da'āwin, da'āwāy) 主張 <145>
- duḡat^u [属・対格 duḡat^a] (女名) ドウガ <94, 96>
- diflāy [3 格同形] 夾竹桃 <145>
- dukkān^{un} <男>(pl. dakākīn^u) 店
- dalla (yadullu) ('alāy を) 指示する、教える ; (対格を 'alāy へ) 案内する <113, 189, 190, 198>
- dulla/dullī/dullu, dullī, dullā, dullū = dalla 「指示する」の命令形 <199>
- dulla (yudallu) = dalla の受動
- dalw^{un} <女>(pl. dulīy^{un} <dulūy^{un}>, adlin, dalwāt^{un}) バケツ <275>
- dalwāt^{un} [dalw^{un} の pl.] バケツ
- dulīy^{un} [dalw^{un} の pl. 6] バケツ
- dam^{un} <男>(pl. dumīy^{un}, dimīy^{un}, dimā^{'un}) 血
- dimašq^u [属・対格 dimašq^a] ダマスコ、ダマスクス
- dimašqīy^{un} (f. dimašqīyat^{un}) ダマスコ(ダマスクス) 生まれの <165>
- dam^{'un} <男>(pl. dumū^{'un}) 涙
- dumū^{'un} [dam^{'un} の pl.] 涙
- dimīy^{un} [dam^{un} の pl. 6] 血
- danā (yadnū; <danawa>) (min に) 近寄る、近づく <81, 198>
- ad-dunyā <女>(3 格同形; pl. dunyawāt^{un}, dunan) 現世 <145>
- dawā^{'un} <男>(pl. adwīyat^{un}) 薬品
- dawāt^{un} (pl. duwīy^{un}, diwīy^{un}, dawayāt^{un}) インク入れ
- dūd^{un} (pl. dīdān^{un}) 幼虫
- duwal^{un} [daulat^{un} の pl. 1] 国家、王朝
- daulat^{un} <女>(pl. duwal^{un}) 国家、王朝
- diwīy^{un}, duwīy^{un} [dawāt^{un} の pl. 6] インク入れ
- dīdān^{un} [dūd^{un} の pl. 18] 幼虫
- dīn^{un} <男>(pl. adyān^{un}) 宗教

د

dā → dū

dā = hādā この <175>

dāt^{un} 自身、本体、実体；持っている；
[dūの女性形] 持ち主 <139>

dāt^u, dātⁱ, dāt^a ~の持ち主は / の / を
bi-dātⁱ-hi 彼自らによって

dāt^u siwārⁱⁿ 腕輪をした女、腕輪の持ち
主

dāt^u ḥusnⁱⁿ 美の持ち主 = 美女

dāka (f. tāka, tīka)[単数男性。3格同形]
その、あの；それ、あれ <175>

dāki, dākum, dākumā, dākunna, dālikum
= dāka の古形 <175>

dālika [単数男性。3格同形] そのような
(こと)、そのこと、それ、あれ；その、
あの <127, 169, 175>

dāni = hādāni [双数] この <175>

dānika [双数男性。主格] その、あの；そ
れ、あれ <175>

dānnika [双数男性。主格] その、あの；
それ、あれ <175>

dāhib^{un} [dahabaの能動分詞] 行く(人)

dubāb^{un} <男>(pl. dībbān^{un}, aḍibbat^{un}) 蠅

dībbān^{un} [dubāb^{un}の pl. 18] 蠅

dabaḥa (yaḍbaḥu) 喉を斬る、虐殺する、
殺す

dar = waḡara の命令形

dirā^{un} (pl. aḍru^{un}) 腕、前腕；腕尺(58
~80cm)

dakāt^{un} (法定の) 喜捨 <25>

dakar^{un} <男> (pl. dukrān^{un}, dukūr^{un},
dukūrat^{un}) 雄

dukrān^{un} [dakar^{un}の pl. 19] 雄

dīkrāy <女>(3格同形； pl. dīkrayāt^{un}) 思
い出、記憶 <145, 274>

dīkrayāt^{un} [dīkrāyの pl.] 思い出、記憶

dulul^{un} [dalūl^{un}の pl. 3] 馴れた、おとなし
い

dalūl^{un} (pl. dulul^{un}) 馴れた、おとなしい

ḡanb^{un} <男>(pl. ḡunūb^{un})[発音は
ḡamb^{un}] 罪

dū ḡanbⁱⁿ 罪を犯した人、罪人

ḡunūb^{un} [ḡanb^{un}の pl.] 罪

dīhi = hādīhi [単数女性。3格同形] こ
の；これ <175>

ḡahaba (yaḡhabu) (ilāyへ) 行く；(biを)
持っていく、奪い取る、平らげる <51,
262>

dū, dī, dā [常に属格名詞と； f. dāt^u, dātⁱ,
dāt^a] ~の持ち主は / の / を <139>

dū māiⁱⁿ 財産の持ち主、金持ち

dū ḡanbⁱⁿ 罪人 <179>

dū l-ḡiḡḡatⁱ [属格 dī l-ḡiḡḡatⁱ, 对格 dā
l-ḡiḡḡatⁱ] 十二月、ズー・ル・ヒツジャ
ト月(29日)

dū l-qa'datⁱ [属格 dī l-qa'datⁱ, 对格 dā
l-qa'datⁱ] 十一月、ズー・ル・カアダト
月(30日)

dawā [属・对格 ḡawai] = dū, dī, dā の双
数 <139>

dawāt^u [属・对格 ḡawātⁱ] = dāt^u, dātⁱ,
dāt^a の pl. <139>

dawātā / dātā [属・对格 ḡawātai/dātai] =
dāt^u, dātⁱ, dāt^a の双数 <139>

dawū [属・对格 ḡawi] = dū, dī, dā の pl.
<139>

dī → dū

dāini = hādāini [双数男性。属・対格] この ; これ

dāinika [双数男性。属・対格] その、あの ; それ、あれ <175>

dāinnika [双数男性。属・対格] その、あの ; それ、あれ <175>

ر

ra = ra'āy 「見る」の命令形 <198>

rābi^{un} (f. rābi'at^{un}) 第4の <177>

rābi'a 'ašara (f. rābi'at'a 'ašrat'a) 第14の <177>

rāgiḥ^{un} [rağaha の能動分詞] 下にさがっている (もの) <263>rāgi^{un} [rağa'a の能動分詞] 帰ってくる ; 帰還者ra's^{un} <男>(pl. ru'ūs^{un}) 頭、第一位のもの、主 / 首たるものrā'in <男> [属格 = 主格。対格 rā'iyan。定冠詞や属格名詞で限定されると rāī] (pl. ri'ā^{un}, ru'āt^{un}) 牧者 <143, 170>rākib^{un} (pl. rukbān^{un}, rukkāb^{un}; rakiba の能動分詞) 乗っている ; 騎手

rāmin [ramāy の能動分詞。属格 = 主格。対格 rāmiyan。定冠詞や属格名詞で限定されると rāmī. pl. rāmūna。双数 rāmiyāni] 投げる (者) <144>

rāhib^{un} (pl. ruhban^{un}) キリスト教の隠者
rāwin [属格 = 主格。対格 rāwiyān。定冠詞や属格名詞で限定されると rāwī] (pl. ruwāt^{un}) 伝承者、語り手 <143>

ra'āy (yarāy) 見る、(主格に対格が) 見える ; (対格を対格と、anna と) 思う ; 会う <192, 198>

ra'ā-hu 彼は彼 / それを見た (sがアリフに変わる)

ra'y^{un} <男>(pl. ar'ā^{un}, ārā'^{un}) (bi についての) 見解、意見

ra'aitu <ra'āy 私は見た

rabb^{un} <男>(pl. arbāb^{un}) 主ribā^{un} [ruba^{un} の pl. 5] 春生まれの仔駱駝ruba^{un} (pl. ribā^{un}) 春生まれの仔駱駝rub^{un}, rubu^{un} (pl. arbā^{un}) 四分の一 <203>rabī^u l-auwal^u <男> 三月、ラビーウ・ル・アウワル月 (30日)rabī^u t-tānī <男> 四月、ラビーウツ・サー二一月 (29日)

rit, ritī, ritā, ritū, ritna = warīta 「相続する」の命令形 <197>

rağā (yarğū; <rağawa) 希望する、請う <81>

riğāl^{un} [rağul^{un} の pl. 5] 男たち、人々rağab^{un} <男> 七月、ラジャブ月 (30日)

rağaha (yarğahu, yarğuhu, yarğihu) (秤の皿に) つく、下にさがる、重みがかかる

rağa'a (yarği'u) ('an から 'alāy へ、min から、ilāy へ) 還る、帰(ってく)る、醒める <54, 68, 255>

rağul^{un} <男>(pl. riğāl^{un}) 男、人riğl^{un} <女>(pl. arğul^{un}) 足ruğū^{un} [rağa'a の名詞] ('alāy への) 帰還、戻って来ること <130>

rahḥaba (yurahhibu; raḥiba II) 歓迎する
 raḥima (yarḥamu) 恵む、哀れむ、同情する
 rahmān^{un} 慈悲深い (者)
 raḥan <女>(pl. arḥā^{un}, ruḥīy^{un})[_スを書く。定冠詞と raḥāy。3格同形] 碾き臼 <142, 275>
 raḥanāt^{un} [raḥan の pl.] 碾き臼
 raḥuṣa (yarḥuṣu) (価が) 低くなる、安くなる、低い
 radda (yaruddu; <radada) 返却する ; 答える <112>
 radāḥ^{un} (pl. ruduḥ^{un}) 大鉢
 ruduḥ^{un} [radāḥ^{un} の pl. 3] 大鉢
 risālat^{un} <女>(pl. rasā'il^u) 手紙
 rasā'il^u [属・対格 rasā'ilā; risālat^{un} の pl. 17] 手紙
 rustam^u [属・対格 rustamā] (ペルシアの英雄) ルスタム <119>
 rusul^{un} [rasūl^{un} の pl. 3] 使者
 rasūl^{un} <男>(pl. rusul^{un}) 使者、使徒
 ar-rašīd^u アツ・ラシード <213>
 riḍan <男>[_スを書く。定冠詞と riḍāy。3格同形] 満足 <142>
 raḍiya (yarḍāy) (bi, 'an に) 満足する、気に入る ; (bi を) 認める <135, 189, 263, 266, 268>
 ruḍiya (yurḍāy) = raḍiya の受動
 riṭāb^{un} [ruṭāb^{un} の pl. 5] 熟した新鮮な棗
 椰子の実
 ruṭāb^{un} (pl. riṭāb^{un}, arṭāb^{un}) 熟した新鮮な棗椰子の実
 ri'ā^{un} [rā'in の pl. 5] 牧者
 ra'āy (yar'āy) (牧畜などが) 草を食う

<92>
 ra'āyā [ra'īyat^{un} の pl. 24; アリフで書く] 臣下 <217>
 ra'īyat^{un} (pl. ra'āyā) 臣下
 ruḡfān^{un} [raḡīf^{un} の pl. 19] パン塊、パン
 raḡīf^{un} <男>(pl. arḡifat^{un}, ruḡfān^{un}) パン、丸パン、(円く細長い) パン塊
 rafa'a (yarfa'u) 持ち上げる
 riqāb^{un} [raqabat^{un} の pl. 5] 首、頸
 raqabat^{un} (pl. raqabāt^{un}, riqāb^{un}, arqub^{un}) 首、頸
 raqada (yarqudu) 眠る、睡る <71>
 raqm^{un} <男>(pl. arqām^{un}) 数、数字
 ar-raqm^u l-hindīy^u インド数字 (いわゆるアラビア数字のこと)
 rukab^{un} [rukbat^{un} の pl. 1] 膝
 rakiba (yarkabu) (対格または'alāy に) 乗る
 'alāy dābbatⁱⁿ 乗用動物 (馬など) に乗る
 rukbān^{un} [rākib^{un} の pl. 19] 騎手
 rukbat^{un} <女>(pl. rukab^{un}) 膝
 rakāḍa (yarkuḍu) (馬が) 駆ける ; (馬を) 駆る ; 走る
 rakḍat^{un} ギャロップ
 rimāḥ^{un} [rumḥ^{un} の pl. 5] 槍
 rumḥ^{un} (pl. rimāḥ^{un}) 槍
 ramadān^u <男>(属・対格 ramadānā; pl. ramadānāt^{un}) 九月、ラマダーン月 (30日) <274>
 ramadānāt^{un} [ramadān^u の pl.] 九月、ラマダーン月
 ramāy (yarmī; <ramaya; 能動分詞 rāmin) (対格または bi を) 放り出す、投げる

<83, 88, 161, 162, 188, 266, 268>
 rumiya (yurmāy) = ramāy の受動
 ruhbān^{un} [rāhib^{un} の pl. 19] キリスト教の
 隠者
 rau = ra'āy 「見る」の命令形 <198>
 ruwāt^{un} [rāwin の pl. 10] 伝承者、語り手
 riwā^{un} [raiyān^u, raiyā の pl. 5] 十分に渴
 きを癒した
 rūḥ^{un} <女>(pl. arwāḥ^{un}) (生命の) 息、生
 命、精根、精神
 ru'asā^u [属・対格 ru'asā^a; ra'īs^{un} の pl. 20]
 首領
 rawāy (yarwī; 受動 ruwiya) 語り伝える、
 物語る
 ruwiya = rawāy 「語り伝える」の受動
 ru'yā [3格同形] 夢 <144>
 rai, rayā = ra'āy 「見る」の命令形 <198>
 riyāḥ^{un} [rīḥ^{un} の pl. 5] 風
 raiyān^u (属・対格 raiyān^a; pl. riwā^{un}; f.
 raiyā) 十分に渴きを癒した
 rīḥ^{un} <女>(pl. riyāḥ^{un}, aryāḥ^{un}, rīḥāt^{un}) 風
 <275>
 rīḥāt^{un} [rīḥ^{un} の pl.] 風
 raina = ra'āy 「見る」の命令形 <198>
 ra'īs^{un} <男>(pl. ru'asā^u) 首領

z j

zāḡir^{un} [zaḡara の能動分詞] 咎める (者)
 zād^{un} (pl. azwidat^{un}, azwād^{un}) (旅の) 糧
 食
 zāra (yazūru; <zawara) 訪問する
 zāla (yazūlu; <zawala) 滅びる、止む、消

え去る、いなくなる、遠ざかる
 zāla (yazālu; <zawila) やめる ; (否定詞
 とともに次の表現)
 mā zāla / lam yazal / lā yazālu + 未完
 了形または分詞・形容詞の対格=[前
 の2つは過去。zāla は主語に応じて
 変化する] ~し続ける、いつまでも
 ~する、依然として~である、まだ
 ~である、あいかわらず~している
 <151, 259>
 zāwiyat^{un} <女>(pl. zawāyā) 隅
 zaḡara (yazḡuru) 咎める、叱る
 zaḡama (yazḡumu) 低い声で話す、つぶ
 やく、ささやく ; 低い声 (つぶやき、
 ささやき) に耳を傾ける
 zaḡama (yazḡamu) 押す、突く ; 押し合
 う
 zir^{un} <男>(pl. azirrat^{un}, azrār^{un}) ボタン
 zurta, zurti, zurtu → zāra 「訪問する」の
 未完了形単数
 zurq^{un} [azraq^u, zarqā^u の pl.] 青い、紺碧
 の、碧色の
 zarqā^u [azraq^u の女性形 ; 属・対格
 zarqā^a; pl. zurq^{un}; 双数 zarqāwāni] 青
 い、紺碧の、碧色の <96>
 za'ānif^u [属・対格 za'ānif^a; zi'nifat^{un} の pl.
 18-1] 鱻、ひれ
 za'ama (yaz'umu) 主張する、語る、伝え
 える
 zi'nifat^{un} (pl. za'ānif^u) 鱻、ひれ
 zufar^u [属・対格 zufar^a] (男名) ズファール
 <94, 96>
 zuqāq^{un} (pl. aziqqat^{un}, zuqqān^{un}) 小路
 zuqqān^{un} [zuqāq^{un} の pl. 19] 小路

zakariyā^u [属・対格 zakariyā^{ʿa}] (男名)
 ザカリヤー <94, 96>
 zalzala (yuzalzilu; 4 語根 I) (ごうごうと)
 揺さぶる <257>
 zalaqa (yazluqu), zaliqa (yazlaqu) 滑る、
 滑らせる、辻(らせ)る
 zaman^{un} <男>(pl. azmun^{un}, azmān^{un}) 時、
 時代
 zamin^{un} (pl. zamnā^y) 中風の
 zamnā^y [zamin^{un} の pl. 22] 中風の
 zahr^{un} <男>(pl. azhār^{un}, azāhīr^u) 花
 zawāl^{un} 凋落、衰微、終末、終止
 zauḡ^{un} <男>(pl. azwāḡ^{un}) 夫、妻
 zauḡat^{un} <女> 妻
 zawāyā [zāwiyat^{un} の pl. 24 ; アリフで書
 く] 隅 <217>
 zaid^{un} <男> (男名) ザイド <116>
 zainab^u <女>(属・対格 zainab^a; pl.
 zainabāt^{un}) (女名) ザイナブ
 zainabāt^{un} [zainab^u の pl.] ザイナブ

س س

sa- [未来を示す助詞。未完了形の前に置
 き、未来の意味を強調する] いずれは
 ~する(であろう) <147>
 sā'a (yasū'u) 悪くなる、悪い、悪くある
 <201>
 sābi^{un} (f. sābi^{at}^{un}) 第7の <177>
 sāḡid^{un} (pl. suḡḡad^{un}, sāḡidūna, suḡūd^{un})
 跪いている
 sāḡir^{un} <男>(pl. saḡarat^{un}) 魔術師
 sādis^{un} (f. sādisat^{un}) 第6の <177>

sāra (yasīru; <sayara) 歩く、行く、進む、
 旅する <151, 190, 267>
 sāriq^{un} <男>(pl. sāriqūna, surrāq^{un};
 saraqa の能動分詞) 盗人
 sāriy^{un} [sāra の能動分詞] 旅をしている
 (人)
 sā'at^{un} <女>(pl. sā'āt^{un}) 時間; 時計
 sāfir^{un} <男>(pl. safr^{un}) 旅行者
 sākinat^{un} (pl. sawākin^u) 居住者
 sa'ala (yas'alu; 命令形 is'al, sal)(対格に
 'an について) 質問する、尋ねる
 <128, 200>
 sāla (yasīlu; <sayala) 流れる
 sāwā^y (yusāwī; sawiya III) (対格を bi と)
 等しくする、同等にする
 sāyara (yusāyiru; sāra III) (対格と) 一緒
 に歩く、歩きっこをする <223>
 sā'il^{un} <男> 乞食
 sibā^{un} [sabu^{un} の pl. 5] 猛獣
 as-sabt^u <男>(pl. subūt^{un}) 土曜日
 subḡāna l-lāhⁱ = 神に栄光あれ、讃えあれ
 = al-lāh^u subḡāna-hu <238>
 sabu^{un} (pl. sibā^{un}, asbu^{un}) 猛獣、ライオ
 ン
 sub^{un}, subu^{un} <男>(pl. asbā^{un}) 七分の
 一 <203>
 sab^{un} [男性形。女性名詞と] 7 <123>
 sab^{at}^{un} [女性形。男性名詞と] 7
 <123>
 sab^a 'ašrat^a [女性形。3格同形] 17
 <153>
 sab^{at} 'ašar^a [男性形。3格同形] 17
 <153>
 sabūna [男女共通。属・対格 sabīna]

- 70 ; 第 70 の <153, 178>
- sab^u mi'atⁿ 700 ; 第 700 の <154>
- sab'at^u ālāfⁿ 7000 ; 第 7000 の
<155>
- sabīl^{un} <男>(pl. subul^{un}) 途、道 ; 手段
- sitt^{un} [男性形。女性名詞と] 6 <123>
- sittat^{un} [女性形。男性名詞と] 6 <100,
123>
- sittā 'ašrat^a [女性形。3 格同形] 16
<153>
- sittatā 'ašarā^a [男性形。3 格同形] 16
<153>
- sittūna [男女共通。属・对格 sittīna]
60 ; 第 60 の <153, 178>
- sitt^u mi'atⁿ 600 ; 第 600 の <154>
- sittat^u ālāfⁿ 6000 ; 第 6000 の <155>
- sağāyā [sağīyat^{un} の pl. 24; アリフで書
<] 素質 <217>
- suğğad^{un} [sāğid^{un} の pl. 7] 跪いている
- sağīyat^{un} (pl. sağāyā) 素質
- saḥābat^{un} (pl. saḥā'ib^u, suḥub^{un},
saḥābāt^{un}) 雲
- saḥā'ib^u [属・对格 saḥā'ibā; saḥābat^{un} の
pl. 17] 雲
- saḥarat^{un} [sāhir^{un} の pl. 9] 魔術師
- saḥnān^u [属・对格 saḥnānā^a](f. saḥnāy^u) 暑
い <95, 96>
- saḥnān^{un} (f. saḥnānat^{un}) 暑い <95>
- suds^{un}, sudus^{un} (pl. asdās^{un}) 六分の一
<203>
- sarāḥīn^u [属・对格 sarāḥīnā; sirḥān^{un} の
pl. 18-II] 狼
- sirr^{un} <男> 秘密
- sariğa (yasrağū) 嘘をつく ; 端正な顔を
している、輝いている、すばらしい
<34>
- sirḥān^{un} (pl. sarāḥīn^u) 狼
- surur^{un} [sarīr^{un} の pl. 3] 座、寝台
- saraqa (yasriqu) 盗む
- suran [سを書く。定冠詞と surāy^u。3 格同
形] 夜旅 <142>
- sarīr^{un} <男>(pl. surur^{un}, asirrat^{un}) 座、寝
台
- sa'ālin [si'lāt^{un} の pl. 23。定冠詞や属格名
詞で限定されると sa'ālī] 女の魔性
<144>
- si'lāt^{un} (pl. sa'ālin) 女の魔性
- sa'īd^{un} (pl. su'adā'ū) 幸福な
- saffāḥ^{un} 殺伐な、残忍な(人); 物惜しみ
しない(人) <269>
- safr^{un} [sāfir^{un} の pl. 29] 旅行者
- safarğal^{un} (pl. safāriğ^{un}) マルメ口
- sufun^{un} [safīnat^{un} の pl. 3] 船
- sufahā'ū [属・对格 sufahā'a; safīh^{un} の pl.]
愚かな(人) <99>
- sufyān^u [属・对格 sufyānā^a] (男名) スフ
ヤーン <94, 96>
- safīnat^{un} (pl. sufun^{un}, safā'in^u) 船
- sufairiğ^{un} 小さなマルメ口 <271>
- safīh^{un} (pl. sufahā'ū) 愚かな(人)
- suqrāt^u [属・对格 suqrātā^a] ソクラテス
<230>
- saq^{un} <男>(pl. suqf^{un}, suqūf^{un}, asqf^{un},
suqfān^{un}) 屋根
- suqf^{un} [saq^{un} の pl. 3] 屋根
- suqfān^{un} [saq^{un} の pl. 19] 屋根
- saqāy^u (yasqī) 水を飲ませる、水を与える、
飲料を飲ませる

sakārāy [sagrān^u, sakrāy^y の pl. 24] 酔った、
 酩酊した
 sakrān^u (属・对格 sakrān^a; pl. sakrāy^y,
 sakārāy^y; f. sakrāy^y, sakrānat^{un}) 酔った、
 酩酊した <95, 96>
 sakrāy^y [sagrān^u の pl. 22; f.] 酔った、酩
 酊した
 sal, salā = sa'ala 「質問する」の命令形
 <200>
 salla (yasallu) (刀、剣を) 抜く
 salaḥa (yaslaḥu, yaslūḥu) 皮を剥ぐ
 sulṭān^{un} <男>(pl. salāṭīn^u) スルターン
 salaf^{un} (pl. aslāf^{un}) 祖先、古人
 sallama (yusallimu; salima II) 平安を与
 える
 sulmāy [3 格同形] (人名) スルマー
 <145>
 salna, salū, salī = sa'ala 「質問する」の
 命令形 <200>
 sulaimān^u [属・对格 sulaimān^a] (男名)
 スライマーン、ソロモン <94, 96>
 samā^{un} <女>(pl. samāwāt^{un}, samawāt^{un})
 空、天 <274>
 samāwāt^{un} [samā^{un} の pl.] 空、天
 sami'a (yasma'u) 聞く
 sinn^{un} <女>(pl. asnān^{un}) 齒
 sanat^{un} <女>(pl. sanawāt^{un}, sinūna;
 属・对格 sinīna) 年
 su' = sā'a の命令形 <201>
 sū^{un} <男> 不幸、禍、悪いこと、誤り
 siwār^{un}, suwār^{un} (pl. aswirat^{un}, asāwir^u,
 sūr^{un}) 腕輪、ブレスレット
 sawākin^u [属・对格 sawākin^a; sākinat^{un}
 の pl.] (女性の) 居住者 <99>

sauwada (yusauwidu; sāda II) 黒くする、
 黒くなる <245>
 sūd^{un} [aswad^u, saudā^u の pl. 2] 黒い
 saudā^u [aswad^u の女性形; 属・对格
 saudā^a; pl. sūd^{un}; 双数 saudāwāni] 黒
 い <96>
 sūr^{un} [siwār^{un}, suwār^{un} の pl. 2] 腕輪、腕
 環
 sūr^{un} <男>(pl. sīrān^{un}, aswār^{un}) (城) 壁
 saufa [未来を示す助詞。sa-の独立形]
 <147>
 siwāy^y [属格と。人称代名詞が続くとは
 アリフで書かれる] ~を除いた、~以
 外の <237>
 sair^{un} <男> 旅 <169>
 siyar^{un} [sīrat^{un} の pl. 4] 生き方、一生(の
 記述)
 sīrān^{un} [sūr^{un} の pl. 18] 腕輪、腕環
 sīrat^{un} (pl. siyar^{un}) 生き方、一生(の記述)
 saif^{un} <男>(pl. masyafat^{un}, masīfat^{un},
 suyūf^{un}) 剣、刀
 saifān^{un} (f. saifānat^{un}) すらっとして背の
 高い <95>

ش Š

ša' = šā'a の命令形 <201>
 šā'a (yašā'u; <šaya'a; 命令形 ša') 欲す
 る <200, 201>
 šābb^{un} <男>(pl. šubbān^{un}, šabāb^{un}) 青年、
 若い(人)
 šādurwān^{un} (pl. šādurwānāt^{un}) 噴水
 <274>

- šadurwānāt^{un} [šadurwān^{un} の pl.] 噴水
 šādurwān^{un} = šadurwān^{un} 噴水
 šāri^{un} <男>(pl. šawāri^u) 街路、通り
 šāṭir^{un} (pl. šuṭṭār^{un}; f. šāṭirat^{un}) 伶俐な、
 利口な
 šā'ir^{un} <男>(pl. šu'arā^u) 詩人
 aš-šām^u, aš-ša'm^u <女> シリア ; ダマ
 クス
 šāhid^{un} <男>(pl. šuhūd^{un}, ašhād^{un},
 šawāhid^u) 証人 ; 証拠
 šubbān^{un} [šābb^{un} の pl. 19] 青年
 šab'ān^u (属・対格 šab'ān^a; pl. šabā'āy,
 šibā'ūn; f. šab'āy, šab'ānat^{un}) 満腹した
 <95, 96>
 šibl^{un} (pl. ašbul^{un}, ašbāl^{un}) 仔獅子
 šibh^{un} <男>(pl. ašbāh^{un})[属格と] 類似
 (しているもの)、半ば...
 šuḡā^{un} (pl. šig'at^{un}, šaḡa'at^{un}, šuḡ'ān^{un})
 勇敢な
 šaḡarat^{un} <女>(pl. šaḡarāt^{un}, ašḡār^{un})(一
 本の) 樹
 šuḡ'ān^{un} [šuḡā'ūn の pl. 19] 勇敢な
 šig'at^{un} [šig'at^{un} の pl. 12] 勇敢な
 šaḡaṣa (yašḡaṣu) 出現する
 šaḡṣ^{un} <男>(pl. ašḡāṣ^{un}, šuḡūṣ^{un})(人間
 の) 身体 <49>
 šiddat^{un} <女> 劇しさ、腕力
 šadīd^{un} (pl. ašiddā'ū, šidād^{un}, šadīdūna; f.
 šadīdat^{un}; 比較級 ašadd^u) 劇しい、激
 しい、厳しい、強い
 šarr^{un} (pl. ašrār^{un})(より) 悪い ; (pl.
 šurūr^{un}) 悪
 A šarr^{un} min B = A は B より悪い
 šarrāb^{un} (pl. šarrābūna) 大酒のみ、酒ば
 かり飲んでいる男 <118>
 šariba (yašrabu; 能動分詞 šarib^{un}) 酒を
 飲む、飲む
 šarṭ^{un} <男>(pl. šurūṭ^{un}) 条件
 širk^{un} 偶像崇拜(的多神崇拜) <237>
 šurūṭ^{un} [šarṭ^{un} の pl.] 条件
 šarīf^{un} (pl. ašrāf^{un}, šurafā'ū) 高貴な
 ša'bān^u [属・対格 ša'bān^a] 八月、シャ
 パーン月(29日)
 ša'ara (yaš'uru)(biに) 感づく、気づく、
 と感じる
 ša'r^{un} <男>(pl. šu'r^{un}) 髪
 šir^{un} <男>(pl. aš'ār^{un}) 詩、詩歌
 šu'arā'ū [属・対格 šu'arā'a; šā'ir^{un} の pl. 20]
 詩人
 ša'afat^{un} (pl. šu'ūf^{un}, šī'āf^{un}) 頂
 šu'ūf^{un} [ša'afat^{un} の pl. 6] 頂
 šaqqā (yašququ; <šaqqa>) 裂く、破る
 <110>
 šaqaḡān^{un} (pl. šiqḡān^{un})(雄の) カメレ
 オン
 šiqḡān^{un} [šaqaḡān^{un} の pl. 18](雄の) カ
 メレオン
 šaqīy^{un} (pl. ašqiyā'ū) 悲惨な、不運な
 anā šaqīy^{un} = おれは不運だ [形容詞に
 定冠詞をつけると強意になる]
 šakk^{un} <男>(pl. šukūk^{un}) 疑い
 šakāwāy [šakwāy の pl. 24] 泣き言、愁訴
 šakwāy (pl. šakāwāy) 泣き言、愁訴
 šallam^u [属・対格 šallam^a] シャツラム、
 エルサレム <95, 96>
 šimāl^{un} <男>(pl. ašmul^{un}, šamā'il^u) 左手、
 左側
 šamāl^{un} <男>(pl. šamā'il^u) 北 ; 北風

šamā' il^u [属・対格 šamā' ila^a; šimāl^{un},
 šamāl^{un} の pl. 17] 左手、左側；北、北
 風
 šamhara (yušamhiru; 4 語根 I) 傲慢な態
 度を取る <257>
 šammar^u [属・対格 šammar^a] (男名) シ
 ャンマル <95, 96>
 aš-šams^u <女>(pl. šumūs^{un}) 太陽
 <275>
 šamsīy^{un} (f. šamsīyat^{un}) 太陽の、太陽に
 関する <165>
 šihāb^{un} (pl. šihbān^{un}) 灯り、燈火、炎
 šahiba (yašhabu) 灰色になる、灰色であ
 る；(揺れて) 光る <34>
 šihbān^{un} [šihāb^{un} の pl. 18] 灯り、燈火、
 炎
 šahr^{un} <男>(pl. ašhur^{un}, šuhūr^{un}) (曆の)
 月
 šahawāt^{un} [šahwat^{un} の pl.] 欲望、情欲；
 食欲 <230>
 šahwat^{un} (pl. šahawāt^{un}) (特に肉体的)
 欲望、情欲、欲情、欲；食欲
 qalīl^u š-šahwatī li-ṭ-ṭa'āmī 食欲のない、
 食の進まぬ <129>
 šuhūd^{un} [šāhid^{un} の pl. 6] 証人
 šuhūr^{un} [šahr^{un} の pl.] (曆の) 月
 šawāri'^u [属・対格 šawāri'a; šāri'^{un} の pl.]
 街路、通り
 šauwāl^{un} 十月、シャウワール月(29日)
 šawāhid^u [属・対格 šawāhida^a; šāhid^{un} の
 pl. 16] 証人
 šaukat^{un} <女>(pl. šaukāt^{un}) フォーク
 šai'^{un} <男>(pl. ašyā'^{un}) 物、事；何か；い
 くらか、少しばかり

mā ... šai'^{an} = 何も...しなかった
 kull^u šai'ⁱⁿ = あらゆるもの、何でも
 šayāṭīn^u [属・対格 šayāṭīna^a; šaiṭān^{un} の pl.
 18-II] 悪魔
 šaiḥ^{un} <男>(pl. šiyahat^{un}, šihāt^{un},
 mašyahat^{un}, mašyuhāt^{un}, mašihāt^{un},
 šuyūḥ^{un}, mašāyih^u, ašyāḥ^{un}) 老人、長
 老
 šiyahat^{un} [šaiḥ^{un} の pl. 11] 老人、長老
 šihāt^{un} [šaiḥ^{un} の pl. 12] 老人、長老
 šaiṭān^{un} <男>(pl. šayāṭīn^u) 悪魔

س

šābir^{un} (f. šābirat^{un}) 辛抱強い(人)
 šāhib^{un} <男>(pl. šihāb^{un}, ašhāb^{un},
 šahābat^{un}, šihābat^{un}, šahb^{un}) 伴侶、仲
 間、朋友、伴；持ち主、主人；手下；[ふ
 つう pl. で] 教友 <236>
 šāhibat^{un} <女>(pl. šawāhib^u, šāhibāt^{un})
 女友だち
 šāda (yašīdu; <šayada) 獵をする、捕る
 šādafa (yušādifu; šadafa III) 偶然(対格
 に)出遭う <170>
 šādiq^{un} <男>(f. šādiqat^{un}) 誠実な(人)、
 嘘言わぬ(人)、信頼できる(人)
 šāra (yašīru; <šayara) 成る、始める；(未
 完了形と)~し始める <150, 188,
 190, 197>
 šāra A B = A が B (対格)になる
 šāra'a (yušāri'u; šara'a III) 相撲をとる、
 (互いに)投げ倒そうと努めあう
 šā'iqat^{un} (pl. šawā'iq^u) 稻妻

šā'id^{un} (pl. šā'idūna; šāda の能動分詞)
 獵師 <190>
 šā'im^{un} (f. šā'imat^{un}) 断食を守る人
 šubh^{un} (pl. ašbāh^u) 朝
 šabr^{un} <男> 忍耐、我慢
 šubur^{un} [šabūr^{un} の pl. 3] 忍耐強い
 šabūr^{un} (pl. šubur^{un}) 忍耐強い
 šabīy^{un} <男> (pl. šibyat^{un}, ašbiyat^{un},
 šibyān^{un}) 男の子、子供、少年、若者
 šibyān^{un}, šibyat^{un} [šabīy^{un} の pl. 18] 子供
 šibyat^{un} [šabīy^{un} の pl. 12] 男の子、少年、
 若者
 šihāb^{un} [šāhib^{un} の pl. 5] 伴侶; [ふつう
 pl.で] 教友
 šahābat^{un}, šihābat^{un} [šāhib^{un} の pl. 27] 朋
 友、仲間、伴 <218>
 šahārin [šahrā^u の pl. 23。定冠詞や属格
 名詞で限定されると šahārī] 平原、沙
 漠 <144>
 šahiba (yašhabu) (対格の) 伴侶 / 友と
 なる
 šahb^{un} [pl. šāhib^{un} の pl. 29] 朋友、仲間、
 伴
 šahrā^u <女>(属・対格 šahrā^a; pl. šahārin,
 šahārāy, šaharāwāt^{un}) 平原、沙漠
 šahārāy [šahrā^u の pl. 24] 平原、沙漠
 šuḥuf^{un} [šahīfat^{un} の pl. 3] ページ; 新聞
 šahīfat^{un} <女>(pl. šuḥuf^{un}, šahā'if^u) ペー
 ジ; 新聞
 šadafa (yašdifu, yašdufu) 断念する、避
 ける <169>
 šadaqat^{un} <女>(pl. šadaqāt^{un}) (自由意志
 による) 喜捨、施し物 <25>
 šadiq^{un} <男>(pl. ašdiqā^u) 友、親友

šir = šāra 「成る」の命令形 <197>
 širāt^{un} 路
 šara'a (yašra'u) 投げ倒す
 šuri'a (yušra'u; šara'a の受動) (癲癇な
 どの) 発作に襲われる <245>
 šarafa (yašrifu) ('an から対格を) 解任す
 る、暇をやる、立ち去らせる
 širna = šāra 「成る」の命令形 <197>
 ši'āb^{un} [ša'b^{un}, ša'bat^{un} の pl. 5] 難しい、
 困難な
 ša'b^{un} (pl. ši'āb^{un}; f. ša'bat^{un}; 比較級
 aš'ab^u) 難しい、困難な
 šağura (yašguru) 小さい、小さくなる、
 若い
 aš-šugar^u [aš-šugrāy の pl. 1] いちばん小
 さい、最小の
 aš-šugrāy [šağīr^{un} の最上級女性形、3格
 同形] いちばん小さい、最小の
 šağīr^{un} (pl. šigār^{un}; 比較級 ašğar^u) 小
 さい
 šağīr^{an} [副詞的対格] 小さく
 šağīrat^{un} (pl. šağīrāt^{un}) [女性形] 小
 さい
 šafā'iḥ^u [属・対格 šafā'iḥ^a; šafīḥat^{un} の pl.
 17] 板
 šafar^{un} <男> 二月、サファル月 (29日)
 šufr^{un} [ašfar^u, šufrā^u の pl. 2] 黄色い
 šufrā^u [ašfar^u の女性形; 属・対格 šufrā^a;
 pl. šufr^{un}; 双数 šufrāwāni] 黄色い <96>
 šafīḥat^{un} <女>(pl. šafā'iḥ^u) 板
 šilāb^{un} [šulb^{un}, šulbat^{un} の pl. 5] 硬い
 šalāt^{un} <女>(pl. šalawāt^{un}) (定時の) 祈禱、
 礼拝、祈り
 šulb^{un} (pl. šilāb^{un}; f. šulbat^{un}) 硬い

şaluha, şalaḥa (yaşluḥu) 良い状態にある、うまくいく

şul'ān^{un} [aşla'u の pl. 19] 禿頭の

şallāy (yuşallī; ş, l, w II) ('alāy を) 祝福する、祈る、礼拝する

şallāy l-lāh^u 'alai-hi wa-sallama = 神が彼に祝福を垂れ給わんことを、そして平安を与え給わんことを (ムハンマドの名称のあとに用いる) <214>

şamt^{un} <男> 沈黙

şana'a (yaşna'u) 作る、為す、する

şinw^{un} (pl. şinwān^{un}) 双樹; 双子の兄弟

şinwān^{un} [şinw^{un} の pl. 18] 双樹; 双子の兄弟

şawāb^{un} <男> 正しいこと、真なること、真であること、理性

şawāhib^u [属・対格 şawāhibā; şāhibat^{un} の pl. 16] 女友だち

şawā'iq^u [属・対格 şawā'iqā; şā'iqat^{un} の pl. 16] 稻妻

şūḥān^{un} (f. şūḥānat^{un}) カサカサにしなびた <95>

şauḥān^{un} (f. şauḥānat^{un}) カサカサにしなびた <95>

şūrat^{un} <女>(pl. şuwar^{un}) 姿、絵

şuwar^{un} [şūrat^{un} の pl. 1] 姿、絵

şawāmi'^u [属・対格 şawāmi'a; şauma'at^{un} の pl.] (隠者の) 庵

şūf^{un} <男>(pl. aşwāf^{un}) 羊毛

ğubbat^{un} min şūfⁱⁿ 羊毛の外衣 <171>

şauma'at^{un} (pl. şawāmi'^u) (隠者の) 庵

şaiyād^{un} <男>(pl. şaiyādūna) 獵師、漁師

şayāqil^u [属・対格 şayāqilā; şaiqal^{un} の pl.

18-III] 刀劍研師

şayāqilat^{un} [şaiqal^{un} の pl. 18-III] 刀劍研師

şaid^{un} <男> 獵、狩り、漁

şīrā, şīrī, şīrū = şāra の命令形

şaiyara (yuşaiyiru; şāra II) 成らせる、~にする <212>

şaiqal^{un} (pl. şayāqil^{un}, şayāqilat^{un}) 刀劍研師

aş-şīn^u <女> シナ、中国

ض

ḍabb^{un} (pl. aḍubb^{un}, ḍibāb^{un}) 蜥蜴、とかげ

ḍabu'^{un} <女>(pl. ḍubu'^{un}, ḍibā'^{un}, aḍbu'^{un}) 鬣狗 (りょうく)、ハイエナ <159, 275>

ḍubu'^{un} [ḍabu'^{un} の pl. 3] 鬣狗、ハイエナ
ḍağira (yaḍğaru) (min に) 嫌気がさす、倦怠する、堪えられなくなる、堪らなくなる <83>

ḍaḥika (yaḍḥaku) ('alāy, min を) 笑う

ḍaḥyān^{un} (f. ḍaḥyānat^{un}) 陽に曝された <95>

ḍidd^{un} (pl. aḍḍād^{un}) 矛盾 (するもの)

ḍarra (yaḍurru) 害する、損なう、傷つける

ḍarrā'^u <女> (属・対格 ḍarrā'a; pl. ḍarrāwāt^{un}) 不幸、災害 <274>

ḍarrāwāt^{un} [ḍarrā'^u の pl.] 不幸、災害

ḍaraba (yaḍribu) 打つ、殴る、叩く、(針、劍で) 刺す、斬る <159, 183, 221>

darb^{un} <男女>[daraba の動名詞] 打つこと、打撃、殴打、殴ること、ひと殴り <169, 273>

dir^{un} (pl. dūr^{un}, adrās^{un}) 臼齒

darima (yaḍramu) (火が) 燃える

dūr^{un} [dir^{un} の pl. 6] 臼齒

daʿ, ḍaʿ, ḍaʿā, ḍaʿū, ḍaʿna = waḍaʿa 「置く」の命令形 <197>

ḍaʿufa (yaḍʿufu) 弱い、弱くなる

diʿ^{un} <男>(pl. adʿāʿ^{un}) 二倍 <100>

ḍafādiʿ^u [属・対格 ḍafādiʿa; ḍifdiʿ^{un} の pl.] 蛙 <99>

ḍifdiʿ^{un} <男>(pl. ḍafādiʿ^u) 蛙、力エル

diyāʿ^{un} [ḍaiʿat^{un} の pl. 5] 領地

ḍaiʿat^{un} (pl. ḍiyāʿ^{un}, ḍiyaʿ^{un}) 領地

ḍiyaʿ^{un} [ḍaiʿat^{un} の pl. 4] 領地

ḍaiʿ^{un} <男>(pl. ḍuyūʿ^{un}, ḍifān^{un}) 客

ḍifān^{un}, ḍuyūʿ^{un} [ḍaiʿ^{un} の pl.] 客

ط

tābaʿ^{un}, tābiʿ^{un} <男>(pl. ṭawābiʿ^u) 封印

tāʿat^{un} [tāʿat^{un} の pl.] 服従(の行為)、神の命に従って行なういろいろな行為

tāʿat^{un} (pl. tāʿat^{un}) 服従(の行為)、神の命に従って行なういろいろな行為

tāgūt^{un} <女>(pl. ṭawāgīt^u) 偶像 <275>

tāla (yaṭūlu, <ṭawala) 長引く、長くなる、長い

tāliq^{un} (pl. ṭawāliq^u) 離婚された

ṭabbāḥ^{un} <男>(pl. ṭabbāḥūna) 料理人 <118>

ṭabaḥa (yaṭbuḥu) 料理する

ṭabaq^{un} <男>(pl. aṭṭbiqat^{un}, aṭṭbāq^{un}) 蓋; 皿; (一皿の) 料理

ṭabīb^{un} <男>(pl. aṭṭibbāʿ^{un}) 医者

ṭaraḥa (yaṭraḥu) 投げる <68>

ṭaršāʿ^u [aṭraš^u の女性形; 属・対格 ṭaršāʿa; pl. ṭurš^{un}; 双数 ṭaršāwāni] 鬘の <96>

ṭurš^{un} [aṭraš^u, ṭaršāʿ^u の pl.] 鬘の

ṭarfāt^u [属・対格 ṭarfāt^a] (男名) タルフアト <94, 96>

ṭarīq^{un} <男女>(pl. ṭuruq^{un}, ṭurqāt^{un}) 途、道、道路

fi ṭ-ṭarīqⁱ = 途中で

ṭaʿām^{un} <男>(pl. aṭʿimat^{un}) 食物

ṣahwat^u li-ṭ-ṭaʿāmi 食欲

ṭalaba (yaṭlubu) (min に / から) 探す; 要求する、求める; 得ようとする

ṭalab^{un} <男>(pl. ṭalabāt^{un}; ṭalaba の名詞) 探求、探し求めること; 要求、注文

ṭalhat^u [pl. ṭalaḥāt^{un}; 属・対格 ṭalhat^a] (男名) タルハト <94, 96>

ṭalaʿa (yaṭluʿu) 登る、昇る、現われる

ṭalal^{un} (pl. aṭṭāl^{un}, ṭulūl^{un}) [ふつう pl. で] (家等の) 残骸、廃墟

ṭawābiʿ^u [属・対格 ṭawābiʿa; tābaʿ^{un} の pl. 16] 封印

ṭiwāl^{un} [ṭawīl^{un}, ṭawīlat^{un} の pl. 5] 長い、背が高い

ṭawāliq^u [属・対格 ṭawāliq^a; tāliq^{un} の pl. 16] 離婚された

aṭ-ṭulāʿ [ṭawīl^{un} の最上級女性形。3格同形] いちばん長い、背が高い

ṭawīl^{un} (f. ṭawīlat^{un}; pl. ṭiwāl^{un}; 比較級 aṭwal^u) 長い、背が高い

ṭaiyib^{un} (f. ṭaiyibat^{un}; pl. ṭaiyibūna) 良い

ṭair^{un} <男>(pl. ṭuyūr^{un}, aṭyār^{un}) 鳥

ز ط

zālim^{un} (zālama の能動分詞; pl. zālimūna, zālamat^{un}, zullām^{un}; 比較級 aẓlam^u)

無法な、暴虐な; 無法者、虐げる人、
压制者、暴君 <264>

zibā^{un} [zaby^{un} の pl. 5] 羚羊、カモシカ、
ガゼル

zaby^{un} <男>(pl. zibā^{un}, zubiyy^{un}, aẓbin)

羚羊、カモシカ、ガゼル

zubiyy^{un} [zaby^{un} の pl. 6] 羚羊、カモシカ、
ガゼル

zarīf^{un} (pl. ẓurafā^{un}) 優れた、上品な

zill^{un} <男>(pl. zillā^{un}) 影

zillā^{un} [zill^{un} の pl. 5] 影

zālama (yazlimu) 不当なことをする、暴
威を振るう、虐げる

ẓulmat^{un} (pl. ẓulumāt^{un}, ẓulam^{un}) 闇

ẓalīm^{un} (pl. ẓilmān^{un}, ẓulmān^{un}) (雄の)
ダチヨウ

ẓilmān^{un}, ẓulmān^{un} [ẓalīm^{un} の pl. 18] (雄
の) ダチヨウ

zam'ān^u (属・対格 ẓam'ān^a; f. ẓam'āy; pl.
ẓimā^{un}) 喉のかわいた <95, 96>

ẓanna (yazunnu) (anna と) 考える、思
う; (対格を対格と) みなす <110>

ع

'ātaba (yu'ātibu; 'ataba III) 咎める、叱る

'āda (ya'ūdu; <'awada) 還る; (未完了形
と) 再び~する; (fa に導かれた他の
動詞と) 再び~する <169, 259>

mā 'āda / lam ya'ud / lā ya'ūdu + 未完
了形 = もはや~しない、二度と再び
~しない [前の2つは過去。'āda は
主語に応じて変化]

lā ta'ud + 未完了形 = [ta'ud は性・数に
応じて変化] 二度と再び~するな

'ādil^{un} (f. 'ādilat^{un}; pl. 'ādilūna, 'udūl^{un})
正義を守る、正義を重んじる、正しい
'ādiyā [3格同形] (男名) アーディヤー
<145>

'ādiyā^u [属・対格 'ādiyā'^a] (男名) アーデ
ィヤー <95, 96>

'āraḍa (yu'āriḍu; 'araḍa III) (対格に) 反
対する、敵対する <75>

'āša (ya'āšu; <'ayaša) 生きる、生活する
<200>

'āšir^{un} (f. 'āširat^{un}) 第10の <177>

'āqaba (yu'āqibu; 'aqaba III) 罰する
<93>

'āqil^{un} (pl. 'āqilūna, 'uqalā^u; 'aqala の名
詞) 理性のある(人)、物事をよく考え
る(人)、賢明な(人)

'ālam^{un} <男>(pl. 'awālim^u) 宇宙、世界

'ālim^{un} <男>(pl. 'ulamā^u) 学者、(bi に)
通じている者

'āmir^{un} (男名) アーミル; 耕された、人
が住んでいる

'āmil^{un} <男>(pl. 'ummāl^{un}) 知事、地方長
官、アーミル; 労働者

'āmmat^{un} <女>(pl. 'awāmm^u) 俗衆、大衆、
一般人民

- ‘ā’il^{un} (pl. ‘ailā^y) 貧乏な
- ‘abada (ya‘budu) 崇める、崇拜する
<277>
- ‘abd^{un} <男>(pl. ‘ibdān^{un}, ‘ubdān^{un}, ‘abīd^{un},
ma‘badat^{un}, ‘ibād^{un}, ‘ubud^{un}, ‘ubūd^{un},
a‘bād^{un}, a‘bidat^{un}, a‘bud^{un}, ‘abud^{un},
‘ibiddān^{un}, ‘ibiddā^u, ‘ibiddā^y, ‘ibiddat^{un},
ma‘būdā^u) 奴隷、神の僕 <219>
- ‘abd^u l-ḥamīdⁱ アブドゥ・ル・ハミード
<90>
- ‘abd^u r-raḥmānⁱ アブドゥ・ル・ラハマ
ーン (= 慈愛あまねきものの僕)
<90, 137>
- ‘abd^u r-razzāqⁱ アブドゥ・ル・ラツザ
ーク <90>
- ‘abd^u l-‘azīzⁱ アブドゥ・ル・アズイー
ズ (= 威力大なるものの僕) <90>
- ‘abd^u l-lāhⁱ アブドッラー (= アッラー
の僕) <90>
- ‘ibdān^{un} [‘abd^{un} の pl. 18] 奴隷
- ‘ubdān^{un} [‘abd^{un} の pl. 19] 奴隷
- ‘uṭmān^u [属・対格‘uṭmān^a] (男名) ウス
マーン、オスマーン <94, 96>
- ‘aġā‘ib^u [属・対格‘aġā‘ib^a; ‘aġibat^{un} の pl.]
不思議(なもの/こと) <99>
- ‘aġā‘iz^u [属・対格‘aġā‘iz^a; ‘aġūz^{un} の pl.
17] 老女
- ‘aġūz^{un} <女>(pl. ‘aġā‘iz^u) 老女; 年老い
た(男性にも使う)
- ‘id, ‘idā = wa‘ada 「約束する」の命令形
<197>
- ‘udtu = ‘ada の1人称完了形 <169>
- ‘adas^{un} <男> 扁豆、レンズ豆
- ‘adl^{un} <男> 正義、公正、公道
- ‘adam^{un} <男> 無、非存在;(属格と)~
の欠如
- ‘idna, ‘idū = wa‘ada 「約束する」の命令
形 <197>
- ‘adūw^{un} <男>(pl. a‘dā^{un}) 敵 <109>
- ‘idī = wa‘ada 「約束する」の命令形
- ‘idāb^{un} [‘aḍb^{un}, ‘aḍbat^{un} の pl. 5] 甘い、心
地よい
- ‘aḍārin [‘aḍrā^u の pl. 23。定冠詞や属格名
詞で限定されると‘aḍārī] 処女 <144>
- ‘aḍārā^y [‘aḍrā^u の pl. 24] 処女
- ‘aḍb^{un} (f. ‘aḍbat^{un}; pl. ‘idāb^{un}) 甘い、心
地よい
- ‘aḍrā^u (属・対格‘aḍrā^a; pl. ‘aḍārin,
‘aḍārā^y) 処女
- ‘arab^{un} [集合名詞] アラビア人; アラビア
(人)の
- ‘urġ^{un} [a‘raġ^u, ‘arġā^u の pl. 2] 跛の
- ‘arġā^u [a‘raġ^u の女性形; 属・対格‘arġā^a;
pl. ‘urġ^{un}; 双数‘arġāwānī] 跛の
<96>
- ‘araḍa (ya‘riḍu) 差し出す、提供する
- ‘arafa (ya‘rifu) 知る、知っている
- ‘arūs^{un} <女> (pl. ‘arā‘is^u) 花嫁
- ‘arūḍ^{un} <女> 脚韻 <275>
- ‘arīḍ^{un} (f. ‘arīḍat^{un}; pl. ‘irāḍ^{un}; 比較級
a‘raḍ^u) (幅の) 広い
- ‘aziya (ya‘zā^y) 悲しみに堪える <212>
- ‘azzā^y (yu‘azzī; ‘aziya II) 慰める <212>
- ‘azīz^{un} (pl. a‘izzat^{un}) 壮大な;(pl. a‘izzā^u)
親愛な
al-‘azīz^u 威力大なるもの(=神)
- ‘usr^{un} <男> 艱難、困窮、逆境
- ‘askar^{un} <男> [集合名詞] 軍隊

'asal^{un} <男> 蜜、蜂蜜
 'assala (yu'assilu; 'asala II) 蜜を集める、
 蜜を作る、甘くする
 'iš = 'āša 「生きる、生活する」の命令形
 <200>
 'ašr^{un} [男性形。女性名詞と] 10 <123>
 'ušr^{un}, 'ušur^{un} (pl. a'šār^{un}) 十分の一
 <203>
 'ušr^u l-'ušrⁱ 百分の一 (十分の一の十分
 の一) <203>
 'ašarat^{un} [女性形。男性名詞と] 10
 <123>
 'ašarat^u ālāfⁿ [男女共通] 10000
 'išrūna [男女共通。属・対格'išrīna] 20 ;
 第 20 の <153, 178>
 'išna = 'āša 「生きる、生活する」の命令
 形 <200>
 'ašan <女>(アリフを書く。定冠詞や属格
 名詞で限定されると'ašā。3 格同形。
 pl. 'uṣīy^{un}, 'iṣīy^{un}; 双数'ašawāni) 杖、
 棒 <143, 275>
 'ašāfir^u [属・対格'ašāfirā; 'uṣfūr^{un} の pl.]
 雀、小鳥
 'iṣām^{un} 瓶の柄、支え(物を支える部分)、
 革紐 <36>
 'uṣfūr^{un} <男>(pl. 'ašāfir^u) 雀、小鳥
 'ašāy (ya'šī) 反抗する、命令に背く<88>
 'iṣīy^{un}, 'uṣīy^{un} ['ašan の pl. 6] 杖、棒
 'uṣāfir^{un} 小雀
 'aḍḍa (ya'aḍḍu) 嘔む、嘔みつく <112,
 189>
 'atā (ya'tū; <'atāwa) 受ける、取る<171>
 'atā^{un} (pl. 'atīyat^{un}, a'tīyat^{un}, a'tiyāt^{un}) 贈
 り物、施し物

'itāš^{un} ['atšān^u, 'atšāy の pl. 5] 喉の渴い
 た
 'atasa (ya'tusu, ya'tisu) くしゃみをする
 'atšān^u (属・対格'atšānā; f. 'atšāy; pl.
 'itāš^{un}, 'atšāy, 'atāšāy) 喉の渴いた
 <95, 96>
 'afīyat^{un} ['atā^{un} の pl.] 贈り物、施し物
 al-'uẓam^u [al-'uẓmāy の pl. 1] 最も偉大な
 al-'uẓmāy ['azīm^{un} の最上級女性形。3 格
 同形] いちばん偉大な
 'azīm^{un} (f. 'azīmat^{un}; pl. 'izām^{un}, 'uzamā^{'u};
 比較級 a'zam^u) 大きい、偉大な
 'afā (ya'fū; <'afawa)(an を)赦す <180>
 'afārin ['ifriyat^{un} の pl. 23。定冠詞や属格
 名詞で限定されると'afārī] 鶏頸の長
 い羽毛 <144>
 'ifriyat^{un} (pl. 'afārin) 鶏頸の長い羽毛
 'iqāb^{un} 罰
 'uqāb^{un} <女>(pl. a'qub^{un}, 'iqbān^{un}) 鷲
 <275>
 'aqaba (ya'qubu) ついていく、追いか
 ける、追跡する
 'aqrab^{un} <女>(pl. 'aqārib^u) 蠍、サソリ ;
 時計の針 <275>
 'aqala (ya'qilu) 理性を働かせる、理性的
 である
 'aql^{un} <男>(pl. 'uqūl^{un}) 理性、思考力、賢
 さ、精神、知(性)
 'aqlīy^{un} (f. 'aqlīyat^{un}) 知的な、合理的な
 <165>
 'uqūl^{un} ['aql^{un} の pl.] 理性
 'uqairib^{un} [<'aqrab^{un}] 小蠍、小さいサソリ
 <271>
 'ala [定冠詞の前の'alāy の読み方。綴りは

- 同じ]
- ‘allān^{un} (f. ‘allānat^{un}) 無知な <95>
- ‘ilāwat^{un} <女>(pl. ‘alāwāy) 上部
- ‘alāwāy [‘ilāwat^{un} の pl. 24] 上部
- ‘alaf^{un} (pl. ‘ulūfat^{un}, a‘lāf^{un}) 糧秣、飼料、餌
- ‘alima (ya‘lamu) (対格、bi, anna, bi-anna を) 知る、知っている
- ‘allama (yu‘allimu; ‘alima II) (対格に対格を) 教える、知らせる
- ‘ilm^{un} <男>(pl. ‘ulūm^{un}) 知識、学問、科学
- ‘ulamā’u [属・対格‘ulamā’a; ‘ālim^{un} の pl. 20] 学者
- ‘ilmīy^{un} (f. ‘ilmīyat^{un}) 学問的な <165>
- ‘ulūfat^{un} [‘alaf^{un} の pl. 26] 糧秣、飼料、餌
- ‘ulūm^{un} [‘ilm^{un} の pl.] 学問、知識
- ‘alāy [前置詞。人称代名詞と結びつくときは‘alāiと読む。定冠詞が続くときは‘alaと短く読む] ~の上に、~に接して、~に面した; ~を用いて; ~にもかかわらず <44, 97, 191>
- al-‘ulāy [a‘lāy, al-‘ulyā’u の pl. 1] 最高の
- al-‘ulyā’u [女性形] 最高の
- ‘alīy^{un} 高さにある
- ‘alīm^{un} (bi について) 学識のある、(神が) 全知の
- ‘amm^{un} <男>(pl. ‘umūmat^{un}, a‘mām^{un}) (父方の) 叔父
- ‘ammā = ‘an mā
- ‘imād^{un} (pl. ‘umud^{un}, ‘amad^{un}) 天幕の柱、支柱、柱
- ‘umud^{un} [‘imād^{un}, ‘amūd^{un} の pl. 3] 天幕の柱、支柱、柱
- ‘umr^{un} <男>[誓言のときは‘amr^{un}と読む] 生涯、年齢 <147>
- la-‘amrī = 本当に、誓って、必ずや、私の生涯 / 命にかけて
- ‘amr^{un} (男名) アムル [‘umar^uと区別するため末尾に وがつく。属格は同じ綴りで‘amrⁱⁿと読む。対格は وがアリフに変わって‘amr^{an}] <105>
- ‘umar^u [属・対格‘umar^a] (男名) ウマル、オマル <90, 94, 96>
- ‘umar^u bn^u l-ḥattābī オマル・ブン・ハッターブ (第二代カリフ) <250>
- ‘amila (ya‘malu) 為す、する、働く <202>
- ‘amal^{un} <男>(pl. a‘māl^{un}) 行為、仕事、作品
- ‘amūd^{un} <男>(pl. ‘umud^{un}, a‘midat^{un}) 柱
- ‘umūmat^{un} [‘amm^{un} の pl. 26] (父方の) 叔父
- ‘umy^{un} [a‘māy, ‘amyā’u の pl.] 盲目の
- ‘amyā’u [a‘māy の女性形; 属・対格‘amyā’a; pl. ‘umy^{un}; 双数‘amyāwāni] 盲目の <96>
- ‘amīq^{un} (f. ‘amīqat^{un}) 深い
- ‘umyān^{un} [a‘māy の pl. 19] 盲目の
- ‘an [前置詞] ~について、~から離れて、~から遠ざかって、~の代わりに
- ‘an qalīlⁱⁿ 間もなく、やがて
- ‘anāq^{un} (pl. a‘nuq^{un}, ‘unūq^{un}) 仔山羊
- ‘inān^{un} (pl. ‘unun^{un}, a‘innat^{un}) 手綱
- ‘inab^{un} <男>(pl. a‘nāb^{un}) 葡萄
- ‘andalīb^{un} (pl. ‘anādīl^u) 鶯、ウゲイス、ナイテイングール
- ‘unuq^{un} <男>(pl. a‘nāq^{un}) 頸、首
- ‘ankabūt^{un} <女。まれに男> (pl. ‘anākīb^u)

蜘蛛、クモ <147>
 ʿunun^{un} [ʿinān^{un} の pl.] 手綱
 ʿunaidil^{un} 小さな鶯 <271>
 ʿunaikib^{un} 小さな蜘蛛 <271>
 ʿawāmm^u [属・对格 ʿawāmm^a; ʿāmmat^{un}
 の pl. 16] 俗衆、大衆、一般の人
 ʿawān^{un} (pl. ʿūn^{un}) 中年の既婚婦人
 ʿūd^{un} <男>(pl. ʿīdān^{un}, aʿwād^{un}) 木片、
 枝 ; (楽器名) ウード
 ʿūrān^{un} [aʿwar^u の pl. 19] 片目の
 ʿūn^{un} [ʿawān^{un} の pl. 2] 中年の既婚婦人
 ʿīd^{un} <男>(pl. aʿyād^{un}) 祝祭
 ʿīdān^{un} [ʿūd^{un} の pl. 18] 木片、枝
 ʿīr^{un} <女>(pl. ʿīrāt^{un}) キャラバン <275>
 ʿīšā, ʿīšū, ʿīšī = ʿāša 「生きる、生活する」
 の命令形 <200>
 ʿailāy [ʿāʿil^{un} の pl. 22] 貧乏な
 ʿain^{un} <女> (pl. ʿuyūn^{un}, aʿyan^{un}, aʿyān^{un})
 眼 ; (pl. ʿuyūn^{un}, aʿyun^{un}) 泉 ; (pl. aʿyān^{un})
 特質、本質、傑出した人 <219>
 ʿuyūn^{un} [ʿain^{un} の pl.] 眼 ; 泉

ġ ġ

ġāʿib^{un} (pl. ġuyyab^{un}, ġāʿibūna) (ʿan に)
 不在の、欠席した
 ġidāʿ^{un} <男>(pl. aġdiyāt^{un}) 食料
 ġurāb^{un} <男>(pl. aġribāt^{un}, ġirbān^{un}) 烏、
 鴉
 ġirbān^{un} [ġurāb^{un} の pl. 18] 烏、鴉
 ġartān^u [属・对格 ġartān^a; f. ġartāy] 空腹
 の <95, 96>
 ġard^{un} (pl. ġiradat^{un}) 松露

ġiradat^{un} [ġard^{un} の pl. 11] 松露
 ġurar^{un} [ġurrat^{un} の pl. 1] 流星 (馬の肩に
 ある白斑)
 ġarasa (yaġrisu) 植える
 ġarġara (yuġarġiru; 4 語根 I) うがいする
 <257>
 ġurfat^{un} <女>(pl. ġuraf^{un}) 部屋
 ġariqa (yaġraqu) (水中に) 沈む、溺れる
 ġurrat^{un} (pl. ġurar^{un}) 流星 (馬の肩にある
 白斑。尊いものの髻えに使う) 最も秀
 でたもの ; 始まり
 ġazā (yaġzū; <ġazawa) 略奪する <81>
 ġazāl^{un} <男>(pl. ġizlat^{un}, ġizlān^{un}) 羚羊、
 カモシカ、ガゼル
 al-ġaz(z)āliyy^u アル・ガ (ツ) ザーリー
 <37, 272>
 ġizlān^{un} [ġazāl^{un} の pl. 18] 羚羊、カモシ
 カ、ガゼル
 ġizlat^{un} [ġazāl^{un} の pl. 12] 羚羊、カモシカ、
 ガゼル
 ġasala (yaġsilu) 洗う
 ġuṣn^{un} <男> (pl. ġiṣanat^{un}, aġṣān^{un},
 ġuṣūn^{un}) 枝
 ġiṣanat^{un} [ġuṣn^{un} の pl. 11] 枝
 ġiḍāb^{un} [ġaḍbān^u, ġaḍbāy] の pl. 5] 立腹し
 た
 ġaḍbān^u [属・对格 ġaḍbān^a; f. ġaḍbāy; pl.
 ġiḍāb^{un}, ġaḍbāy, ġaḍbāy] 立腹した
 <95, 96>
 ġaḍbāy [ġaḍbān^u の f. および pl. 22] 立
 腹した
 ġatafān^u [属・对格 ġatafān^a] (男名) ガ
 タファーン <94, 96>
 ġafara (yaġfiru) (li を) 赦す

galā (yaǧlū; <ǧalawa) (価が) 高まる、
 高くなる <81>
 ǧulām^{un} <男>(pl. ǧilmāt^{un}, ǧilmān^{un}) 若
 者、少年、男の子；奴隷
 ǧilmān^{un}, ǧilmāt^{un} [ǧulām^{un} の pl. 18] 若
 者、少年；奴隷
 ǧilmāt^{un} [ǧulām^{un} の pl. 12] 若者、少年；
 奴隷
 ǧaniya (yaǧnāy) 金持ちである
 ǧannāy (yugannī; ǧaniya II) 歌う
 ǧaniy^{un} (pl. aǧniyā^u) 金持ちの
 ǧaiy^{un} 迷い、迷夢
 ǧuyyab^{un} [ǧā'ib^{un} の pl. 7] 不在の
 ǧair^{un} ~以外のもの、別の(人、物)
 ǧair^u [名詞、形容詞属格の前で、それ
 を否定する] ~でない <55>
 ǧair^a (属格と) ~を除いて、~以外
 に
 bi-ǧairi + 属格 = ~なしで / の、~のな
 い、~を欠いた
 atāy bi-ǧairi-hi それとは別のものを持
 ってくる、彼とは別の男を連れて来
 る
 ǧuyur^{un} [ǧayūr^{un} の pl. 3] 嫉妬深い
 ǧayūr^{un} (pl. ǧuyur^{un}) 嫉妬深い

ف

fa- そこで、それで、すると、そしたら、
 そうすれば、そのために、そのときは、
 それから、そうしておいてから、かく
 て、かくして、それを聞いて、ところ
 が、しかるに、それゆえ、だから、そ

れなのに、その結果かえって、なぜな
 ら；[条件文に答える文の文頭に置かれ
 る] そうならば、すなわち、そのとき
 は <182, 236, 237>；[未完了接続形
 と。=hattāy] ~するように、~するま
 で、~しようとして <87>；[命令文
 + fa / fa-inna。命令文は「もし~なら、
 ~するにしても、~したところで」と
 いう条件文の役割をする] というのは
 ~だから、なぜなら、要するに、それ
 では、結局(...だから) <71, 129, 201>
 ammā ... fa ~ = ...について言えば~
 だ
 in A fa B = もし A なら、そのときは B
 だ (B は名詞文か命令文) <182>
 fa-idā = というのももし~だと...だ
 からだ <69, 71>；すると(はから
 ずも) (→idā) <168, 255>
 fi [定冠詞が続くときの fi の読み。綴り
 は同じ]
 fā → fam^{un}
 fāta (yafūtu; <fawata; qāla と同変化) (時
 が) 過ぎ去る
 fa'r^{un} <男>(pl. fi'rān^{un}) ネズミ、鼠
 fāraqa (yufāriqu; faraqa III) (対格と) 離
 別する、別れる <202>
 fāris^{un} <男>(pl. fawāris^u) 騎者、騎士
 fāṭimat^u <女>[属・対格 fāṭimat^u] (女名)
 ファーティマ <94, 96>
 fākihat^{un} <女>(pl. fawākih^u) 果物
 fa-inna というのは、なぜなら、要する
 に、それでは、結局(...だから) <71,
 201>
 fa-innī = fa-inna-nī なぜなら私は

- fa'sun <女> (pl. fu'ūsun) 斧 <275>
- fatātun <女>(pl. fatayātun; fatan の女性形)
娘、若い女
- fatāwin [fatwāy の pl. 23。定冠詞や属格名
詞で限定されると fatāwī] 法文解釈例
<144>
- fataḥa (yaftaḥu; 命令形 iftaḥ) 開く
<196>
- futūwun [fatan の pl.] 青年、若者 <219>
- fatawāni [fatan の双数] 二人の若者
- fatwāy (pl. fatāwin) 法文解釈例
- fatan <男>(سを書く。定冠詞と fatāy。 pl.
fityānun, fityatun, futūwun, fitīyun, futīyun)
青年、若者 <143, 219>
- futaiyun 小僧っ子 <271>
- fitīyun, futīyun [fatan の pl.] 青年、若者
- fatayāni [fatan の双数] 二人の若者
- fityānun [fatan の pl. 18] 青年、若者
- fityatun [fatan の pl. 12] [3 ~ 10 人の間の)
青年 <219>
- faḥiqun (pl. affḥāqun, faḥqun, fiḥqun) 腿
- fidan [سを書く。定冠詞と fidāy。 3 格同
形] 賠償 (金); 犠牲者 <142>
- fidāy A または fidā + 人称代名詞 = ~ の
あがない / 身代わりである (相手の
親切な言葉や行為に感激したときな
どに使う一種の感嘆文) <245>
- farra (yafirru) 遁れる、逃亡する <110,
189>
- firāšun <男>(pl. furušun, afrišatun) 寝床、
ベッド
- farağun <男> (特に悲しみのあとにくる)
喜び、安心、幸福
- fariḥa (yafraḥu) 喜ぶ <51>
- farraḥa (yufarriḥu; fariḥa II) 喜ばせる
- farḥun <男>(pl. afriḥatun, afrāḥun, furūḥun)
雛鳥 ; 芽
- farada, faruda (yafrudu) 孤独である、一
人である
- al-firdausu <女>(pl.farādīs)天国 <275>
- farasun <男女>(pl. afrāsun) 馬
- farasa (yafriṣu) (猛獣が) 食らう、食い
裂く
- fursun [集合名詞] ペルシア人
- furušun [firāšun の pl. 3] 寝床、ベッド
- faraqa (yafruqu, yafriqu) 分かつ、分ける、
別にする
- farraqa (yufarriqu; faraqa II) 分離させる、
四分五裂させる
- fazi'a (yafza'u) ぎよつとする、怖れる
- fašā (yafšū; <fašawa)(秘密が) 洩れる、
拡がる
- faḍala (yafḍulu) (対格より) 優れている
- faḍīlun (pl. fuḍalā'u; 比較級 afḍalu) 優れた
た
- fazāzatun 冷酷さ
- fa'ala (yaf'alu) (対格を bi に対して) す
る、行なう、為す <262>
- fi'lun <男>(pl. af'alun, fi'alun) 行為、所業
- fuqqā'atun (pl. faqāqī'u) 水泡
- faqāqī'u [属・対格 faqāqī'a; fuqqā'atun の
pl. 18-II] 水泡
- fuqarā'u [属・対格 fuqarā'a; faqīrun の pl.
20] 貧しい (人)
- faqaṭ [副詞。文・語のうしろで] ~ だけ
- faqīrun (pl. fuqarā'u; f. faqīratun) 貧しい
(人)
- faqīhun (pl. fuqahā'u) (コーラン学校の)

先生
fakkara (yufakkiru; fakara II) 考える、思索する <169>
fal- [<fa+li>] [1人称複数未完了短形と] さあ~しようではないか; [3人称単数未完了短形と。強意の命令] ~させろ <181>
falāsifat^{un} [failasūf^{un} の pl. 18-III] 哲学者
fulān^{un} <男>(f. fulānat^u) 誰々、某 <117>
falak^{un} <男>(pl. fuluk^{un}, aflāk^{un}) 天体、天球
fuluk^{un} [falak^{un} の pl. 3] 天体、天球
fam^{un} <男>[属格や代名詞がつくと fū, fi, fā と変化; fam^u, famⁱ, fam^a という変化もあり。pl. afwāh^{un}; 双数 famawāni, famāni] 口 <139>
fi fam-hi, fi fi-hi = 彼の口の中に
fanā^{un} [faniya の名詞] 消滅、滅亡、消失; 仮初めのはかないもの
faniya (yafnāy) 消え去る、滅びる
fahima (yafhamu) 理解する
fū → fam^{un}
fu'ād^{un} (pl. afidat^{un}) 心
fawāris^u [属・対格 fawāris^a; fāris^{un} の pl. 16] 騎者、騎士
fawākih^u [属・対格 fawākih^a; fākihāt^{un} の pl. 16] 果物
fauqa [前置詞] ~の上に、~を超えた
fi [前置詞。定冠詞が続くと同じ綴りで fi と読む] ~の中に / で、~において、~について、~といっしょに、~のために、~と比べて <24, 44, 244>
fi ṭ-ṭarīqⁱ 途中で
fi → fam^{un}

fiṭāgūrus^u [属・対格 fiṭāgūrus^a] ピタゴラス <230>
fi'rān^{un} [fa'r^{un} の pl. 18] 鼠、ネズミ
failasūf^{un} <男>(pl. falāsifat^{un}) 哲学者
fi-mā ~する間に、~しつつ、~の中で <221>

ق ج

qi = waqāy 「護る」の命令形 <198>
qātala (yuqātilu; qatala III) 殺そうとする、殺そうと努力する、互いに殺そうとし合う、戦う <222>
qātala l-lāh^u A = 神が A を殺そうとし給わんことを = ちえっ、うまい (ことを言う) 奴だ [祈願を表わす完了形で、呪いや感嘆の表現] <251>
qātil^{un} (pl. qatalat^{un}; f. qātilat^{un}; qatala の能動分詞) 殺すところの (人)
al-qāšānīy^u アル・カーシャーニー (イスラームの法学者。†1107) <238>
qāḍāy (yuqāḍī; qaḍāy III) (対格を) 裁判官に訴えてその面前に喚び出す <224>
qāḍin <男>[属格 = 主格。対格 qāḍiy^{an}。pl. quḍāt^{un}, qāḍūna。定冠詞や属格名詞で限定されると qāḍī。qāḍāy の能動分詞] 裁判官 <143, 144>
qā^{un} (pl. qī'at^{un}, qī'ān^{un}) 平地
qā'id^{un} (pl. qu'ūd^{un}; qa'ada の能動分詞) 坐っている
qāla (yaqūlu; <qawala>) (li に対格を、inna を) 言う、語る、約束する <37, 49, 60,

117, 161, 190, 198, 266, 267>
 qālab^{un}, qālib^{un} (pl. qawālib^u) 鋳型
 qāma (yaqūmu; <qawama) 起きる、立つ ; 栄える ; (bi を) 行なう ; (ilāy のほうへ) 行く、進み出る ; (未完了形と) ~し始める <187, 190, 197>
 qānit^{un} (f. qānitat^{un}; qanata の能動分詞) 篤信の人、言いつけを守る人
 qānūn^{un} <男>(pl. qawānīn^u) 法律 ; (楽器名) カーヌーン
 qāwama (yuqāwimu; qāma III) 対抗して立つ、防禦する <223>
 qā'il^{un} (pl. qā'ilūna; qāla の能動分詞) 言う (人)
 qāla qā'il^{un} 誰かが言った <168>
 qā'il^{an} [副詞的対格] 言いながら
 qā'im^{un} (pl. qiyām^{un}, qiyāmūna, quwwām^{un}; qāma の能動分詞) 立っている
 qubab^{un} [qubbat^{un} の pl. 1] 円蓋
 qabuḥa (yaqbuḥu) 醜い
 qabara (yaqburu) 埋葬する
 qabila (yaqbalu) 受け入れる、承認する
 qubila (yuqbalu) = qabila の受動
 qabbala (yuqabbilu; qabila II) キスをする
 qubbat^{un} <女>(pl. qubab^{un}) 円蓋
 qatādat^u [属・対格 qatādat^a] (男名) カターダト <94, 96>
 qitāl^{un} = qātala の動名詞 <222>
 qatala (yaqtulu) 殺す <31, 47, 51, 66, 78, 86, 267>
 qattala (yuqattilu; qatala II) 殺戮する、虐殺する <211>

qatī^{un} <男>[qatala の動名詞] 殺害、殺すこと、殺人
 qatlāy [qatī^{un} の pl. 22] 殺された (人)
 qatīl^{un} (pl. qatlāy) 殺された (人)
 qad [副詞] (完了形と) すでに、もう、確かに、ちゃんと、案の定、案に相違して ; すでに~してしまっていた、かつて~したことがある ; (未完了形と。不確かさ、不確定性を表わす) ひょっとしたら、あるいは~だろう、~かも知れない、たぶん~だろう、滅多に~しない <92>
 la-qad [次に来る完了形の動詞を強める] ほんとうに、すでに <221>
 wa-la-qad [2つの文をつなげるための調子の良い言葉として] されば、だが、そして、実に、すでに <148>
 wa-qad [未完了形または完了形の肯定。先行文の付随的状況・事情を表わす。qad だけでも可] <167>
 qidāḥ^{un} [qidḥ^{un} の pl. 5] 弓の矢
 qadaḥ^{un} (pl. aqdāḥ^{un}) 盃
 qidḥ^{un} (pl. qidāḥ^{un}) 弓の矢
 qadara (yaqdiru, yaqduru) (‘alāy が) できる <221>
 qadama (yaqdumu) 先頭に立って進む
 qaddama (yuqaddimu; qadama II) 先頭に進める、前に推す ; (対格を ilāy に) 提出する、差し出す、勧める、紹介する <126>
 qadūm^{un}, qaddūm^{un} <女> (pl. qadā'im^u) 手斧 <275>
 qadīm^{un} (pl. qudāmā^u, qudāmāy) 古い、古い、昔の、古代の (人)

- qaḍāl^{un} (pl. quḍul^{un}) 項背、後頭部
 quḍul^{un} [qaḍāl^{un} の pl. 3] 項背、後頭部
 qarra (yaqirru) 固着する、定まる<113>
 qurād^{un} (pl. qurud^{un}, qirdān^{un}) 駱駝につく
 鼠
 al-qur'ān^u <男> コーラン
 qarraba (yuqarribu; qaruba II) (対格を
 min に) 近づける
 qur(u)bat^{un} (pl. qurubāt^{un}) 善行
 qird^{un} <男>(pl. qiradat^{un}, qurūd^{un}) 猿
 qurud^{un} [qurād^{un} の pl. 3] 駱駝につく鼠
 qiradat^{un} [qird^{un} の pl. 11] 猿
 qirš^{un} <男>(pl. qurūš^{un}) キルシユ (貨幣
 単位、銀貨)
 qurašiy^{un} クライシユ族の (人) <109>
 qarn^{un} <男>(pl. qurūn^{un}) 角 ; 世紀
 qurūn^{un} [qarn^{un} の pl.] 角 ; 世紀
 quran [سを書く。定冠詞と qurāy。3 格同
 形。qaryat^{un} の pl. 1] 村 <142>
 qarīb^{un} (pl. aqārib^u; 比較級 aqrab^u) 近い
 <137>
 qaryat^{un} <女>(pl. quran) 村
 qasama (yaqsimu) (ilāy に) 分ける
 qism^{un} <男>(pl. aqsām^{un}) 部分、部門
 qismat^{un} <女>(pl. qisam^{un}) 分け方、分割
 qaṣṣa (yaquṣṣu) はさみで切る、截つ ;
 ('alāy に) 物語る
 qiṣā'^{un} [qaṣ'at^{un} の pl. 5] 椀
 qaṣabat^{un} <女> 葦 <110>
 qaṣada (yaqṣidu) (対格を) 目指す
 qaṣara (yaqṣuru) 欠く
 qaṣṣara (yuqaṣṣiru; qaṣara II) (仕事を)
 しない、成し遂げない、放棄する、怠
 ける、怠る <91>
- qaṣ'at^{un} <女>(pl. qiṣā'^{un}, qaṣa'āt^{un}) 椀
 qiṣṣat^{un} <女>(pl. qiṣas^{un}) 物語
 qaṣīr^{un} (pl. qiṣār^{un}) 短い、背が低い
 quḍāt^{un} [qāḍin の pl. 10] 裁判官
 quḍub^{un} [qaḍīb^{un} の pl. 3] 杖、枝
 qaḍima (yaqḍamu), qaḍama (yaqḍimu)
 がりがり噛む、かじる
 qaḍāy (yaqḍī) 裁判する
 qaḍīb^{un} (pl. quḍub^{un}, quḍbān^{un}) 杖、枝
 qaṭṭ^u [副詞。否定詞および完了形の後ろ
 で] 決して~でない、まだ~でない
 qiṭṭ^{un} <男>(pl. qiṭaṭ^{un}) (雄) 猫
 qiṭtat^{un} <女> (雌) 猫
 qaṭr^{un} <男> 滴
 qaṭrat^{un} <女> 一滴
 qaṭa'a (yaqṭa'u) 切断する ; 横切る ; (長
 い距離を) 行く
 qiṭa'^{un} [qiṭ'at^{un} の pl. 4] (断) 片、部分、
 部品
 qiṭ'at^{un} <女>(pl. qiṭa'^{un}) (断) 片、部分、
 部品
 qu'ūd^{un} [qā'id^{un} の pl. 6] すわっている
 (人)
 qufl^{un} <男>(pl. aqful^{un}, aqfāl^{un}) 錠
 qul = qāla 「言う」の命令形 <198>
 qalla (yaqillu) 少ない、少なくなる、少な
 くある
 qalb^{un} <男>(pl. qulūb^{un}) 胸、心
 qulta, qulti, qultu, qultum, qultumā,
 qultunna = qāla の完了形
 qallala (yuqallilu; qalla II) 少なくする、
 減らす <212>
 qulina = qāla 「言う」の命令形 2 人称複数
 女性 <198> ; 完了形 3 人称複数女性

「彼女たちは言った」
 qulnā = qāla の完了形 1 人称複数「我々
 は言った」
 qalīl^{un} (pl. qalā' il^u, qalīlūna; 比較級
 aqall^u) 少ない ; (名詞属格と) ~ の少
 ない
 'an qalīlⁱⁿ 間もなく、やがて、少しあと
 で <147>
 qum, qumna = qāma 「起きる、立つ」の
 命令形 <197>
 qū = waqāy^u 「護る」の命令形 <198>
 qawālib^u [qālab^{un} の pl. 16] 鋳型
 qūt^{un} <男>(pl. aqwāt^{un}) 食料、食糧
 qaus^{un} <男>(pl. aqwās^{un}, qusīy^{un}, qisīy^{un})
 弓
 qaul^{un} <男>(pl. aqwāl^{un}) (fi についての)
 言い分、意見、言葉 <244>
 qūlā, qūlū, qūlī = qāla 「言う」の命令形
 <198>
 qaum^{un} <男>(pl. aqwām^{un}) [集合名詞] 民
 族、人々
 qauwama (yuqauwimu; qāma II) 立てる
 <212>
 qūmā, qūmū, qūmī = qāma 「起きる、立
 つ」の命令形 <197>
 qī, qiyā = waqāy^u 「護る」の命令形 <198>
 qayāširat^{un} [qaišar^u の pl. 18-III] ローマ
 皇帝、カイサル
 qiyām^{un} [qā'im^{un} の pl. 5] 立っている
 (人); 起立、行なうこと
 qaišar^u (属・对格 qaišar^a; pl. qayāširat^{un})
 ローマ皇帝、カイサル
 qī'at^{un} [qā'^{un} の pl. 12] 平地
 qīla (yuqālu) [qāla の受動] (それは、彼は)

言われた、誰かが言った、次のような
 説もある
 qīmat^{un} <女>(pl. qiyam^{un}, aqyām^{un}) 価
 qīna = waqāy^u 「護る」の命令形 <198>

k j

ka- [前置詞] ~ のごとき、~ のような /
 に、~ として ; ~ のようなもの
 -ka [人称代名詞連結形、2 人称単数男
 性、属格・对格] <40>
 -ki [人称代名詞連結形、2 人称単数女性、
 属格・对格] <40>
 kātib^{un} (pl. kātibūna, kuttāb^{un}, katabat^{un}; f.
 kātibat^{un}; kataba の能動分詞) 書いて
 いる (人), 書く人、書記、作家
 kāda (yakādu; <kawida) (未完了形また
 は an + 接続形と) 危うく / もうちょっ
 とで / すんでのところで ~ するところ
 だった、今にも ~ しそうだ、まさに ~
 するところだ ; (否定と) ほとんど ~ し
 ない、滅多に ~ しない、~ しないも同
 然だ <260>
 ka'sun <女> (pl. ku'ūs^{un}, ka'sāt^{un}) 盃
 <275>
 kāfir^{un} <男>(pl. kuffār^{un}, kuffārūna) 異端
 者、イスラームを信じない人
 kāmil^{un} (pl. kamalat^{un}) 完全な、全部(の)
 kāna (yakūnu; <kawana) ~ である ; ある、
 いる ; ~ になる、生じる <60, 71, 182,
 187, 190>
 kāna A B = inna A kāna B = A は B で
 あった (B は对格)

- kāna + (qad) + 完了形 = 過去完了 (条件文において過去を表わすときもこの形を使う <182>)
- kāna + 未完了形 = [過去進行形、過去における習慣的行為] ~していた、~しているところだった、~し続けた、~する習慣だった、何度も~した、いつも~していた <71>
- kāna + 主格 = ~が存在する、生じる
- kāna の未完了形 + 対格 = [未来を示し] ~になる
- kāna の未完了形 + 完了形 = 未来完了
- in kāna + 完了形 = 過去における条件 (in kāna ḡahaba もし彼が行ったのであったなら、in kuntu ḡahabtu もし私が行ったのであったなら)
- kibār^{un} [kabīr^{un}, kabīrat^{un} の pl. 5] 大いなる、年を取った、大きい
- kabid^{un} <男女>(pl. kubūd^{un}, akbād^{un}) 肝臓
- kabura (yakburu) 大きい、大きくなる、成長する
- kabira (yakbaru) 年を取る
- kibr^{un} 高慢、傲慢
- al-kubar^u [kabīr^{un} の最上級 pl. 1] 最大の
- al-kubrā^y [kabīr^{un} の最上級女性形。3格同形] いちばん大きい
- kubūd^{un} [kabid^{un} の pl. 6] 肝臓
- kabīr^{un} (pl. kibār^{un}; f. kabīrat^{un}; 比較級 akbar^u) 大きい、年を取った、大いなる
- kitāb^{un} <男> (pl. kutub^{un}) 本
- kitābī 私の本は / の / を
- kataba (yaktubu) 書く <31, 66, 85, 265>
- kutub^{un} [kitāb^{un} の pl. 3] 本
- katif^{un} <女>(pl. aktāf^{un}) 肩
- kuṭbān^{un} [kaṭīb^{un} の pl. 19] 砂丘
- kaṭub^{un} (pl. kuṭub^{un}) 砂丘
- kuṭub^{un} [kaṭub^{un} の pl. 3] 砂丘
- kaṭura (yakturu) 多い、多くなる、増える、たくさんある
- kaṭīb^{un} (pl. kuṭbān^{un}) 砂丘
- kaṭīr^{un} (pl. kaṭīrūna, kiṭār^{un}; 比較級 akṭar^u) 多い、多くの (人)
- kaḡā (明言を避けて) これこれ
- A kaḡā = これこれの A (kaḡā は属格) <186>
- kaḡḡāb^{un} (pl. kaḡḡābūna) 大嘘つき、嘘ばかりついている男 <118>
- kaḡaba (yakḡibu; 能動分詞 kaḡib^{un}) 嘘を言う、嘘をつく、欺く
- kaḡḡaba (yukaḡḡibu; kaḡaba II) (誰かを) 嘘つきだと言う / 判断する
- kiḡb^{un}, kaḡib^{un} <男> 嘘、嘘をつくこと
- kaḡālika そのようにして、そういう調子で
- kaḡālika ḡattā^y ~ = そのようにしてついに ~ <263>
- karāsīy^u [属 対格 karāsīy^a; kursīy^{un} の pl.] 椅子 <99>
- kirām^{un} [karīm^{un}, karīmat^{un} の pl. 5] 高雅な、高尚な
- karb^{un} (pl. kurūb^{un}) 悲哀
- kursīy^{un} (pl. karāsīy^u, karāsin) 椅子
- kirš^{un}, kariš^{un} <女> (pl. akrāš^{un}, kurūš^{un}) (動物の) 胃袋 <275>
- karam^{un} <男> 気前の良さ、寛大さ、物を恵むこと

karawān^{un} (pl. kirwān^{un}, karāwīn^{un}) 鷓鴣
(の一種。キジ科)

kirwān^{un} [karawān^{un} の pl. 18] 鷓鴣(の一種。キジ科)

karīm^{un} (pl. kirām^{un}, kuramā^{'u}; f. karīmat^{un}) 高尚な、高雅な

kasālāy [kaslān^u, kaslāy の pl. 24] 怠けた

kasaba (yaksibu) 獲得する、手に入れる

kasara (yaksiru) 壊す、毀す、砕く、割る、折る

kaslān^u (属・対格 kaslān^a; pl. kasālāy, kusālāy, kaslāy; f. kaslāy, kaslānat^{un})

怠惰な(人)、怠けた

kaslāy [kaslān^u の pl. 22 および女性形]

怠惰な(人)、怠けた

ku'ait^{un} (pl. ki'tān^{un}) 鷲、ウグイス <205>

ki'tān^{un} [ku'ait^{un} の pl. 18] 鷲、ウグイス

kaff^{un} <男>(pl. kufūf^{un}, akuff^{un}) 掌

kuffār^{un} [kāfir^{un} の pl. 8] 異端者

kafāy (yakfi)(対格にとって)充分である、足りる <148>

kul = akala 「食べる」の命令形 <199>

kull^{un} <男> 全体、すべて <58>

[限定された単数名詞と。そのものの全体] kull^u l-baiti 家中、kull^u l-yaumi 一日中

[限定された複数名詞・集合名詞と。すべての~、全部の~] kull^u l-aulādi すべての子供たち、kull^u n-nāsi = ġami^u n-nāsi すべての人々

[限定されていない単数名詞と。各々の~、あらゆる~] kull^u yaumiⁿ 毎日、kull^u šaiⁿ 何でも / あらゆるもの、kull^u aḥadiⁿ = kull^u wāḥidiⁿ 誰でも

[それぞれの~、~のそれぞれ] kull^u min + 限定された複数名詞 = kull^u + 非限定の単数名詞 + min + 限定された複数名詞

kulā = akala 「食べる」の命令形 <199>

kilāb^{un} [kalb^{un} の pl.] 犬

kalām^{un} <男> 言葉、話

kalb^{un} <男> (pl. kilāb^{un}, kalīb^{un}, aklub^{un}, akālib^u) 犬

kulna, kulū, kulī = akala 「食べる」の命令形 <199>

kulan [سを書く。定冠詞と kulāy。3格同形。kulyat^{un} の pl. 1] 腎臓 <141, 142>

kulaib^{un} 小犬 <271>

kalīb^{un} [kalb^{un} の pl. 25] 犬

kulyat^{un} (pl. kulan) 腎臓

-kum [2人称、複数、男性の属格・対格] <41>

-kumā [2人称、双数、男女の属格・対格] <41>

kamalat^{un} [kāmil^{un} の pl. 9] 完全な

kunna, kunnā, kunta, kunti, kuntu, kuntum, kuntumā, kuntunna = kāna の完了形

-kunna [2人称、複数、女性の属格・対格] kanasa (yaknusu) 掃く

kawākib^u [属格・対格 kawākib^a; kaukab^{un} の pl. 18-l] 星

kaukab^{un} <男>(pl. kawākib^u) 星

kaun^{un} <男>[kāna の動名詞] 存在(すること)、在ること

kai [接続詞](未完了接続形と)~するために <86>

kaifa いか(にして)、どのように(し

て)、どうして、どんなふうに、いかなる

I J

la- 本当に、誓って、必ずや; [lau で示される条件文に対応する結論文を導く]

そのときは <133, 220>

la-'amrī = 私の生涯にかけて必ずや
<147>

lau ... la ~ = もし...なら、そのときは
~ <133>

la- [強調助詞。強勢形と] 必ず~する(であろう)、どうあっても~しなければならぬ <265>

la- = li-が人称代名詞 1人称単数連結形以外の連結形と結びつくときの読み

li- [前置詞。次に定冠詞がくると al-のアリフが省かれる。1人称単数の人称代名詞連結形以外の連結形と結びつくときは la-と読む]~のために、~のゆえに(目的、理由)、~の所有の、~に属する、~の書いた、~にとって、~に対して、~に <57, 129, 170, 256, 270, 272>; (動名詞に主語と目的語の両方が続くとき、主語は属格、目的語は対格または li-で表わす) <273>

[接続詞] (未完了接続形と) ~するために、~しようとして; (li / fal + 1人称未完了短形と) さあ~しようではないか; (li / fal + 3人称未完了短形と。強意の命令) ~させろ [彼が~せんことを、彼に~させろ]、~するがよい

<84, 86, 181>

rā'in^{un} li-abī = 私の父の牧者の一人
<170>

kitāb^{un} li-l-waladī = その子の持っているある本

kitāb^{un} la-hu = 彼の持っているある本
li = waliya 「すぐあとに続く」の命令形
<198>

lā いいえ; [未完了形、完了形の否定]~(で)ない、~しない; [2人称未完了短形と。禁止、否定命令] ~するな、~しないでくれ <129, 181>; [強勢形と] 決して~してはならない <265>; [語尾母音 a の非限定名詞対格と。その名詞が表わす種全体の存在を否定する] ~はない、~は存在しない、~の(余地の)ない <191>

lā A wa-lā B = Aでもなく Bでもない
<264>

lā wa-l-lāhī = [lā の強意] いやいや断じて~でない

lā yazālu + 未完了または分詞・形容詞の対格 = ~し続ける、いつまでも~する、依然として~である、まだ~である <259>

lā budda min ~ = ~からの逃げ道はない、必然的に~である、どうしても~にならざるをえない、~せざるをえない <191>

lā ya'ūdu + 未完了形 = もはや~せぬ、二度と再び~しない

lāti → al-lāti [関係代名詞、複数、女性。3格同形]

lāzim^{un} (liにとって)必要な、不可欠の;

必要なもの、必要な分 <262>
 lāqāy (yulāqī; laqiya III) (対格と / に) 出
 会う
 lāma (yalūmu; <lawama) 非難する、誹謗
 する <117>
 li'allā [<li+an+lā] (未完了接続形と) ~し
 ないように、~しないために <86>
 li-an [<li+an][接続詞] (未完了接続形と)
 ~するために <86>
 li-anna [<li+anna][接続詞] なぜなら~だ
 から
 li-annī [<li-anna+i] なぜなら私は~だ
 から
 labba (yalubbu, yalabbu; <labuba) 賢い、
 賢くなる <112>
 labisa (yalbasu) 着る
 latāni → al-latāni [関係代名詞、双数、女
 性主格。属・対格は al-lataini]
 latī → al-latī [関係代名詞、単数、女性。
 3格同形]
 liḥat^{un} (pl. luḥan) 顎髭、顎鬚
 luḥan [liḥat^{un}, liḥyat^{un} の pl. 1。سを書く。
 定冠詞と luḥāy。3格同形] 顎髭、顎鬚
 <142>
 liḥyat^{un} <女> (pl. liḥan, luḥan) 髭、鬚
 laḍāni → al-laḍāni [関係代名詞、双数、
 男性主格。属・対格は al-laḍaini]
 laḍī → al-laḍī [関係代名詞、単数、男性。
 3格同形]
 laḍīna → al-laḍīna [関係代名詞、複数、
 男性。3格同形]
 lazima (yalzamu) (対格にとって) 必要
 である
 lisān^{un} < 男 >(pl. alsun^{un}, alsinat^{un},

lisānāt^{un}) 舌、言葉、言語
 ṭawīl^u l-lisāni 舌の長い = ぺらぺら喋る、
 おしゃべりな <114>
 lasta, lasti, lastu, lastum, lastumā,
 lastunna, lasna, lasnā → laisa
 laṭama (yalṭimu) 平手打ちを食わせる
 laṭīf^{un} (pl. luṭafā^u, liṭāf^{un}; f. laṭīfat^{un}) 親切
 な、優しい、かわいい
 lazan [سを書く。定冠詞と lazāy。3格同
 形] 炎、焰、燃え上がる火 <142>
 la'iba (yal'abu) 遊ぶ
 la'alla [次に主語がくるときは対格にな
 る。代名詞は連結形になる] 多分、ひ
 よっとしたら (~だろう [とあって])
 <248>
 la'allī [<la'alla+nī] たぶん私は
 la'ana (yal'anu) 呪う
 liqāḥ^{un} [liqḥat^{un} の pl. 5] 乳駱駝
 liqḥat^{un} (pl. liqāḥ^{un}) 乳駱駝
 la-qad [<la+qad。次に来る完了形の動詞
 を強める] ほんとうに、すでに <221>
 wa-la-qad [2つの文をつなげる言葉]
 そして、実に、すでに、されば <148>
 luqmān^u [属・対格 luqmān^a] ルクマーン
 <76>
 laqiya (yalqāy) 逢う、出遭う、会う
 <179>
 likai [接続詞] (未完了接続形と) ~する
 ために <86>
 likai-lā ~しないように
 lam (未完了短形と、過去の否定。mā
 + 完了形と同意) ~しなかった、~で
 なかった <180>
 lam yaktub (= mā kataba) = 彼は書か

なかつた
 lam ya'ud + 未完了形 = もはや~しな
 かつた、二度と再び~しなかつた
 lam yazal + 未完了形または分詞・形容
 詞の対格 = ~し続けた、いつまでも
 ~した、依然として~だった、まだ
 ~だった
 a-lam / a-wa-lam + 未完了短形 = ~し
 なかつたか、~したではないか
 wa-lam + 未完了短形 = ~しないうち
 に <252>
 li-ma なぜ、何のために
 li-mā なぜ、~のために
 lammā [接続詞] (完了形と) ~するやい
 やな、~したとき;(未完了短形と)ま
 だ~しなかつた / していない、いまだ
 ~でなかつた <76, 181>
 lan (未完了接続形と) 決して~しない
 (であろう) <255>
 lū = waliya 「すぐあとに続く」の命令形
 <198>
 lau [接続詞。非現実の仮定、事実と反対
 の仮定。過去のことも現在のことも完
 了形で表わす。どちらであるかは文意
 によるが、現代アラビア語では過去で
 あることをはっきりさせるために、仮
 定部に kāna qad を加えることがある。
 lau の次に動詞ではなく主語がくると
 きは lau anna ...となるが、anna は省
 略可能。結論部は la で導かれる。結論
 部の否定には mā を使う] もしも~な
 ら <132, 182, 220>
 lau ... la ~ = もしも...なら、そのとき
 は ~ <132>

laum^{un} [lāma の名詞] 非難、誹謗
 laumāy [3格同形] 非難攻撃 <145>
 lī [<li+i>] 私にとって、私のために、私に
 lī, liyā = waliya 「すぐあとに続く」の命令
 形 <198>
 layālin [lailat^{un} の pl. 23. 定冠詞や属格名
 詞で限定されると layālī] 夜 <144>
 laisa [過去でも完了でもなく、単なる否
 定を表わす] (存在の否定) ~はない;
 (述語の否定) ~ではない;(lā の代
 用) <146>
 laisa A = A は (存在し) ない [A は主
 格]
 laisa A B = laisa A bi-B = A は B ではな
 い [初めの B は対格。A がない場合
 もある]
 lail^{un} <男> 夜
 bi-l-lailī 夜に <130>
 lī'allā [<li+an+lā>] (未完了接続形と) ~し
 ないように、~しないために <86>
 lailat^{un} <女> (pl. layālin) (一) 夜 <220>
 lailāy <女> [3格同形] (女名) ライラー
 <145>
 līna = waliya 「すぐあとに続く」の命令形
 <198>
 līn^{un} 優しさ、温和

m p

mā 何?、何と! ; 何か、誰か; [完了形
 の否定詞として] ~しなかつた; [未完
 了形と] ~しない; [接続詞。意味が現
 在でも未来でも完了形と] ~する限り、

- ~の間は、~するだけ <200, 255, 260>; [不定関係代名詞。3格同形] ~するところのもの <57, 106, 262>
- mā dāma + 未完了形または分詞の対格=[mā は「~する限り」] ~する間中、~している間は、~している限り <260>
- mā 'ada + 未完了形 = もはや~しなかった、二度と再び~しなかった <259>
- mā min + 属格=[mā は存在の否定] ~は存在しない <263>
- mā ~ min ... = ...の中の~なもの、~である... <221>
- mā + af'ala (第4形の完了形3人称男性単数)=[驚嘆を表わす] 何て~なのだろう <258>
- mā zāla + 未完了形または分詞・形容詞の対格=[zāla は主語の性数により変化する] ~し続けた、いつまでも~した、依然として~だった、まだ~だった <259>
- mā fi l-'ālamī 宇宙に存在するすべてのもの [mā は不定関係代名詞]
- mā ... šai'an 何も...しなかった
- mā ~ bal ... = ~ではなくて...
- mā huwa afḍalū min-hu それよりもさらに優れたもの
- mā = fi-mā ~する間に、~しつつ、~の中で
- mā'ūn <男>(pl. miyāhūn, amwāhūn) 水
- māta (yamūtu; <mawata) 死ぬ
- mādda (yumāddu; madda III) 互いに引き合う、闘う; 延期する、希望を持たせる <223>
- mādada (yumādidu; madda III) 互いに引き合う、闘う; 延期する、希望を持たせる <223>
- māḡā 何が、何を
- li-māḡā 何のために、何をしに、なぜ
- māšin [mašāy '歩く』の能動分詞。定冠詞や属格名詞で限定されると māšī] <144>
- mā'izūn <男>(ma'izūn, am'uzūn) 山羊
- māla (yamīlu; <mayala) 傾く <151>
- mālūn <男>(pl. amwālūn) 財産
- al-ma'mūn^u アル・マームーン (アッバース朝のカリフ) <209>
- māni'ūn (pl. mawāni'ū; mana'a の能動分詞) 妨害する(人、物)、障害物 <119>
- mā'idatūn <女>(pl. mawā'id^u, mā'idātūn) 机、テーブル
- mi'atūn (pl. mi'ātūn, mi'ūna) 100; 第100の <154>
- mi'at^u alfiⁿ 10万; 第10万の <156>
- mi'at^u sanatⁱⁿ 100年
- mi'an [mi'atūn の pl.] 数百、幾百 <155>
- mi'ātūn [mi'atūn の pl.] 数百、幾百 <155>
- mi'atāni 200; 第200の <154>
- mi'atā alfiⁿ 20万; 第20万の <156>
- mi'atā sanatⁱⁿ [属・対格 mi'atai sanatⁱⁿ] 200年
- mibradūn (pl. mabārid^u) 鑢、やすり <271>
- mibḡa'ūn (pl. mabāḡi'ū) 披針、ランセット、外科用メス、解剖刀 <271>
- mabḡaḡatūn 嫌悪のもと、人から嫌われる原因
- mabī'ūn (f. mabī'atūn; bā'a の受動分詞) 売

- られた
- mutabā'id^{un} 互いに相隔たった、相互に
遠く離れた
- mutabāyin^{un} はつきり分かれた、離れ離
れの、互いにはつきり区別された
- mutağāwir^{un} 隣り合わせの、接近した、
互いに境を接する
- mutaṣaddiq^{un} (f. mutaṣaddiqat^{un}) 施しを
する人、施しを好む人
- mutaqārib^{un} 互いに近づき合った、近く
くつきあった
- matāy 何時に、いつ；(接続詞。未完
短形と) ~するときには(いつでも)、~
のときには、~の場合には
- matāy A, B=A のときには B だ (A も
B も完了形。否定のときは lam + 未
完了短形も) <207>
- maṭal^{un} <男>(pl. amṭāl^{un}) 諺、例
- mitl^{un} <男>(pl. amṭāl^{un}) 類似；(名詞・代
名詞の属格と) ~のようなこと / もの、
似た~、~と似た(人、物、こと)、~
のように見えるもの、~と同じような
(人、物、こと) <169>
- mitl^u dālika そのようなこと
- fī mitlⁱ hāgihī s-sā'atī ちょうど今時分
になると <245>
- mitl^a + 属格 = ~のように / な、このよ
うな~、~のようなこと
- muṭallat^{un} (pl. muṭallatāt^{un}) 3 倍の；三角
形 <203>
- muṭannan [سを書く。定冠詞と muṭannāy]
2 倍 <203>
- muḡtahid^{un} 勤勉な
- maḡzīy^{un} [ḡazāy の受動分詞] (bi によつ
て) 報いを受ける(人) <202>
- maḡnūn^{un} <男>(pl. maḡānīn^u) 狂人、瘋
癲、ふうてん
- maḡabbat^{un} <女> 愛、愛情
- muḡtāḡ^{un} (ilāy を) 必要とする <59>
- al-muḡarram^u <男>(pl. muḡarramāt^{un})
一月、ムハツラム月(30日) <274>
- muḡarramāt^{un} [al-muḡarram^u の pl.] 一月、
ムハツラム月
- muḡammad^{un} <男>(男名) ムハンマド
- maḡmūd^{un} マフムード
- maḡraḡ^{un} <男>(pl. maḡāriḡ^u) 出口 <270>
- muḡriḡ^{un} = aḡraḡa の能動分詞 <226>
- maḡliṣ^{un} 誠実な
- maḡlūq^{un} <男>(pl. maḡlūqāt^{un}, maḡālīq^u;
ḡalaqa の受動分詞) 創造された(物)、
被造物、被創造物
- maḡammas^{un} 5 倍 <203>
- madda (yamuddu) 伸ばす、広げる
<110, 113, 160, 265, 267>
- mudda (yumaddu)=madda の受動<160>
- madāris^u [属・对格 madāris^a; madrasat^{un}
の pl.] 学校
- madā'in^u [属・对格 madā'in^a; madīnat^{un}
の pl.] 都 <99>
- al-madā'in^u クテシフォン、セレウキア
- madḡal^{un} <男>(pl. madāḡil^u) 入口 <270>
- madrasat^{un} <女>(pl. madāris^u) 学校
- mudun^{un} [madīnat^{un} の pl. 3] 都
- madīnat^{un} <女>(pl. mudun^{un}, madā'in^u)
都
- al-madīnat^u メディナ、メジナ
- mur = amara「命令する」の命令形 <199>
- marra (yamurru) (bi, 'alāy の) 側(傍ら)

- を通過する、～と行き会う、～にちよつと立ち寄る
- murā = amara 「命令する」の命令形 <199>
- marrāt^{un} [marrat^{un} の pl.] 回
- ‘ašrā marrātⁱⁿ [副詞的対格] 十回
- mirāḍ^{un} [marīḍ^{un}, marīḍat^{un} の pl. 5] 病気の
- mirār^{un} [marrat^{un} の pl. 5] 回
- al-mar’at^u <女>[imra’at^{un} の定冠詞付きの形] その女、その婦人
- murabba‘^{un} 4倍 <203>
- marīḍa (yamraḍu) 病気になる、病気にかかる
- marraḍa (yumarrīḍu; marīḍa II) 看病する
- marḍāy [marīḍ^{un} の pl. 22] 病気の
- marmīy^{un} (f. marmīyat^{un}; ramāy の受動分詞) 投げられた、放り出された
- murna = amara 「命令する」の命令形 <199>
- marrat^{un} <女>(pl. marrāt^{un}, mirār^{un}) (一) 回、遍、度
- marrat^{an} [副詞的対格] 一度、あるとき
- murū, murī = amara 「命令する」の命令形 <199>
- marīḍ^{un} (pl. marḍāy, mirāḍ^{un}; f. marīḍat^{un}) 病気の
- mazaḥa (yamzaḥu) ふざける、冗談を言う、戯れ言を言う
- mazḥ^{un} <男>(mazaha の動名詞) ふざけること、冗談、戯れ言
- massa (yamassu;<masisa)触れる<112>
- masā‘^{un} <男>(pl. amsiyat^{un}) 夕方
- masāğid^u [属・対格 masāğid^a; masğid^{un} の pl.] 礼拝堂
- mas’alat^{un} <女>(pl. masā’il^u) 問題、問 <110>
- musāwāt^{un} <女>[sāwāy の動名詞] (bi と) 同等にすること、等しくすること <262>
- mustaqīm^{un} まっすぐな
- masğid^{un} <男>(pl. masāğid^u) 礼拝堂、マスジド、モスク
- muslim^{un} <男>(pl. muslimūna) イスラム教徒、すべてを神に委せた男
- muslimat^{un} <女>(pl. muslimāt^{un}) イスラム教徒、すべてを神に委せた女
- musaiğid^{un} 小礼拝堂
- masyafat^{un}, masīfat^{un} [saif^{un} の pl. 30] 剣
- mašāriq^u [属・対格 mašāriq^a; mašriq^{un} の pl.] 東方諸地域 <100>
- mašriq^{un} <男>(pl. mašāriq^u 東方諸地域) 東 <100>
- mašgūl^{un} (bi で) 忙しい
- mašhūr^{un} (pl. mašāhīr^u; f. mašhūrat^{un}) 有名な
- mašāy (yamšī; 能動分詞 māšin) 歩く <88, 122, 198>
- mašyahat^{un}, mašyuhat^{un}, mašīhat^{un} [šaiḥ^{un} の pl. 30] 長老
- mašādir^u [属・対格 mašādir^a; mašdar^{un} の pl.] 源 <99>
- mašārīn^u [属・対格 mašārīn^a; mašīr^{un} の pl. mušrān^{un} の pl. 18-II, IV] 腸 <226>
- mašsān^{un} (f. mašsānat^{un}) (羊、牛等) がつつ乳を吸う、卑しい <95>
- mašdar^{un} <男>(pl. mašādir^u) 源; 動名詞
- mišr^u <女>[属・対格 mišr^a] エジプト

- <91, 94, 96>
 muṣrān^{un} [maṣīr^{un} の pl. 18-II; pl. maṣārīn^u 18-IV] 腸
 miṣrīy^{un} (pl. miṣrīyūna; f. miṣrīyat^{un}) エジプトの ; エジプト人 <165>
 muṣṭafan (سを書く。定冠詞と muṣṭafāʾ。3格同形。pl. muṣṭafauna) 選ばれたる(者) <142>
 muṣibat^{un} <女>(pl. maṣāʾib^u) 不幸、災難
 maṣīr^{un} (pl. muṣrān^{un}, maṣārīn^u) 腸
 maṭar^{un} <男>(pl. amṭār^{un}) 雨
 muṭī^{un} (pl. muṭīūna) 言うことを聞く、従順な
 muṭīūna [muṭī^{un} の pl.] 言うことを聞く、従順な
 maʿa [前置詞] ~といっしょに、~とともに ; ~にもかかわらず
 maī = maʿa + ī 私といっしょに
 maʿa dālika それにもかかわらず
 maʿa anna ~ = ~にもかかわらず
 maʿānin [maʿnan の pl. 23。定冠詞や属格名詞で限定されると maʿānī] 意味 <144>
 maʿbadat^{un} [ʿabd^{un} の pl. 30] 奴隷
 maʿīdat^{un} <女>(pl. miʿad^{un}) 胃袋
 maʿfirat^{un} 宥恕、罪の赦し
 muʿallim^{un} <男>(pl. muʿallimūna; 双数 muʿallimāni; ʿallama の能動分詞) (男の) 先生
 muʿallimat^{un} <女> (pl. muʿallimāt^{un}) (女の) 先生
 maʿnan <男>(سを書く。定冠詞と maʿnāʾ。3格同形。pl. maʿānin) 意味 <142>
 maī = maʿa + ī 私といっしょに
 maīz^{un} [māʾiz^{un} の pl. 25] 山羊
 maḡārat^{un} (pl. maḡāwir^u, maḡāwirāt^{un}) 洞穴
 maḡāzin [maḡzan の pl. 23。定冠詞や属格名詞で限定されると maḡāzī] 意味 <144>
 maḡāwir^u [属・对格 maḡāwir^a; maḡārat^{un} の pl.] 洞穴
 maḡzan [سを書く。定冠詞と maḡzāʾ。3格同形。pl. maḡāzin] 意味 <142>
 maḡzā-hu [人称代名詞が続くとسがアリフになる] その意味は <143>
 muḡannin (定冠詞や属格名詞で限定されると muḡannī。pl. muḡannūna。ḡannāʾ の能動分詞) 歌手 <144>
 muḡāriq^{un} [ḡāraqa の能動分詞] (对格と) 離別する(人)、別れる(人) <202>
 miḡṭāḥ^{un} <男>(pl. maḡṭāḥ^u) 鍵 <271>
 maḡsadat^{un} (pl. maḡāsīd^u) 墮落、風俗頹廢のもと
 muḡaitīḥ^{un} 小さな鍵 <271>
 muḡāḍin (f. muḡāḍiyat^{un})[qāḍāʾ の能動分詞。定冠詞や属格名詞で限定されると muḡāḍī] 裁判官に訴えてその前に呼び出す <144, 224>
 muḡāḍan (f. muḡāḍāt^{un})[qāḍāʾ の受動分詞。سを書く。定冠詞と muḡāḍāʾ] 裁判官に訴えられてその前に呼び出された <142, 224>
 muḡāḍāt^{un} = qāḍāʾ の動名詞および受動分詞の女性形 <224>
 maḡbarat^{un} (pl. maḡābir^u) 墓地 <270>
 muḡattil^{un} = qattala の能動分詞 <211>
 maḡtūl^{un} (f. maḡtūlat^{un}; qatala の受動分

詞) 殺された (人)
 maqrū^{un} 読みやすい、たくさん読まれて
 いる <109>
 miqaṣṣ^{un} <男>(pl. maqāṣṣ^u, miqaṣṣāt^{un})
 鉄 <271>
 maqṣid^{un} (pl. maqāṣid^u) 目標、目指す
 ところ、行く先
 maqūl^{un} (pl. maqūlāt^{un}; f. maqūlat^{un}; qāla
 の受動分詞) 言われた
 maktab^{un} <男>(pl. makātib^u) [物を書く場
 所] 学校、事務所、机 <270>
 makuna (yamkunu) 権力を有する、可能
 にさせる
 makkana (yumakkinu; makuna II) 権力
 を賦与する、(対格に min を) 許す
 <74>
 miknasat^{un} <女>(pl. makānis^u) 簾 <271>
 makkat^u <女>[属・対格 makkat^a] メツカ
 <94, 96>
 makkīy^{un} (f. makkīyat^{un}) メツカ育ちの、
 メツカ生まれの <165>
 malla (yamallu) 退屈する、厭く、うんざ
 りする
 malā'in^u [属・対格 malā'in^a; malyūn^{un}
 の pl.] 100万; 第100万の <156>
 malā'in^u [属・対格 malā'in^a; mal'un^{un}
 の pl.] 呪われたる <99>
 mal'ān^u (属・対格 mal'ān^a; pl. milā'un^{un}; f.
 mal'āy, mal'ānat^{un}) いっぱいの、満ち
 た <95, 96>
 mil'aqat^{un} <女> (pl. malā'iq^u) 匙、スプー
 ン
 mal'un^{un} (pl. malā'in^u) 呪われたる
 malik^{un} <男>(pl. mulūk^{un}) 王

malikat^{un} <女> (pl. malikāt^{un}) 女王、王妃
 mulūk^{un} [malik^{un} の pl.] 王
 malyūn^{un} <男>(pl. malā'in^u, malāyīn^u)
 100万; 第100万の <156>
 mimman = min man
 man [3格同形] 誰が、誰を; 誰か; ~で
 ある者/人; ~する人;(条件文を作る
 こともある) <105, 237>
 fī yadī man huwa ašadd^u min-hum
 ba's^{an} 彼らよりも腕力においてよ
 り強い者の手中に <101>
 man aḥabba šai'an fa-~ = 誰かが何か
 を愛するならば、そのときは ~
 <237>
 min [前置詞。定冠詞が続くと mina と読
 む] ~から、~の中に、~の中で、~
 の、~のひとつ/一人、~に属するも
 のの中で、~に属するもののうち; [比
 較の対象を導く] ~より; [材料] ~製
 の; [原因・理由] ~のために、~の
 せいで <24, 44, 70, 170>
 min aina どこから
 mā min + 属格 = ~は存在しない
 mā ~ min ... = ...の中の~なもの、~
 である...
 kitāb^{un} min kutubī l-waladī = その子供
 の本の中の一冊の本が <170>
 manna (yamunnu) 恵みを施す <93>
 manārat^{un} <女>(pl. manā'ir^u) ミナレット、
 尖塔
 mannā'un [mana'a の能動分詞の強勢形]
 (li に対して) きわめて妨害的な
 <119>
 maḡḡanūn^{un} <女> (pl. maḡḡanūnāt^{un}) 水

車 <275>
 maṅḡanūnāt^{un} [maṅḡanūn^{un} の pl.] 水車
 maṅḡanīq^{un} <女> (pl. maḡāniq^u,
 maṅḡanīqāt^{un}) 石弓、弩機 <275>
 manaḡa (yamnaḡu, yamniḡu) 授与する、
 賜う
 mandūw^{un} (f. mandūwat^{un}; nadā の受動
 分詞) 呼ばれた
 manzil^{un} <男>(pl. manāzil^u; nazala の名
 詞) 宿、家
 munšī^{un} (pl. munšī'ūna) 生産者
 mana'a (yamna'u) 妨げる、邪魔する、
 禁止する <68, 71>
 maṅḡaṣat^{un} (良いものの) 減少(の
 もと、原因)、損(のもと、原因) <120>
 mahālibat^{un} [muhallabīy^{un} の pl. 18-III] ア
 ル・ムハッラブ al-Muhallab^u の子孫
 muhallabīy^{un} (pl. mahālibat^{un}) アル・ムハ
 ッラブ al-Muhallab^u の子孫
 maut^{un} <男> 死
 mautān^{un} (f. mautānat^{un}) 鈍感な <95>
 mauḡūd^{un} 存在するところの
 Mūsāy ムーサー
 mūsāy <女> (pl. mawāsīn) 剃刀、カミソ
 リ <144, 275>
 mauḡī^{un} <男>(pl. mawāḡī^u) (置き) 場所
 <270>
 mau'id^{un} <男>(pl. mawā'id^u) 約束の場
 所・時間、期日 <270>
 mau'ilat^{un} [wa'il^{un} の pl. 30] 野生の山羊
 <218>
 mu'min^{un} <男>(pl. mu'minūna) (男の) 信
 徒、信心深い男
 mu'minūna [属・対格 mu'minīna;

mu'min^{un} の pl.] (男の) 信徒
 amīr^u l-mu'minīna 信者たちの指導者
 <214>
 mu'minat^{un} <女> (女の) 信徒、信心深い
 女、信仰ある女
 mi'at^{un} <女> 100 <154>
 mi'āt^{un} [mi'at^{un} の pl.] 数百、幾百
 <155>
 mi'atāni 200 ; 第 200 の <154>
 mi'at^u alfn 10 万 ; 第 10 万の <156>
 mi'atā alfn 20 万 ; 第 20 万の <156>
 mīzān^{un} <男>(pl. mawāzīn^u, mayāzīn^u)
 秤
 mīl^{un} <女> (pl. amyāl^{un}) マイル
 mīm^{un} <女>(pl. mīmāt^{un}) (文字名) ミー
 ム
 mīmāt^{un} [mīm^{un} の pl.] ミーム
 mait^{un}, maiyit^{un} (pl. 14 amwāt^{un}, mautāy,
 maitūna) 死者
 maimūn^{un} (pl. mayāmīn^u) 幸運な
 mayāmīn^u [属・対格 mayāmīn^a; maimūn^{un}
 の pl. 18-II] 幸運な
 mi'ūna [mi'at^{un} の pl.; 不定数の表現にの
 み使用] 数百 <155>

n u

-nā [人称代名詞連結形 1 人称、複数、男
 女の属・対格] <41>
 nār^{un} <女> (pl. nīrān^{un}) 火 <275>
 nās^{un} [集合名詞 ; insān^{un} の pl.] 人々、人
 間
 nāsik^{un} (pl. nusāk^{un}) 隠者

- nāṣir^{un} (pl. anṣār^{un}) 救援者
- nāfi^{un} ためになる、有益な
- nāfaqa (yunāfiqū; nafaqa III) 矯飾する、
うわべを偽り飾る、本心を偽る
- nāla (yanālu; <nawila) (対格を) 獲得す
る、手に入れる、捉える、到達する、
振りかかる <151, 221>
- nāhid^{un} (pl. nawāhid^u) 乳房の円くふく
らんだ
- nāwin^{un} (pl. niwā^{un}) 肥えた
- nā'im^{un} (pl. nuwwam^{un}, nuyyam^{un}, niyām^{un},
nā'imūna; nāma 「眠る、寝る」の能動
分詞) 眠っている、睡っている
- naba'a (yanba'u, yanbi'u, yanbu'u) 送る、
ほとぼしる、湧き出る
- nubl^{un} <男> 優れた資格、人格的優越
ahl^u n-nublī 真に優れた人々 <207>
- nabiy^{un} <男>(pl. anbiyā^u, nabiyūna) [原
形は nabī^{un}] 預言者 <109>
- nağğār^{un} <男>(pl. nağğārūna) 大工、指
物師
- nuğabā^u [属・対格 nuğabā^a; nağīb^{un} の
pl. 20] 高貴な ; 賢い
- nağd^{un} (pl. anğidat^{un}, niğād^{un}, nuğūd^{un})
高地
- nağas^{un}, nağis^{un}, nağs^{un}, nağus^{un} (pl.
anğās^{un}; 比較級 anğas^{un}) 不潔な、汚
らわしい、穢らわしい
- nağwāy (3 格同形; pl. nağāwāy) 秘密(の
話) <145>
- nağīb^{un} (pl. nuğabā^u) 高貴な ; 賢い
- naḥata (yanḥatu, yanḥitu, yanḥutu) 切る、
伐る、刻む
- naḥl^{un} <男>[類としての] 蜜蜂
- naḥlat^{un} <女>(pl. naḥlāt^{un})[一匹の] 蜜蜂
<220>
- naḥnu 我々は <132>
- nadā (yandū; <nadawa) (集会に) 招致
する、呼ぶ <82, 121, 162, 188, 266,
267>
- nidām^{un} [nadmān^u, nadmānat^{un} の pl. 5]
後悔している
- nadāmāy [nadmān^u, nadīm^{un} の pl. 24] 飲
み仲間
- nadam^{un} <男> ('alāy に対する) 後悔
- nadmān^{un} (f. nadmānat^{un}) 飲み仲間、飲
み友だち <95>
- nadmān^u (属・対格 nadmān^a; pl. nidām^{un},
nadāmāy; f. nadmānat^{un}) 後悔してい
る
- nadan (سを書く。定冠詞と nadāy。3 格
同形。pl. andiyat^{un}, andā^{un}) 露 <142>
- nudiya (yundāy) = nadā の受動 <162,
188>
- nadīm^{un} (pl. nadāmāy, nudāmā^u, nidām^{un},
nudmān^{un}) 飲み仲間、飲み友達
- nazala (yanzilu) (乗り物から) 降りる ;
(宿に) 着く ; (bi に) 泊まる、宿を
借りる
- nisā^{un} [imra'at^{un} の pl.] 女たち
- nasağa (yansiğu, yansuğu) (機で) 織
る、編む
- nasaka, nasuka (yansuku) 浮世を遁れ
て祈祷三昧の生活を送る <125>
- niswat^{un} [imra'at^{un} の pl.] 女たち
- naṣr^{un} <男> 勝利
- naṣr^u bn^u saiyārīn サイヤールの息子
ナスル (†849) <70>

naṣrān^{un} (f. naṣrānat^{un}) キリスト教徒
<95>

niṣf^{un} <男>(pl. anṣāf^{un}) 二分の一、半分
<202>

naṣf^{un}, nuṣf^{un} [稀] 二分の一 <202>

niṣf^{un} l-‘uṣrⁱ 二十分の一 (<十分の一の
半分) <203>

niṣf^{un} wa-ṭult^{un} ‘uṣrⁱⁿ 十五分の八 (<二
分の一 + 三分の一 × 十分の一) <203>

niṣf^{un} wa-ṭult^{un} wa-niṣf^{un} ‘uṣrⁱⁿ 六十分
の五十三 (<二分の一 + 三分の一 +
二分の一 × 十分の一) <203>

naṭaḥa (yanṭaḥu) (牛などが角や頭で)
突く

nazara (yanzuru) (ilāy を) 眺める、見る、
視る ; (fi を) 調べる、考える <192>

naẓīf^{un} (pl. nuẓāfā‘u, niẓāf^{un}; f. naẓīfat^{un})
清潔な

na‘l^{un} <女> (pl. ni‘āl^{un}) サンダル、鞋
<275>

na‘ama (yan‘amu, yan‘umu) 裕福に暮ら
す、快適に暮らす <92>

na‘ima (yan‘amu) = na‘ama

na‘am はい、確かに

ni‘ma, ni‘mat (この2形のみ。何かを誉
めるときに、限定の主格、非限定の対
格と) 何てすばらしい～なのだろう、
何といい～なのだろう <258>

nuḡar^{un} (pl. niḡrān^{un}) 鷲、ウグイス

niḡrān^{un} [nuḡar^{un} の pl. 18] 鷲、ウグイス

nafs^{un} <女> (pl. nufūs^{un}, anfus^{un}) 魂、靈
魂、心、自身 ; (属格と) ~と同じもの、
同じ~、~自身 <275>

bi-nafsī (私の) 心の中で <169>

fī nafsi-hi 自分自身の中に

nafa‘a (yanfa‘u) (対格の) 役に立つ

nufūs^{un} [nafs^{un} の pl. 6] 魂

nuqāyā [アリフで書く ; nuqāyat^{un} の pl.
24] (何かの) 最良部 <217>

nuqāyat^{un} (pl. nuqāyā <アリフで>)(何か
の) 最良部

naqaṣa (yanquṣu) 彫る

naqṣ^{un} <男>(pl. nuqūṣ^{un}) 彫ること ; 彫ら
れたもの、彫刻 ; 刻銘、彫銘

naqṣ^{un} <男> 欠点、欠陥 ; 減ること

nuqṣān^{un} <男> 欠点、欠陥 ; 減ること

namir^{un} <男>(pl. numur^{un}, anmār^{un},
numūr^{un}) 虎、豹

numur^{un} [namir^{un} の pl. 3] 虎、豹

nahā (yanhū) = nahāy (yanhāy)

nahr^{un} <男>(pl. anhār^{un}, anhur^{un}) 河、流
れ

nahāy (yanhāy) (対格に‘an を) 禁じる
<92>

niwā‘un [nāwin^{un} の pl. 5] 肥えた

nawār^{un} (pl. nūr^{un}) 慎重な女、軽はずみな
ことを努めて避ける女

nawāhid^{un} [nāhid^{un} の pl. 16] 乳房の円く
ふくらんだ

nuwab^{un} [naubat^{un} の pl. 1] 順番

naubat^{un} (pl. nuwab^{un}, naubāt^{un}) 順番

nūr^{un} [nawār^{un} の pl. 2] 慎重な女、軽はず
みなことを努めて避ける女

nau‘un <男>(pl. anwā‘un) 種類

min nau‘aini 二種類のものから

nuwwam^{un} [nā‘im^{un} の pl. 7] 眠っている、
睡っている

nawan <女>[سを書く。定冠詞と nawāy]

旅の目的地 <142, 275>

-nī [人称代名詞連結形、1人称単数、男女の対格、動詞につく形] <41>

nīr^{un} (pl. nīrān^{un}, anyār^{un}) <びき、鞭

nīrān^{un} [nīr^{un} の pl. 18] <びき、鞭

naiyif^{un} 過剰; 10以上の不定数 <157>

naiyif^{un} wa-īšrūna 20数(個、人など)

nuyyam^{un} [nā'im^{un} の pl. 7] 眠っている、

睡っている

h o

-hu [名詞のあとで属格、動詞のあとで対格。人称代名詞連結形、3人称単数、男性] <40>

-hi = -hu は直前に i, ī 音がくると -hi と読まれる <42, 43, 44, 56>

-hā [人称代名詞連結形、3人称単数、女性、属・対格] <40>

hātif^{un} [hatafa の能動分詞] 呼びかけている(人); 電話 <168>

hāhuwadā ほら、そら

hātāni [双数女性形、主格] この; これ <174>

hatafa (yahtifu) (bi に) 呼びかける

hātāni [双数女性形、属・対格] この; これ <174>

hiğrat^{un} <女>(pl. hiğrāt^{un}) ヒジュラ(622年7月16日)、移住 <253>

hadāyā [アリフを書く; hadīyat^{un} の pl. 24] 贈り物 <217>

hadāy (yahdī) 導く、道案内する <88>

hudan <男>[s を書く。定冠詞と hudāy。

3格同形] 導き <142>

hadīyat^{un} <女>(pl. hadāyā) 贈り物

hādā [単数、男性形、3格同形] この; これ、このようなこと <169, 174>

hādāni [双数、男性形、主格] この; これ <174>

hādīhi [単数、女性形、3格同形] この; これ <174>

hādī [単数、女性形、3格同形] この; これ <174>

hādāini [双数、男性形、属・対格] この; これ <174>

hirr^{un} <男>(pl. hirarat^{un}) (雄) 猫

haraba (yahrubu) (min から) 逃げる、遁げる

hariba (yahrabu) 老衰する、老いぼれる、老いぼれである <102>

hirarat^{un} [hirr^{un} の pl. 11] (雄) 猫

harim^{un} (pl. harmāy) 老いぼれの

hurmuzān^{un} ホルムザーン(ファーリス地方の太守) <250>

harmāy [harim^{un} の pl. 22] 老いぼれの

hazala (yahzilu) ふざける

hazl^{un} 悪ふざけ; 道化

hazama (yahzimu) 潰走させる、打ち負かす

hiğab^{un} [hağbat^{un} の pl. 4] 驟雨

hağbat^{un} (pl. hiğab^{un}) 驟雨

hākađā そのように、こんなふうに

hal [定冠詞の前で hali と読む。疑問助詞、文頭に置く] ~か? <30, 55>

hallā [否定疑問詞] なぜ~しないのか

hulb^{un} 馬の尻毛

hum [人称代名詞独立形] 彼らは

<27> ; [名詞文で主語と述語がともに限定されているとき、主語と述語を結びつける記号として使われる] <105>
 ulā'ika r-rigāl^u hum wuqūd^u n-nārⁱ これらの人々は (地獄の) 火の燃料である
 -hum [人称代名詞連結形。3人称複数、男性、属・対格] <40>
 -him = -hum は直前に i, ī 音がくると -him と読む <42, 43, 44>
 humā [双数。男女共通] 彼ら (彼女ら) 二人は <27>
 -humā [人称代名詞連結形。3人称双数、男女、属・対格] <40>
 -himā = -humā は直前に i, ī 音がくると -himā と読む <42, 43, 44>
 han^{un} [属格や代名詞を伴なうと hanū, hanī, hanā] 物 <139>
 hunna 彼女らは <27>
 -hunna [人称代名詞連結形。3人称複数、女性形、属・対格] <40>
 -hinna = -hunna は直前に i, ī 音がくると -hinna と読む <42, 43, 44>
 hind^{un} <女> (pl. hindāt^{un}, hinadāt^{un}, hinidāt^{un}) (女名) ヒンド
 hindāt^{un} [hind^{un} の pl.] ヒンド
 hindīy^{un} (pl. hunūd^{un}) インドの
 hanū, hanī → han^{un}
 huwa 彼は、それは <27, 119> ; [名詞文で主語と述語がともに限定されているとき、主語と述語の間に介入させる記号として使われる。主語が1人称代名詞でも huwa を使う] <105> ; それは [長い主語を一括して繰り返す同

格] <236, 262>
 man huwa hādā l-walad^u この子供は誰か？
 al-lāh^u huwa l-ḥaiy^u 神 (アッラー) は生ある者である <105>
 anā huwa rabb^u l-'ālamⁱ 我こそは宇宙の主 <105>
 ḡālika r-raḡul^u huwa anā その男とは私だ <105>
 mā aḥada-hu min-hu huwa ~ = 彼がそれから取ったもの、それは ~ <262>
 huwadā ほら、そら
 hā'ulā'i [複数、男女、3格同形] これらの ; これら <175>
 hiya 彼女は、それは <27>
 man hiya hādīhi l-bint^u この少女は誰ですか？
 haiyin^{un} (pl. ahwinā^{un}) 容易な

w 9

wa [接続詞] そして、また、しかも、さらに、それから、いや <220> ; (先行する文の行為が行なわれる時点での随伴的状況や付随的事情を表わす。主節と同時のことは表わす場合は必ず未完了形を伴なう。主節より以前のことを表わす場合は完了形と。否定は lam + 接続形。状態を示す wāw。用法の詳細は 166-167 ページ参照) ~ の状態において、~ するうちに、~ しながら、~ しているとき、~ してしまったの <166,

- 180, 191, 247, 252, 262, 263>; (挿入句を導く)~であるが <119, 230>;[前置詞]~にかけて <147>
- wa-l-lāhi 神かけて <147>
- lā wa-l-lāhi (否定を強めて) いやいや断じて~ではない <169>
- wa-rabbi l-ka'batī カーバの主にかけて <147>
- wa-lam + 未完了短形 = ~しないうちに <252>
- wa-illā [<wa+illā。このあとの完了形には過去の意味はない] さもないと、そうしなければ <182>
- wāṭib^{un} [waṭaba の能動分詞] 跳んでいる、跳びかかっている
- wāḡib^{un} 必然的な、必定の、義務的な
- wāḥid^{un} (f. wāḥidat^{un}) 1 ; ひとつ、唯一 ; ひとつの~、同一の~ <122>
- kull^u wāḥidⁱⁿ 誰でも
- wāriṭ^{un} (pl. waraṭat^{un}) 遺産相続者
- wāsi^{un} (f. wāsi'at^{un}) 広い
- wāqif^{un} (pl. wuqūf^{un}) 立っている
- wabaqa (yabiqu) 滅びる <104>
- wabiqa (yaubaqu) 滅びる <104>
- wabula (yaubulu) 不衛生である <104>
- wattāb^{un} [waṭaba の能動分詞 wāṭib^{un} の強意形] ('alāy に) とびつく、むこうみずな <118>
- waṭaba (yaṭibu) ('alāy に) 跳びかかる
- waṭiqa (yaṭiqu) 信頼する <103>
- waḡā'āy [waḡi'ūn の pl. 24] 痛みに苦しんでいる (人)
- waḡaba (yaḡibu) ('alāy にとって) 必要である、しなければならない
- waḡada (yaḡidu) 見つける、発見する、分かる、見出す、(対格を対格と)思う <120, 132>
- kaifa waḡadta fulān^{an} 君は某々のことをどう思うか <116>
- waḡi'a (yauḡa'u) 苦痛を感じる <104>
- waḡi'^{un} (pl. waḡā'āy) 痛みに苦しんでいる (人)
- waḡila (yauḡalu) びくびくする、怖れる <104, 197>
- waḡnat^{un} <女>(pl. waḡanāt^{un}) 頬
- waḡh^{un} <男>(pl. waḡūh^{un}) 顔
- wuḡūd^{un} <男> 存在、いる / あること
- wadda (yawaddu) [現在の状態を表わすにも完了形を使う] 愛する、望む、欲する <197, 256>
- wadidtu anna ~ = (私は) ~であってほしいものだ
- wada'a (yada'u; 命令形 da') 放置する、放って置く、捨て去る; 預ける <104>
- waḡara (未完了形 yaḡaru と命令形 ḡarのみ) 構わずにおく <104>
- warrāq^{un} (pl. warrāqūna) 紙屋、本屋
- wariṭa (yariṭu) 相続する、継承する <103, 197>
- waraṭat^{un} [wāriṭ^{un} の pl. 9] 遺産相続者
- wari'a (yari'u) 慎む、控える、差し控える <103>
- wara'a (yara'u) [=wari'a] 慎む、控える、差し控える
- waraq^{un} <男>(pl. aurāq^{un}) 紙、紙幣、木の葉
- wirlān^{un} [waral^{un} の pl. 18] 大蜥蜴、大トカゲ

- waral^{un} (pl. wirlān^{un}, aurāl^{un}) 大蜥蜴、大トカゲ
- warima (yarimu) 脹らむ、膨らむ <103>
- waza'a (yaza'u) 引き止める <104>
- wasī'a (yasa'u) 広い、広くなる、広くある <104>
- waswasa (yuwaswisu; 4 語根 I) ひそひそ囁く <257>
- waḍa'a (yaḍa'u) (対格を fi に) 置く、入れる <104, 197>
- waṭan^{un} <男>(pl. auṭān^{un}) 祖国
- waṭī'a (yaṭa'u) 踏みつける <104>
- wa'ada (ya'idu) (対格と、に) 約束する、[否定は allā と] ~しないと約束する <75, 103, 197>
- wa'il^{un} (pl. mau'ilat^{un}, wu'ūl^{un}, au'āl^{un}) 野生の山羊
- wa'mal = wa+i'mal ('amila の命令形) の読み (一時性のハムザ) <202>
- wafā'^{un} <男> (約束、bi を) 果たすこと ; (li への) 忠実さ <221>
- wafāt^{un} <女>(pl. wafayāt^{un}) 死、死亡
- wafiqa (yafiqu) 適切な状態にある <103>
- wafā' (yafī) (約束を) 果たす <221>
- waqt^{un} <男>(pl. auqāt^{un}) 時間
- wa-qad [<wa+qad。未完了形また完了形の肯定とともに先行文の付随的状況・事情を表わす。qad だけでも可] <167>
- waqa'a (yaqa'u) 落ちる、陥る <103, 104>
- waqafa (yaqifu) 立ち止まる、立つ
- wuqūd^{un}, waqūd^{un} 燃料
- wuqūf^{un} [wāqif^{un} の pl. 6] 立っている
- waqā'y (yaqī) 守る、護る <198>
- wa-lā [<wa+lā] ~もない <264>
- lā A wa-lā B = A でもなく B でもない (lā A が mā + 完了形または lam + 未完了短形で表わされることもある)
- wa-l-lāhi 神かけて ; [否定を強めて] 断じて ~でない <169, 245>
- 'ulā'i = hā'ulā'i これらの ; これら
- walada (yalidu) 産む <103>
- walad^{un} <男>(pl. wildat^{un}, aulād^{un}; 双数 waladāni) 子供、息子、少年
- waladī 私の子供は / の / を <42>
- wildat^{un} [walad^{un} の pl. 12] 子供、息子、少年
- wa-la-qad [<wa+la+qad][2 文をつなげるための調子の良い言葉として] されば、そして、実に、すでに <148>
- walākin しかし (ながら) <43>
- waliya (yalī) すぐあとに続く <198>
- wa-mā [<wa+mā。未完了形また完了形と、先行文の付随的状況・事情の否定を表わす]
- wamiqa (yamiqu) 愛する <103>
- ūna 男性名詞・形容詞の規則的複数の主格。属・対格は -īna <54>
- wahaba (yahabu) 与える <104>
- wahara (yahiru) 苦境に陥れる <103>
- wahaṣa (yahiṣu) 踏みつぶす <103>
- wahn^{un} 弱さ、微弱
- wail^{un} <男> 不幸、禍 <102>
- wail^a-hu, wail^a-ka, wail^a-ki, wailī, wailān li-zaidīn ああ彼は (お前は、おれは、ザイドは) なんて不幸な (人間な) んだ

Y ʃ

-ī [人称代名詞、1人称単数、男女、属格、名詞・形容詞につく形。これが名詞につくと名詞の格語尾はなくなる。直前にi音がくると-yaと読まれる] 私の <41, 42>

kitābī 私の本は / の / を

-ya = -ī の直前にi音が来るときの読み、双数の名詞につくときの読み <44, 46>

-īy^{un} (f. -īyat^{un}) [地名に付して] ~出身の、~生まれの、~育ちの、~族に属する、~人；[普通名詞に付して] ~の、~に関する、~的な <165>

yā おお~よ [~は主格または対格] <130-131>

al-yābān^u <女> 日本

ya'taṭīru = itaṭara の未完了形

yabīqu = wabaqa の未完了形

yabyaḍḍu = ibyaḍḍa の未完了形

yatāmāy [yatīm^{un} の pl. 24] 孤児

yattasīru = ittāsara の未完了形

yatta'īdu = itta'ada の未完了形

yatīm^{un} (pl. yatāmāy) 孤児

yaṭību = waṭaba の未完了形

yaṭīqu = waṭīqa の未完了形

yuḡīzu = aḡāza の未完了形

yuḥḍīru = aḥḍara の未完了形

yaḥsunu = ḥasuna の未完了形

yuḥsinu = aḥsana の未完了形

yaḥmarru = iḥmarra の未完了形

yaḥyāy <男> [3格同形] (男名) ヤフヤー

<145>

yaḥṭalīsu = iḥṭalasa の未完了形

yad^{un} <女> (pl. aidīn, ayādīn; 双数主格 yadāni, yadayāni, yadā; 双数属・対格 yadaini) 手 (権力の象徴としても使われる) <264>

bi-yadī-ka あなたの手中に

baina yadai A=A の前で <213>

yada'u = wada'a の未完了形

yaḍaru = waḍara の未完了形

yariṭu = wariṭa の未完了形

yari'u = wari'a の未完了形

yarimu = warima の未完了形

yurīdu = arāda の未完了形

yazālu <zāla → lā yazālu = [未完了形または分詞・形容詞の対格と] ~し続ける、いつまでも~する、依然として~である、まだ~である <259>

yaza'u = waza'a の未完了形

yazal <zāla → lam yazal = [未完了形または分詞・形容詞の対格と] ~し続ける、いつまでも~する、依然として~である、まだ~である <259>

yazīd^u [属・対格 yazīd^a] (男名) ヤズイー
ド <95, 96>

yasta- = ista- の未完了形

yusr^{un} 安楽

yasara (yaisiru) 容易である <197>

yasira (yaisaru) = yasara. 容易である

yasa'u = wasi'a の未完了形

yaswaddu = iswadda の未完了形

yaškur^u [属・対格 yaškur^a] ヤシユクル
<95, 96>

yašfarru = iṣfarra の未完了形

- yuṣliḥu = aṣlaḥa の未完了形
 yaḍa'u = waḍa'a の未完了形
 yaṭa'u = waṭi'a の未完了形
 yuḏhiru = aḏhara の未完了形
 ya'āsīb^u [ya'sūb^{un} の pl. 18-II] 女王蜂
 ya'sūb^{un} (pl. ya'āsīb^u) 女王蜂
 yu'fī = a'fāy' の未完了形
 ya'ūdu <'āda → lā ya'ūdu + 未完了形 =
 もはや～せぬ、二度と再び～しない
 <259>
 ya'ud <'āda → lam ya'ud + 未完了形 =
 もはや～せぬ、二度と再び～しない
 ya'idu = wa'ada の未完了形 <103>
 yu'milu = a'mala の未完了形
 yuḡmidu = aḡmada の未完了形
 yufšī = afšāy' の未完了形
 yafīqu = wafīqa の未完了形
 yafī = wafāy' の未完了形
 yafūtu = fāta の未完了形
 yaqtālu = iqtāla の未完了形
 yaqtaḏī = iqtaḏāy' の未完了形
 yaqa'u = waqa'a の未完了形
 yaqīfu = waqafa の未完了形
 yaqī = waqāy' の未完了形
 yaqīn^{un} <男> 確固不動の原理、真理
 yukrimu = akrama の未完了形
 yakūnu = kāna の未完了形
 yalīdu = walada の未完了形
 yalqāy' = laqiya の未完了形
 yulqī = alqāy' の未完了形
 yalī = waliya の未完了形
 yamīqu = wamiqa の未完了形
 al-yaman^u <女> イエーメン国
 yamīn^{un} <女>(pl. aimun^{un}, aimān^{un}) 右
 手；誓い
 yahabu = wahaba の未完了形
 yahīru = wahara の未完了形
 yahīṣu = wahaṣa の未完了形
 al-yahūd^u <男>[集合名詞] ユダヤ人、ユ
 ダヤ教徒
 yahūdīy^{un} ユダヤ教徒(の)、ユダヤ人
 (の)
 yaum^{un} <男>(pl. aiyām^{un}) 日
 al-yaum^a 今日
 fī yaumⁱⁿ ある日のこと
 yaum^{an} ある日のこと
 fī ba'ḏī l-aiyāmī 日々のうちのあるもの
 において = ある日のこと
 kull^a yaumⁱⁿ 毎日
 yaum^{an} fa-yaum^{an} 日ごとに
 yaum^u l-aḥadī 日曜日 <252>
 yaum^u l-iṭṭnainī 月曜日
 yaum^u t-talātā'ī 火曜日
 yaum^u l-arba'ā'ī / l-arbi'ā'ī 水曜日
 yaum^u l-ḥamīsī 木曜日
 yaum^u l-ḡum'atī 金曜日
 yaum^u s-sabtī 土曜日
 al-yaum^u l-auwalī min (šahrī) rabī'ī
 l-auwalī ラビーウ・ル・アツワル(月)
 [から]の第一日
 al-yaum^u t-tālītī min (šahrī) ramaḏānī
 ラマダーン(月)の第三日
 ya'īsa (yai'asu) 絶望する、(min を)諦
 める <197>

以上

⑤アラビア語動詞 I の変化表 [] 内以外は原則としてすべての動詞(原形と派生形)に共通

		能 動			受 動		
		単 数	双 数	複 数	単 数	双 数	複 数
完 了	3m	[fa'al] a [fa'il] at ① [fa'ul] ta [tu] ti ② [tu] tu	[] ā [] atā [] tumā [] tumā [] --- ③	[] ū ④ [] na [] tum ⑤ [] tunna [] nā	[] a [] at ① [] fu'il] ta [] ti ② [] tu	[] ā [] atā [] tumā [] tumā [] --- ③	[] ū ④ [] na [] tum ⑤ [] tunna [] nā
	2m						
	f						
	1c						
未 完 了	3m	ya [] u ta [f'al] u ta [f'il] u ta [f'ul] ina a [] u	ya [] āni ta [] āni ta [] āni ta [] āni [] --- ③	ya [] ūna ya [] na ta [] ūna ta [] na na [] u	yu [] u tu [] u tu [f'al] u tu [] ina u [] u	yu [] āni tu [] āni tu [] āni tu [] āni [] --- ③	yu [] ūna yu [] na tu [] ūna tu [] na nu [] u
	f						
	2m						
	1c						
未接 完結 了形	3m	ya [] a ta [f'al] a ta [f'il] a ta [f'ul] ī a [] a	ya [] ā ta [] ā ta [] ā ta [] ā [] --- ③	ya [] ū ④ ya [] na ta [] ū ④ ta [] na na [] a	yu [] a tu [] a tu [f'al] a tu [] ī u [] a	yu [] ā tu [] ā tu [] ā tu [] ā [] --- ③	yu [] ū ④ yu [] na tu [] ū ④ tu [] na nu [] a
	f						
	2m						
	1c						
未 完 了 要 短 求 形	3m	ya [] ① ta [f'al] ① ta [f'il] ① ta [f'ul] ī a [] ①	ya [] ā ta [] ā ta [] ā ta [] ā [] --- ③	ya [] ū ④ ya [] na ta [] ū ④ ta [] na na [] ①	yu [] ① tu [] ① tu [f'al] ① tu [] ī u [] ①	yu [] ā tu [] ā tu [] ā tu [] ā [] --- ③	yu [] ū ④ yu [] na tu [] ū ④ tu [] na nu [] ①
	f						
	2m						
	1c						
短 形 強 勢 1	3m	ya [] anna ta [f'al] anna ta [f'il] anna ta [f'ul] inna a [] anna	ya [] ānni ta [] ānni ta [] ānni ta [] ānni [] --- ③	ya [] unna ya [] nānni ta [] unna ta [] nānni na [] anna	yu [] anna tu [] anna tu [f'al] anna tu [] inna u [] anna	yu [] ānni tu [] ānni tu [] ānni tu [] ānni [] --- ③	yu [] unna yu [] nānni tu [] unna tu [] nānni nu [] anna
	f						
	2m						
	1c						
短 形 強 勢 2	3m	ya [] an ta [f'al] an ta [f'il] an ta [f'ul] in a [] an	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	ya [] un [] [] ta [] un [] [] na [] an	yu [] an tu [] an tu [f'al] an tu [] in u [] an	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	yu [] un [] [] tu [] un [] [] nu [] an
	f						
	2m						
	1c						
命 令	2m	(i [f'al / f'il]) ① (u [f'ul]) / ī	(i []) ā (u []) ā	(i []) ū ④ (u []) na	* 受動は行為者が文中に表明されないとき だけ使われる。 * 受動の命令は未完了短形 (= 要求形) で 表わされる。	[] [] [] [] [] []	[] [] [] [] [] []
	f						
	1c						
命 令 1	2m	(i [f'al / f'il]) anna (u [f'ul]) inna	(i []) ānni (u []) ānni	(i []) unna (u []) nānni	[] [] [] []	[] [] [] []	[] [] [] []
	f						
命 令 2	2m	(i [f'al / f'il]) an (u [f'ul]) in	[] [] [] []	(i []) un (u []) ---	[] [] [] []	[] [] [] []	[] [] [] []

注①-⑥

- ①定冠詞が続くと母音 i を加えて発音される。短形 (= 要求形) でこの①のつく箇所以外はすべて接続形と同形。
- ②代名詞連結形が続くと ى が加えられて ī となる。
- ③1人称双数には1人称複数を使う。
- ④発音に関係のないアリフが添えられるが、代名詞連結形が続くとアリフは省かれる。
- ⑤定冠詞が続くと tumu と発音され、代名詞連結形が続くと ى が加えられて tumū となる。
- ⑥命令形は未完了短形 (= 要求形) 2人称の接頭辞 ta (派生形では tu のことも) を省くと得られる。このとき母音を伴わない子音が語頭にくる場合、第2語根の母音が a, i のときは i を、母音が u のときは u を、一時性ハムザとして加える(アラビア文字ではどちらもアリフ)。この一時性ハムザは前に母音があると発音されない。なお、禁止命令は iā + 未完了短形 (= 要求形) で表わされる。

原形・派生形一覧 3語根II, III, IVと4語根Iの能動の未完了語頭母音は u (yu-, tu-, u-, nu-)となる

		能動完了 未完了	受動完了 未完了	命令 (能動)	動名詞 (能動)	分詞能動 受動	備考					
3	I	fa'ala yaf'ulu yaf'ilu yaf'alu	fu'ila yuf'alu	未完了の 特徴母音が a, i のとき if'al if'il u のとき uf'ul	動詞により異 なり約 44 形。 主な形は fa'lu fa'alun fa'ilun fa'alatun fu'ulun fu'ulatun	m. fā'ilun f. fā'ilatun m. maf'ūlun f. maf'ūlatun 以下 f. 形は省略	*fa'ala 型は大部分が 他動詞 *fa'ila 型は大部分が 自動詞で一時的・ 偶然的 *fa'ula 型はすべて 自動詞で継続的・ 固有生得的 *外見上 IV と似る					
		fa'ala yufa'ilu						fu'ila yufa'alu	fa'il	taf'ilun taf'ā'ulun	mufa'ilun mufa'alun	*動名詞はまれに taf'ilatun も
		fā'ala yufā'ilu						fū'ila yufā'alu	fā'il	fi'ālun mufā'alatun	mufā'ilun mufā'alun	*能動完了と命令は I の能動分詞と似る
		af'ala yuf'ilu						uf'ila yuf'alu	af'il	if'ālun	muf'ilun muf'alun	*未完了と命令は外見 上 I と似る
	V	tafa'ala yatafa'alu	tufu'ila yutafa'alu	tafa'al	tafa'ulun	mutafa'ilun mutafa'alun	*ta+II *II の再帰ほか					
	VI	tafā'ala yatafā'alu	tufū'ila yutafā'alu	tafā'al	tafā'ulun	mutafā'ilun mutafā'alun	*ta+III *III の再帰ほか					
	VII	infa'ala yanfa'ilu	unfu'ila yunfa'alu	infa'il	infi'ālun	munfa'ilun munfa'alun	*in+I *受動はまれ *I の再帰ほか *例外					
	VIII	ifta'ala yafta'ilu	uftu'ila yufta'alu	ifta'il	ifti'ālun	mufta'ilun mufta'alun	*第 1 語根と接中素 t については補足 2					
	IX	if'alla yaf'allu	— (IX に不規則動詞なし)	if'alil	if'ilālun	muf'allun	*色か不具を表わす *外見上 IV と似る					
	根	X	istaf'ala yastaf'ilu	ustuf'ila yustaf'alu	istaf'il	istif'ālun	mustaf'ilun mustaf'alun	*ist+IV *IV の再帰ほか				
XI		if'alla yaf'āllu	補足 1) I の命令、VII-XV と 4 語根 III-IV の完了・命令・ 動名詞の語頭は一時的ハムザ。 2) VIII における第 1 語根と接中素 t の関係は以下のとおり ① 第 1 語根が s, d, t ならそれぞれ ist, idt, itt となる。 ② 第 1 語根が z なら izz または itt となる。 ③ 第 1 語根が d, z ならそれぞれ idd, izd となる。 ④ 第 1 語根が g なら idg または idd となる。 ⑤ 第 1 語根が t なら itt または itt となる。 ⑥ 第 1 語根がハムザなら it または it または itt となる。 ⑦ 第 1 語根が w, y ならどちらの場合も itt となる。				*XI は IX の注意で色や 不具を表わす *XI-XV はふつうの 読み物にはまず絶対 に出てこない					
XII		if'au'ala yaf'au'ilu										
XIII		if'auwala yaf'auwilu										
XIV		if'anlala yaf'anlilu										
XV		if'anlāw yaf'anlī										
4 語 根	I	fa'lala yufa'lilu						fu'lila yufa'lalu	fa'lil	fa'lalatun fi'lālun	mufa'lilun mufa'lalun	3 語根 II に対応
	II	tafa'lala yatafa'lalu	tufu'lila yutafa'lalu	tafa'lal	tafa'lulun	mutafa'lilun mutafa'lalun	3 語根 V に対応					
	III	if'anlala yaf'anlilu	uf'unlila yuf'anlalu	if'anlil	if'inlālun	muf'anlilun muf'anlalun	3 語根 VII に対応					
	IV	if'alalla yaf'alillu	uf'ulilla yuf'alallu	if'allil	if'ilālun	muf'alillun muf'alallun	3 語根 IX に対応し 外見上似る所あり					

補外注 第 1 語根がハムザ, r, l, n, w, y の動詞に VII はない。